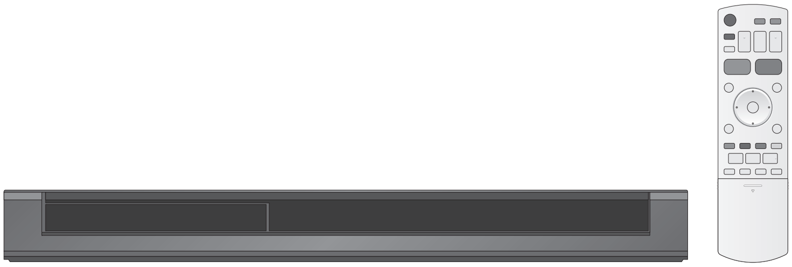
Panasonic

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BRT250

ブルーレイディーガ DIGA



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

- 「取扱説明書」、「かんたん準備ガイド」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（196 ～ 199ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

接続と設定を行ってください ▶ かんたん準備ガイドをご覧ください

詳しい接続と設定については、137 ページをご覧ください。

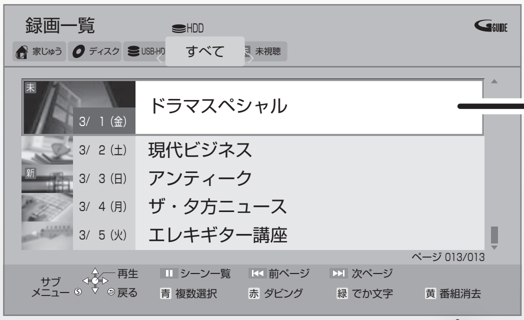
「操作」についての

紙の取扱説明書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

1 機器操作は　表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

例）操作できるボタンの表示

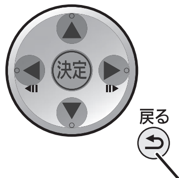


選択中の項目は黄色で表示

例えば、黄ボタンを押すと番組の消去ができます

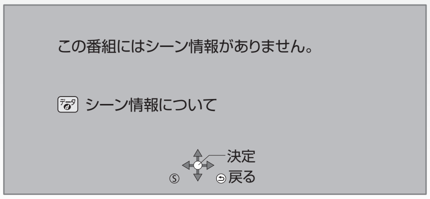
基本的な操作は、リモコンの

[▲] [▼] [◀] [▶]と[決定]を使います。



前の画面に戻る

補足説明



[データ] マークが付いた画面が表示されたとき

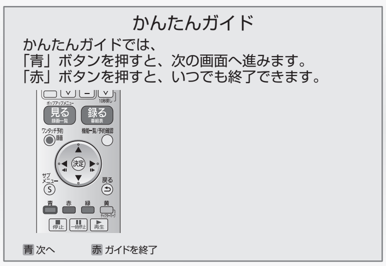
[データ] ボタン（リモコンのふた内部）を押すと、

操作に対する補足説明が確認できます。

2 基本操作は　かんたんガイド

本機の基本的な使い方が確認できます。

- テレビ視聴中や、番組表または録画一覧画面で、それぞれのガイドを表示することができます。**(➔23)**



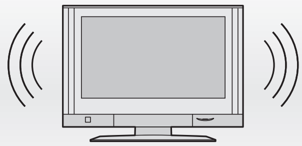
ご案内

本書では、本機の接続や設定、操作方法を説明しています。
「かんたん準備ガイド」、「かんたん操作ガイド」も併せてご覧ください。

③ 音声で案内　音声ガイド

機器の操作を音声や操作音で確認できます。

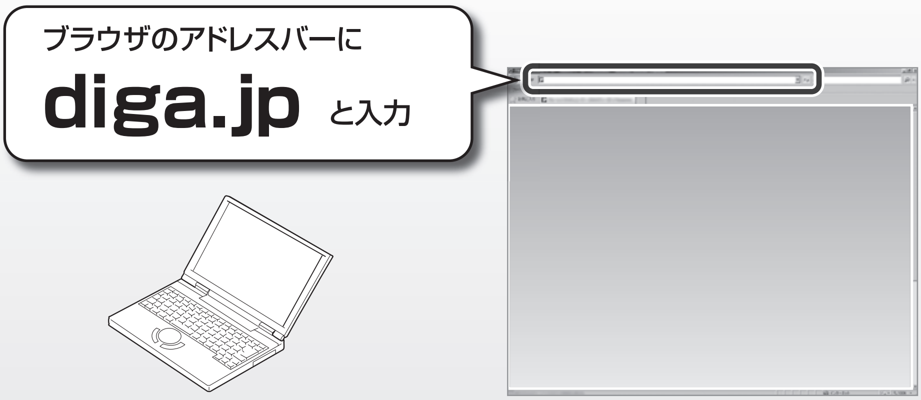
- ご使用になる場合は、初期設定「音声ガイド機能」を「入」に設定してください。(➜116)



[HDD/BD/SD] ボタン（リモコンのふた内部）を 3 秒以上押すと、設定画面を直接表示することができます。

④ 連携機器情報などの詳しい情報は　当社ホームページ

お持ちのパソコンからご覧ください。（本機からホームページをご覧になることはできません）



本機を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 接続機器に合わせた“接続方法”や“基本の使い方”がわかる**「使い方ナビゲーション」「つなぎ方ナビゲーション」**
- 連携できる機器品番情報などを確認できる**「動作確認情報一覧」**
- 困ったときや、用語を調べたいときの**「よくあるご質問」**など

例えば…

使い方ナビゲーション

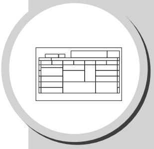
例えば…

動作確認情報一覧

ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

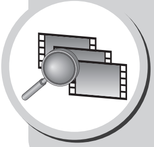
本機の「特長」

録画が便利



番組表を使って予約

▶ 30 ページ

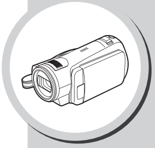


関連番組まとめて予約

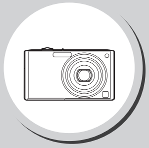
▶ 36 ページ

思い出を見る／残す

ビデオカメラで撮影した動画の取り込みやデジタルカメラで撮影した写真の取り込みや再生ができます。



動　画



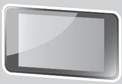
写　真

▶ 51、77 ページ

▶ 85、86、88 ページ

番組を持ち出す

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出してお楽しみいただけます。



▶ 95 ページ

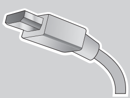
3D映像を楽しむ

3D対応テレビと接続し、臨場感にあふれた、迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

▶ 56 ページ

ビエラリンク（HDMI）

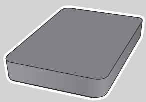
HDMIケーブルでビエラとつなげば、ビエラのリモコン1つで本機の操作を行うことができます。



▶ 92 ページ

別売のUSBハードディスク※に対応

※ 以降、USB-HDDと表示



▶ 132 ページ

ネットワークにつないで楽しむ

ネットワークに接続すると、いろいろな機能を利用することができます。

- スカパー！プレミアムサービスLink（録画） ▶ 84 ページ
- お部屋ジャンプリンク（DLNA） ▶ 100 ページ
- 1ヵ月の番組表/注目番組 ▶ 33、34 ページ
- ネットワークを使ってダビング ▶ 82 ページ
- 番組お引越しダビング ▶ 82 ページ

ディモーラ/ミモーラ

▶ 25、127、156 ページ

ディモーラやミモーラに会員登録すると、さらに便利な機能がご利用いただけます。

- 外出先からの予約
- 星占いの詳細情報
- ディモーラからのおすすめ
- シーン再生

など

ディモーラやミモーラのサービスの詳細については、下記ホームページをご覧ください。
パナソニック株式会社　テレビ番組情報ウェブサービス
　ディモーラ：http://dimora.jp/
　ミモーラ：http://me-mora.jp/

目次

接続と設定について詳しくは、以下をご覧ください。

「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜196 ～199 ページ)

視聴

録画

再生 / 編集

ダビング

(➜ 次ページに続く)

目次（続き）

他の機器と

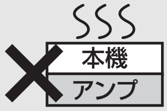
写真 / 音楽

便利機能

必要なとき

本機の設置について

●アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
●不安定な場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。



タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

●「つゆつき」が発生しやすい状況
・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
・梅雨の時期

●「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

[電源⏻/I]を
3秒以上押す

本機の電源が切れます。
故障かな !? と思った場合 ➜165

本機を廃棄 / 譲渡するときは

135 ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

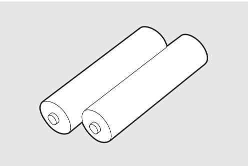
本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを（➜○○）で示しています。

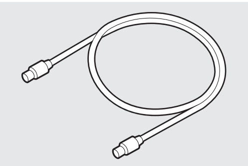
付属品 / リモコンの準備

付属品

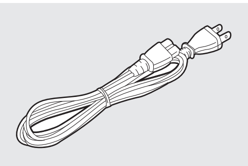
リモコン（1 個）
N2QAYB000902



リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形乾電池



アンテナケーブル
（75Ω 同軸ケーブル）（1 本）
K2KYYYY00040

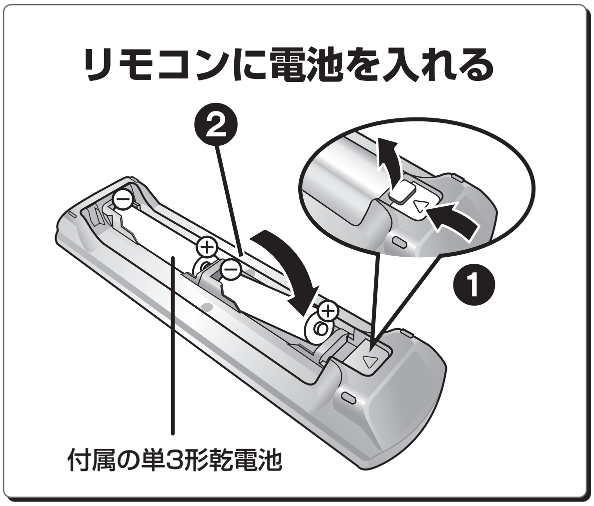


電源コード（1 本）
K2CA2YY00217

B-CAS カード（1 枚）
- 台紙に貼り付けてあります。
- 本カードの紛失時は（➜138）

- 電源コードキャップ※および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
  ※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2013 年 2 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

リモコンの準備



- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。（➜125）
- 本機のリモコン受信部（➜12）に向けて、まっすぐ操作してください。

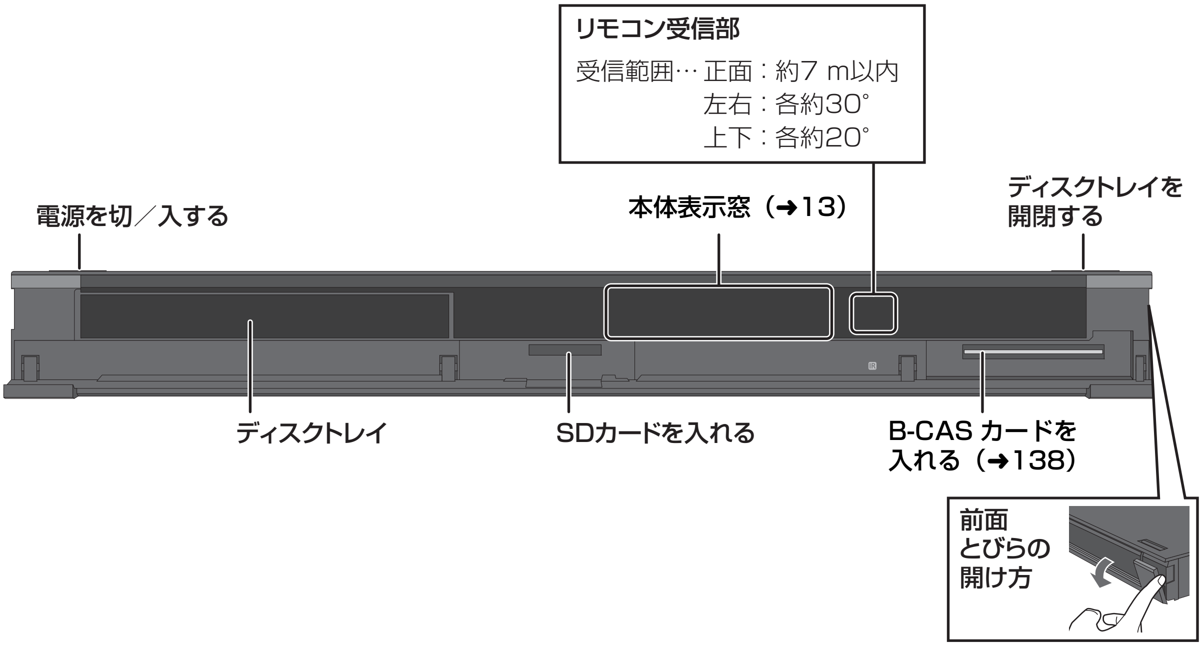
付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

CLUB Panasonic
Pana Sense

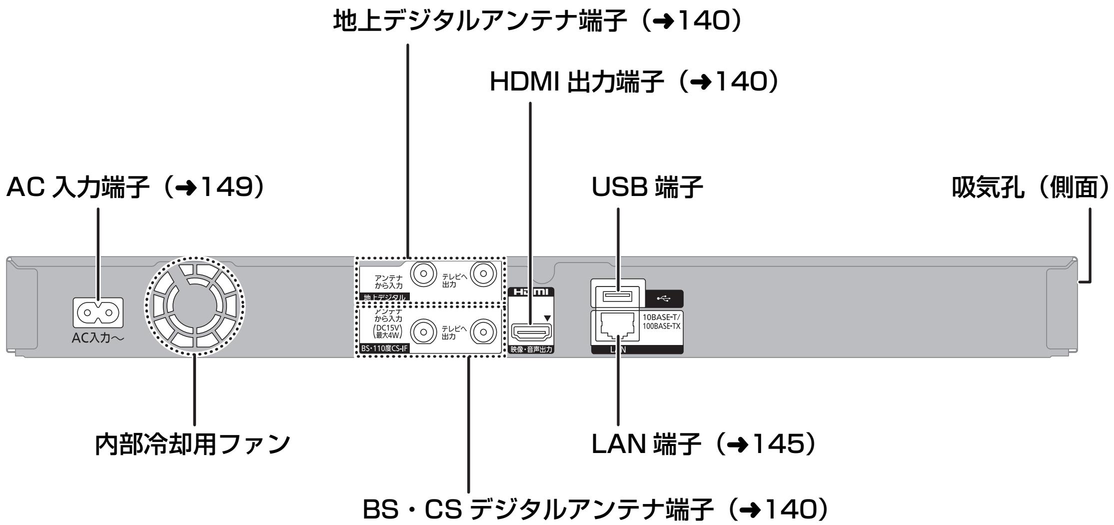
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

各部の働き

本体前面

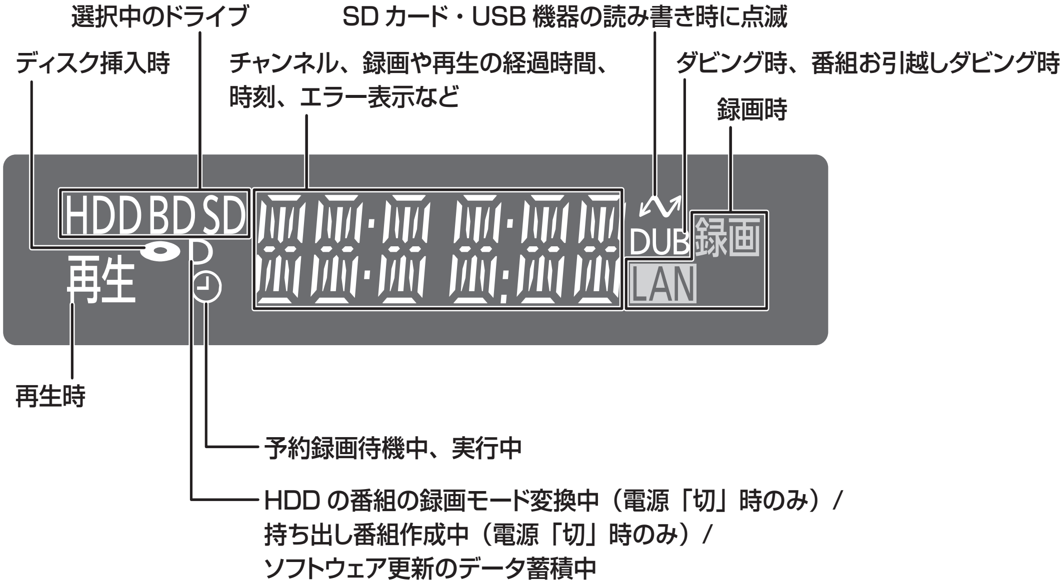


本体背面



本体表示窓

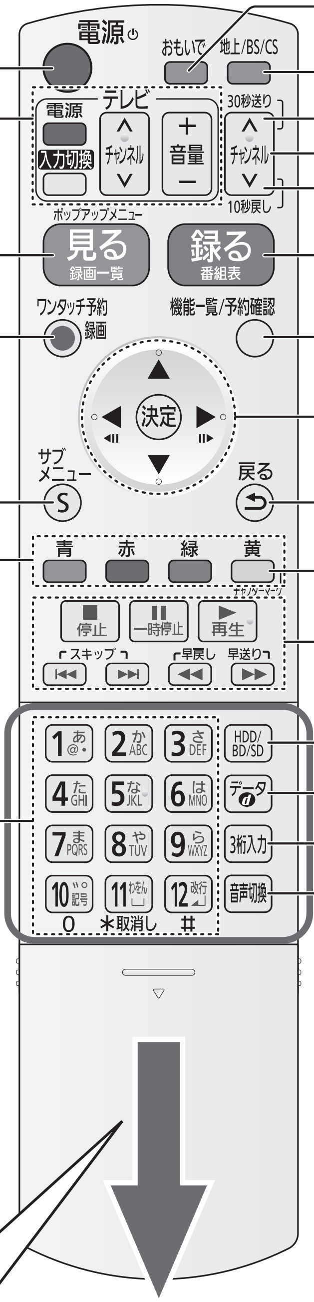
以下の場合に点灯表示します。



お知らせ

- 以下の設定をすると、電源「切」時に本体表示窓に時刻が表示されます。
  ･「クイックスタート」（➜117）を「入」に設定
  ･「クイックスタートモード」（➜117）を「標準」に設定
  ･「ECO スタンバイ」（➜121）を「切」に設定
  ただし、「節電待機」（➜22）で電源を切ると、時刻は表示されません。

リモコン



写真をおもいで再生する（➜86）

本機の電源

放送を切り換える（➜26）

テレビ操作部（➜125）
●本機のリモコンでテレビの操作をすることができます。

約 30 秒先へ飛び越す（➜55）

チャンネルを順に選ぶ

約 10 秒前へ戻す（➜55）

録画一覧 / ディスクメニューを表示する（➜50）

番組表を表示する（➜30）

録画する（➜28）/
ワンタッチ予約する（➜30）
●ワンタッチ予約は、番組表上で実行することができます。

機能一覧画面を表示する / 予約確認する（➜24）

選択および決定する

サブメニューを表示する

前の画面に戻る

画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用します。

チャプターマークを作成・削除する（➜65）

録画や再生時の基本操作

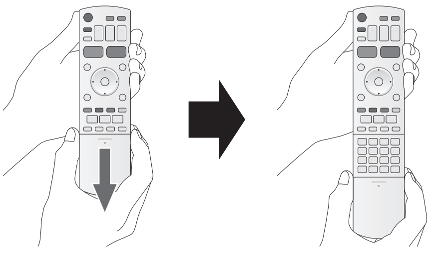
HDD/BD/SDを切り換える

データ放送の画面を表示する（➜26）

チャンネルなどを番号で選ぶ/番号や文字を入力する

3 桁番号を入力してチャンネルを選局する（➜26）

音声を切り換える（➜27、55）



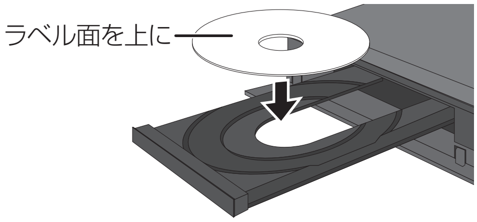
リモコンのふたを開けるときは、ふたの両端を持って開けてください。
（ふたの中央を下にずらしても開けることができます）

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

本体の [▲ 開 / 閉] を押してトレイを開き、ディスクを入れる

●もう一度押すと、トレイが閉まります。
●ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

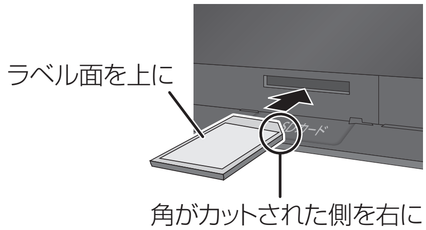


お知らせ

●両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
●ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(➜136)
●傷の付いたディスクは、記録や再生ができません。
●使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。
●**カートリッジ付きディスクについて**
・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
・DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。(➜ 下記)
(TYPE1 は使えません)
●ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

❶ **本体前面のとびらを開ける**
❷ **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**



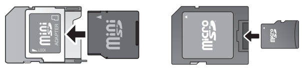
❸ **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

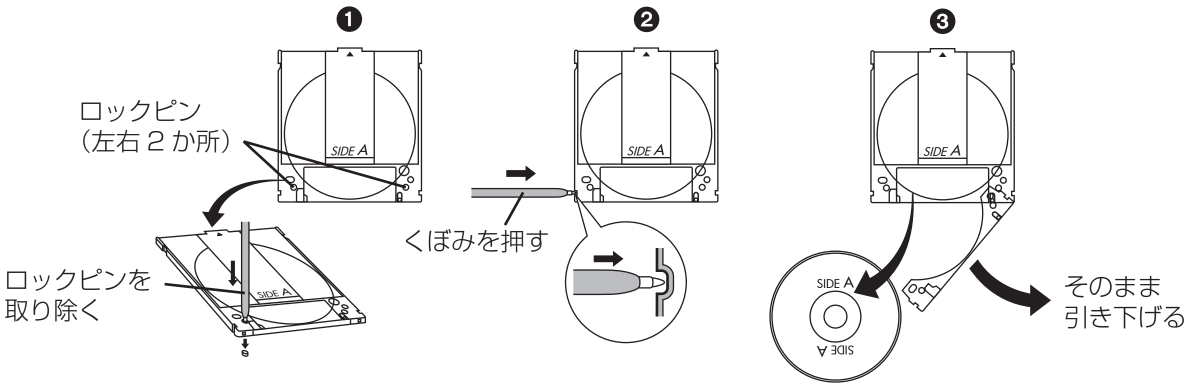
●**本体表示窓の“ ”(➜13)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
●mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。
例)



カートリッジ付きディスクの取り出し方例

カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合



はじめに

記録できるディスクについて

<table>
<tr><th>ディスクの種類</th><th>ロゴ</th><th>記録可能なディスク</th><th>記録方式</th></tr>
<tr><td>BD-RE</td><td></td><td>BD-RE：Ver.2.1（1層/2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>BD-R</td><td></td><td>BD-R：Ver.1.1/1.2/1.3（1層/2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層/4層）に対応した4倍速メディアまで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DVD-RAM</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">Ver.2.0/2.1/2.2に対応した5倍速メディアまで</td><td>AVCREC方式</td></tr>
<tr><td>VR方式
（DVDビデオレコーディング規格）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">DVD-R

DVD-R DL
（片面2層）</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">DVD-R：Ver.2.0/2.1に対応した16倍速メディアまで

DVD-R DL：Ver.3.0に対応した8倍速メディアまで</td><td>AVCREC方式</td></tr>
<tr><td>VR方式
（DVDビデオレコーディング規格）</td></tr>
<tr><td>ビデオ方式
（DVDビデオ規格）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DVD-RW</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで</td><td>VR方式
（DVDビデオレコーディング規格）</td></tr>
<tr><td>ビデオ方式
（DVDビデオ規格）</td></tr>
</table>

●8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

記録できるコンテンツ	記録できる画質 録画モード	フォーマットは？ (➜106)	備考
番組 写真	放送画質 DR ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	●DL、BDXL™ にも記録できます。 ●カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません) ●2013 年2 月現在、BD-R(片面4 層)は発売されていません。
番組 写真	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ●カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
番組 写真	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要 (データ用ディスクの場合、フォーマット必要)	
番組	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要	●コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。 ●デジタル放送は記録できません。
番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	●コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。 ●デジタル放送は記録できません。

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット(➜106)することで設定されます。

記録できるディスクについて（続き）

こんなとき どうしたらいいの?

どのディスクを選べば良いかわからない…

お客様の使い方に合わせてディスクを選んでください。

デジタル放送を記録

- ディスクは繰り返し使いたい
  - ハイビジョン画質で記録したい → BD-RE ／ CPRM対応の DVD-RAM ／ AVCREC方式
  - DVD画質で記録したい → CPRM対応の DVD-RAM DVD-RW ／ VR方式
- ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う
  - ハイビジョン画質で記録したい → BD-R ／ CPRM対応の DVD-R DVD-R DL ／ AVCREC方式
  - DVD画質で記録したい → CPRM対応の DVD-R DVD-R DL ／ VR方式

ハイビジョンビデオカメラの動画（AVCHD、MP4※1）を記録

- ハイビジョン画質で記録したい※2 → BD-RE BD-R ／ DVD-RAM DVD-R DVD-R DL ／ AVCREC方式

※1　MP4はHDDに取り込んだあと、ディスクにダビングします。

※2　DVD画質で記録したい場合、HDDに取り込んだあと、VR方式、ビデオ方式のDVDにダビングします。

こんなとき
どうしたらいいの?

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE　BD-R

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- 1.5 ～ 15 倍録モードの番組や、本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4)、LAN 経由（スカパー! プレミアムサービスや CATV）で録画した番組は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
  - ・DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
  - ・BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

DVD-RAM　DVD-R　DVD-R DL　DVD-RW

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- **記録したディスクの再生に対応**
- **記録したディスクの記録方式の再生に対応**
  - ・**AVCREC 方式の場合：**
    対応機器には右記のロゴが付いています。
    対応機器以外で使用しないでください。
    ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
    -R はファイナライズ（➜109）が必要です。
  - ・**VR 方式の場合：**
    VR 方式の再生に対応している必要があります。
  - ・**ビデオ方式の場合：**
    記録後にファイナライズ（➜109）が必要です。
- **デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。**

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

本書内のマーク表示について

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク	ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD	DVD ビデオ	DVD-V
BD-RE※	BD-RE	+R	
BD-R※	BD-R	+R DL	
BD ビデオ	BD-V	+RW	
DVD-RAM	RAM	CD	CD
DVD-R	-R	SD カード	SD
DVD-R DL		USB 機器	USB
DVD-RW	-RW	USB-HDD	USB-HDD

※　DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
  - ·AVCREC 方式の場合　：例）RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  - ·VR 方式の場合　：例）RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  - ·ビデオ方式の場合　：例）-R(V) -RW(V) （ただしファイナライズ後は DVD-V）
- ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示
- ビデオカメラなどで撮影した動画（MP4）が記録された SD カードの場合は、MP4 と表示

USB-HDD を接続時の操作について

本書では、USB-HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。USB-HDD を接続している場合にできる操作については、USB-HDD と表示しています。

接続できる USB-HDD については（➜132）

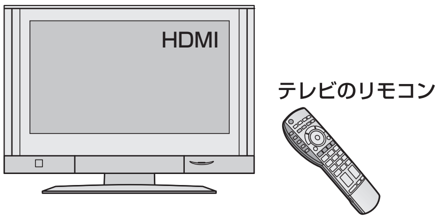
操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

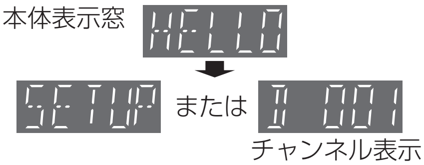
2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

●本機を接続した入力に切り換えてください。（HDMI など）



3 本機のリモコンの 電源 を押す

本体表示窓



●テレビに映像が映っているか確認してください。

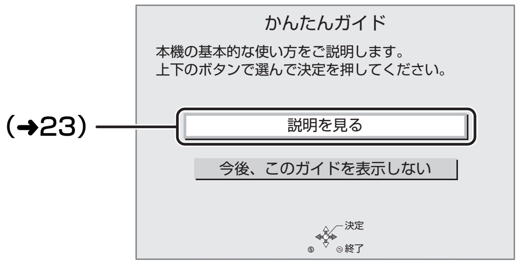
テレビに映像が表示されない場合

●テレビの入力を確認してください。

●接続を確認してください。(➜138～149)

下記画面が表示された場合

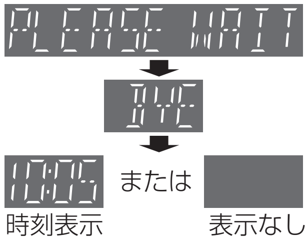
●本機の基本的な使い方が確認できます。



本機の電源を切る

本機のリモコンの 電源 を押す

本体表示窓



操作の前に（続き）

節電待機で電源を切る

「節電待機」で電源を切ると、クイックスタートの設定にかかわらず、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。（消費電力 ➜188）

1 テレビ視聴中に

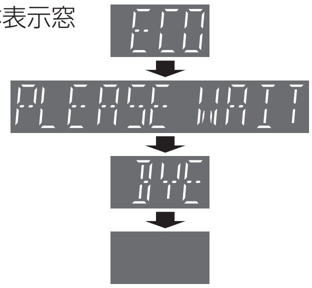
サブメニュー Ⓢ **を押す**

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

2 **「節電待機」を選び、(決定) を押す**

3 **「はい」を選び、(決定) を押す**

本体表示窓



表示なし

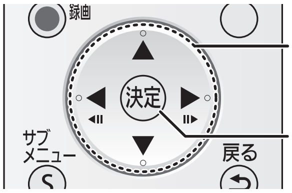
お知らせ

- 「節電待機」で電源「切」時は、「節電待機モード」（➜117）の設定にかかわらず、以下の制限があります。
  - ·「クイックスタート」（➜117）が「切（時計表示無し）」時と同じ動作になるため、起動が遅くなる
  - ·お部屋ジャンプリンク (DLNA) が使用できない
  - ·宅外リモート接続機能が使用できない
  - ·スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスからの予約登録ができない、または番組の時間変更に追従できない
  - ·ビエラリンク録画待機ができない
- 「節電待機モード」（➜117）が「モード2」の場合、上記に加えて以下の制限もあります。
  - ·アンテナ線を本機経由でテレビに接続している場合に、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがある

  本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。（➜142）
- 「節電待機」中に無効なボタンを押すと、本体表示窓に“ECO”と表示されます。

画面上の基本操作について

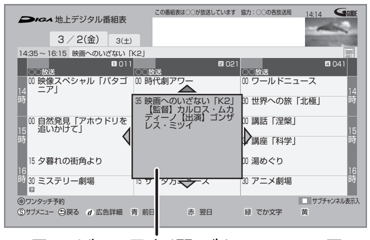
本機は画面に表示されている項目をリモコンの [▲][▼][◀][▶] で選び、[**決定**] を押すことで操作を行います。



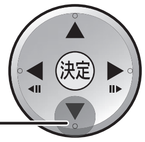
[▲] [▼] [◀] [▶]

[決定]

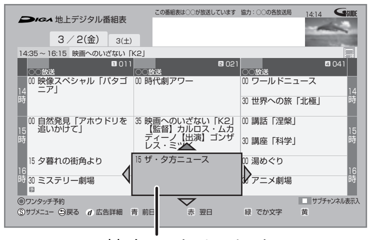
例えば、番組を選びたい場合



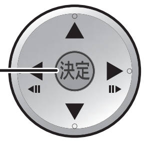
黄色になっている項目が、現在選ばれている項目



[▼]を押す



黄色になります。



[決定]を押す

番組内容の画面が表示されます。

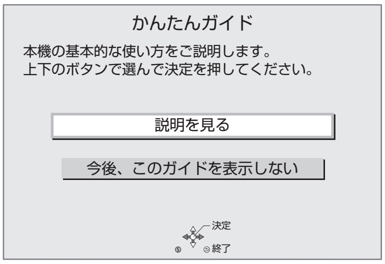
本書では、上記のような操作をする場合、
番組を選び、(決定) を押す
と記載しています。

かんたんガイドについて

本機の基本的な使い方が確認できます。
●テレビ視聴中や、番組表または録画一覧画面で、
それぞれのガイドを表示することができます。

本機の電源「入」時、または番組表や録画一覧画面で無操作の状態が約 5 秒続いた場合、下記のような画面が自動で表示されます。

例）電源「入」時



「説明を見る」を選び、[決定] を押すと、下記手順 2 の画面が表示されます。

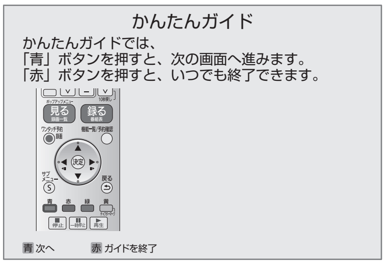
かんたんガイドの自動表示をやめるには
「今後、このガイドを表示しない」を選び、
[決定] を押す

1 テレビ視聴中や、番組表または録画一覧画面で サブメニュー Ⓢ を押す

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

2 「かんたんガイド」を選び、決定 を押す

例）テレビ視聴中



●画面の指示に従って、操作してください。

はじめに

機能一覧画面について

機能一覧画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

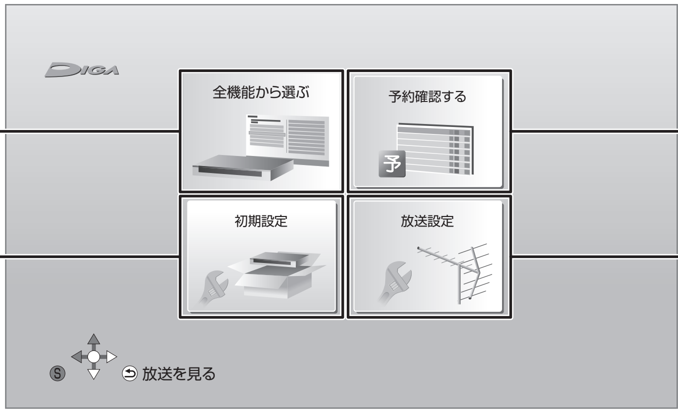
2 **項目を選び、(決定) を押す**

すべての機能を一覧表示します。(➜25)

(➜42)

(➜116)

(➜110)



全機能から選ぶ

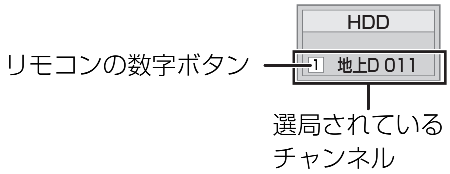
分類	機能	備考
見る	録画番組を見る	(➜50)
	写真を見る	(➜85)
	ミモーラ検索	ミモーラのサービスに登録すると、録画した番組の中から、見たいシーンなどをキーワードで検索することができます。 ☞ **サービスの登録について（➜156）**
番組を探す・予約する	予約する	(➜30)
	予約確認する	(➜42)
	放送局からのおすすめ（注目番組）	(➜34)
	関連番組まとめて検索	(➜36)
	新番組おまかせ録画	(➜38)
	ジャンル検索	(➜35)
残す	ダビングする	(➜68、70)
	持ち出し番組を転送する	(➜97)
	ぴったり録画	(➜29)
ネットワーク機能を使う	お部屋ジャンプリンク（DLNA）	(➜101)
	ディモーラからのおすすめ	ディモーラのサービスに登録すると、おすすめ番組が配信されます。 ☞ **サービスの登録について（➜156）**
	星占い	占い情報が配信されます。ディモーラのサービスに登録すると、詳細情報が受信できます。 ☞ **サービスの登録について（➜156）**
	番組お引越しダビング	(➜82)
設定する・その他の機能	放送設定	(➜110)
	初期設定	(➜116)
	ネットワーク設定	(➜123、154)
	メール／情報・診断コード	(➜128、165)
メディアを使う	メディアを使う	ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD 内のデータを表示します。

テレビ放送を見る

1 [地上/BS/CS] **を押す**

●押すごとに放送が切り換わります。

2 [1] ～ [12]（リモコンのふた内部）**または** [チャンネル ∧∨] **を押して、チャンネルを選ぶ**



お知らせ

●かんたんガイドについて（➜ 23）
●本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
●録画中に放送やチャンネルを切り換えることはできません。

データ放送を見る

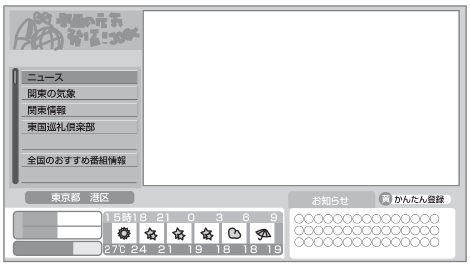
データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

●**本機では、データ放送を録画できません。**
録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 **データ放送のある番組を選局し、** [データ]（リモコンのふた内部）**を押す**

2 **見たい項目を選び、** [決定] **を押す**

例）



●画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や **数字ボタン**で操作してください。

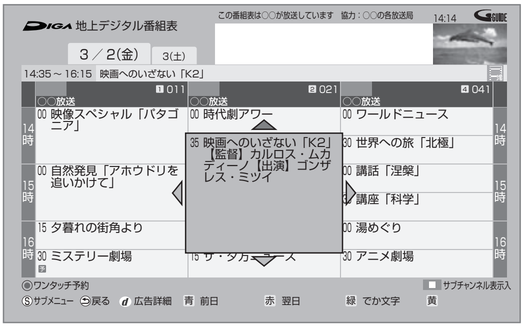
データ画面を消すには
[データ] を押す

その他の選局方法

番組表から選局

❶ [録 番組表] を押す

❷ 放送中の番組を選び、[決定] を押す



別の放送の番組表を見るには
[地上 /BS/CS] を押す

❸「今すぐ見る」を選び、[決定] を押す

３桁チャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、[3桁入力]（リモコンのふた内部）を押す

●押すごとに放送が切り換わります。

❷ [1] ～ [10]（リモコンのふた内部）を押して、チャンネルを入力する

例）101 の場合…[1] → [10] → [1]
●画面が表示されている間に入力してください。

枝番号の異なる放送を選局するには
（地上デジタル）（➜27「枝番選局」）

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

（詳しくは ➜59「画面モード切換」）

音声を切り換える

[音声切換]（リモコンのふた内部）を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

●録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

放送中の番組の 3D 設定をする
●3D 対応テレビと接続時

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

（詳しくは ➜61「出力方式」）

放送内容などの設定

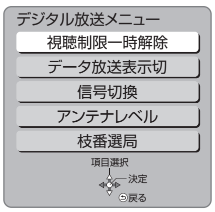
テレビ視聴中に

❶ **[サブメニュー S] を押す**

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **[サブ メニュー]** を押してください。

❷ **「デジタル放送メニュー」を選び、[決定] を押す**

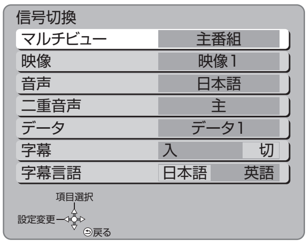
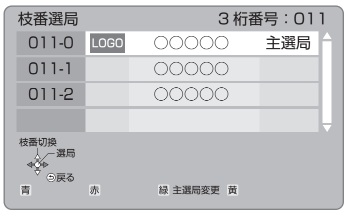
例）



❸ **設定項目を選び、[決定] を押す（➜ 右記へ）**

お知らせ

●視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号 **（➜111）** を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。  **設定する項目を選び、設定する** **お知らせ** ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **（詳しくは ➜46）**
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 （地上デジタル）	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 （例：「011-0」、「011-1」） 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す**  **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、**[緑]** を押す

視聴

放送中の番組を録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

1 地上/BS/CS を押す

●押すごとに放送が切り換わります。

2 1～12（リモコンのふた内部）または チャンネル∧∨ を押して、チャンネルを選ぶ

3 録画モードを選ぶ

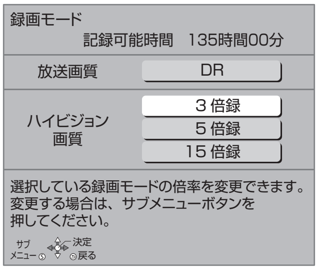
① [**サブ メニュー**] を押す

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

②「録画モード」を選び、[**決定**] を押す

③ 録画モードを選び、[**決定**] を押す

例）



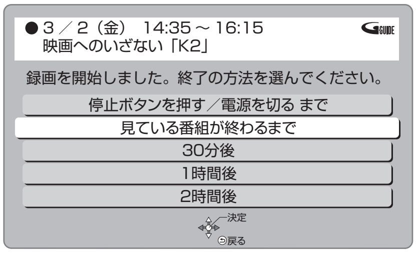
●ハイビジョン画質を選択時に [**サブ メニュー**] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。（➜ 47）

4 ワンタッチ予約 録画 を押す

本体前面

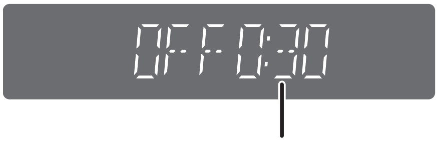
"録画" が点灯

5 録画の終了方法を選び、決定 を押す



例）「30 分後」を選んだ場合

本体前面



録画終了までの時間

録画を止めるには

[■ **停止**] を押す

お知らせ

- **録画モードと記録時間の目安（➜ 190）**
- **録画モードと記録時間の倍率について（➜ 47）**
- ディスクや USB-HDD へは録画できません。
  ・予約録画はできます。（ビデオ方式は除く）
- **BD-V** 3D 映像の再生は、録画中にできません。
- 予約録画が始まると、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- デジタル放送の番組でも、DVD 画質相当（従来のアナログ放送と同様の画質）の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は DVD 画質相当です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

録画中のいろいろな操作

録画を止める

[■停止] を押す

一時停止する

[❚❚一時停止] を押す

●もう一度押す、または [**ワンタッチ予約 録画 ●**] を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

ぴったり録画

録画した番組を新品の DVD（4.7 GB）の容量に適したダビングができるように、設定時間に合わせて 1.5 ～ 15 倍録モードの中から自動的に最適な画質で HDD に録画します。
（➜46「1.5 ～ 15 倍録」）

1 **チャンネルを選ぶ**（➜28 ページ手順 1 ～ 2）

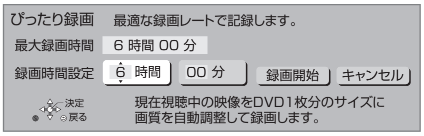
2 機能一覧/予約確認 **を押す**

3 **「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す**

4 **「残す」を選び、(決定) を押す**

5 **「ぴったり録画」を選び、(決定) を押す**

6 **"時間" または "分" を選び、録画時間を設定する**



●6 時間を超えて設定することはできません。

7 **「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で (決定) を押す**

録画

予約録画する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**
USB-HDD

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

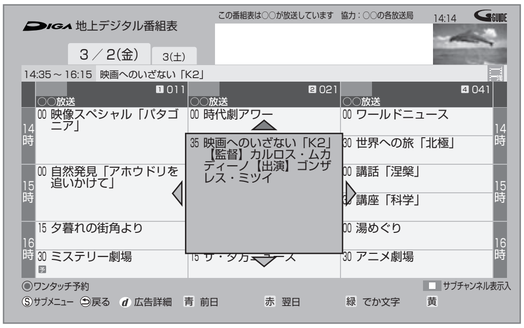
ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、[戻る] を押して画面を消してください。

例）

ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

1 [録る 番組表] **を押す**

2 **番組を選ぶ**



☞ **別の放送の番組表を見るには**
[地上 /BS/CS] を押す

☞ **番組を検索するには**
(➜35)

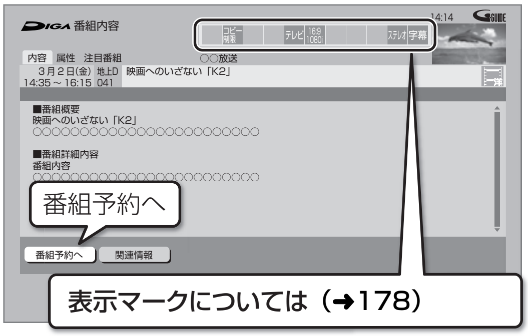
3 [決定] **を押す**

[決定] **の代わりに** [ワンタッチ予約 録画] **を押すと、**

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
（ 予 が表示されます）

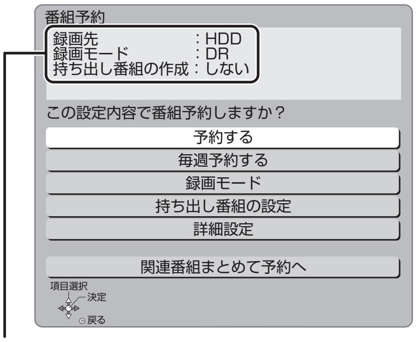
●手順 4 ～ 5 の操作は不要です。

4 **「番組予約へ」を選び、**[決定] **を押す**



5 項目を選び、(決定) を押す

●ディスクや USB-HDD に予約録画する場合は、「詳細設定」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。



予約内容を確認してください。

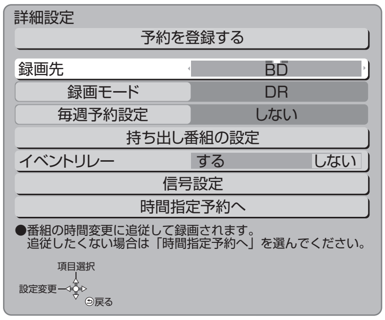
予約する：
予約を登録

毎週予約する：
毎週同じ曜日に予約を登録 (➜44)

録画モード：
録画モードを変更（変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

持ち出し番組の設定：
モバイル機器へ持ち出すための番組を作成 (➜96)

詳細設定：
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更 (➜39)



関連番組まとめて予約へ：
お好みの番組を自動で登録 (➜36)

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応
のディスクをお使いください。

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。
（1.5 ～ 15 倍録モードで記録）
● -RW ではできません。

DVD 画質で記録します。
（XP、SP、LP、EP、FR モードで記録）

予約録画できません。

お知らせ

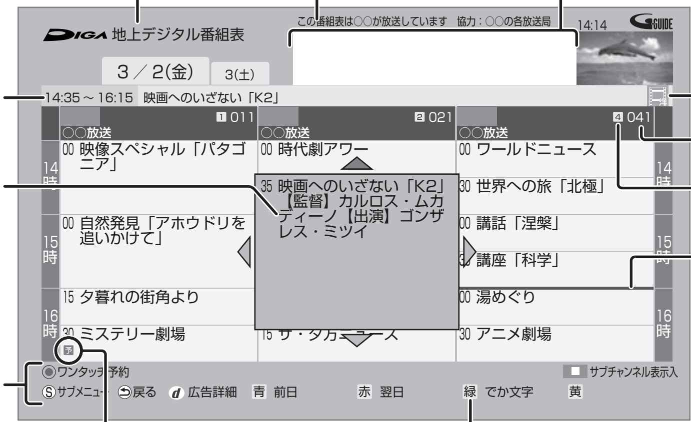
- 番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- 本機で録画したUSB-HDDの番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。

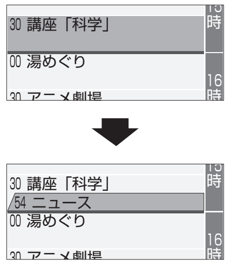
録画

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。
電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例）3 チャンネル表示





予（赤）: 録画予約している番組

予（緑）: 関連番組まとめて予約（➜36）で録画予約している番組

新：新番組おまかせ録画（➜38）で予約された番組

文字を大きくします。
●「表示チャンネル数」（➜33）が「3 チャンネル表示」の場合のみ

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに 1 日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- **パネル広告について**
  インターネットに接続し、「通信による G ガイド受信」(➜110)を「入」にすると、インターネット専用のパネル広告を表示することができます。

番組表の表示設定

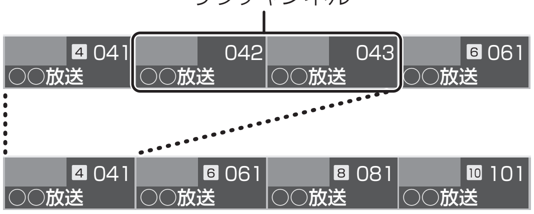
放送の切り換え

[地上/BS/CS] を押す

サブチャンネルの表示切り換え

番組表のサブチャンネルを表示するかどうかを切り換えることができます。

[■ 停止] を押す



お知らせ

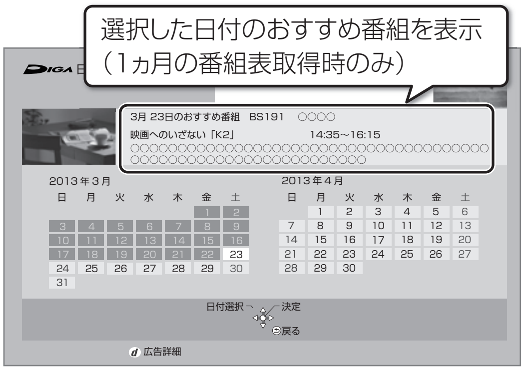
- 表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え

[青]（前日）[赤]（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

❶ [❚❚ 一時停止] を押す
❷ 日付を選び、[決定] を押す



お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
  さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜110) を「入」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。(2013年 2 月現在、インターネットから1ヵ月の番組情報を取得できる放送局は WOWOW、スター・チャンネルのみです)

時間帯の切り換え

[⏮ スキップ] または [⏭ スキップ] を押す

その他の表示設定

1 番組表表示中に
[サブメニュー S] を押す

2 項目を選び、設定する

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜35)
注目番組一覧	注目番組一覧 (➜34) を表示します。
放送切換	別の放送の番組表を表示します。
表示チャンネル数	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
視聴制限一時解除	暗証番号 (➜111) を入力して視聴制限を一時解除します。 [決定] を押す
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 [決定] を押す
かんたんガイド	かんたんガイド (➜23) を表示します。

予約録画する（続き）

注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に

サブ メニュー (S) **を押す**

2 **「注目番組一覧」を選び、(決定) を押す**

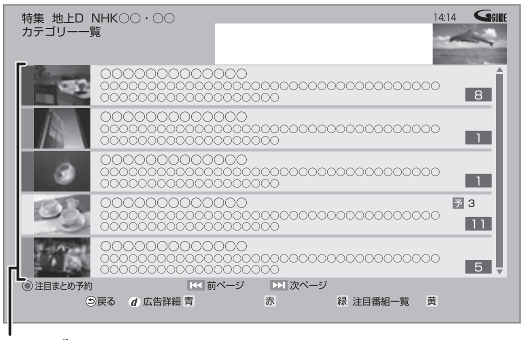
3 **放送を選び、(決定) を押す**

- 地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順 5 へ進んでください。

インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」（➜110）を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
（2013年 2 月現在、インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです）

4 （インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ）

カテゴリーを選び、(決定) を押す



カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには

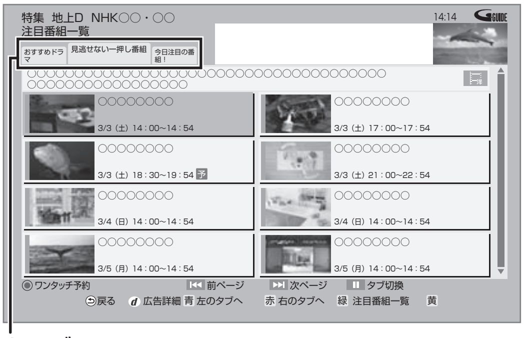
[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

- 予 が表示され、予約は完了します。

放送を変更するには

[緑] を押す **（➜ 手順 3 へ）**

5 **番組を選び、(決定) を押す**



カテゴリー

前後のページを見るには

[⏮] [⏭] を押す

他のカテゴリーを表示するには

[青] [赤] を押す
（**[❚❚ 一時停止]** を押してカテゴリーを選択することもできます）

放送を変更するには

[緑] を押す **（➜ 手順 3 へ）**

6 **「番組予約へ」を選び、(決定) を押す**

（「番組予約」のときは ➜31 手順 5）
（「時間指定予約」のときは ➜41 手順 4）

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

サブメニュー (S) **を押す**

2 「番組表の検索」を選び、(決定) を押す

3 検索方法を選び、(決定) を押す

フリーワード検索
ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ **検索条件を選び、(決定) を押す**

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ **放送ごとに表示するには**

[**地上 /BS/CS**] を押す

☞ **別の日の検索結果を表示するには**

[**青**]（前日）[**赤**]（翌日）を押す

（検索結果画面表示中に 、[**❚❚ 一時停止**] を押して日付を選択することもできます）

❺ **番組を選び、(決定) を押す**

❻ **「番組予約へ」を選び、(決定) を押す**

(➜31 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件（5件まで）を登録し、１つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■検索条件を登録する

❹ 緑 **を押す**

❺ **検索方法を選び、(決定) を押す**

●「フリーワード」は、文字を入力し (**➜103**)、登録してください。

上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

☞ **登録したフリーワードを変更するには**

① 検索条件を選び、[**決定**] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[**決定**] を押す
③ 文字を入力する (**➜103**)

☞ **登録した検索条件を削除するには**

① 検索条件を選び、[**黄**] を押す
② 「はい」を選び、[**決定**] を押す

■検索する

❹ 検索する放送種別を変更する場合：

① 赤 **を押す**
② **検索したい放送を「入」に設定し、(決定) を押す**

❺ 青 **を押す**

☞ **別の日の検索結果を表示するには**

[**青**]（前日）[**赤**]（翌日）を押す

（検索結果画面表示中に 、[**❚❚ 一時停止**] を押して日付を選択することもできます）

❻ **番組を選び、(決定) を押す**

❼ **「番組予約へ」を選び、(決定) を押す**

(➜31 手順 5)

お知らせ

●検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。

●インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(**➜ 110**) を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。

●「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

お好みの番組を自動で予約録画する（関連番組まとめて予約）

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目に関連する番組を毎日検索して自動で予約録画します。

- 登録できる項目数は 32 個までです。
- 自動で予約される番組数は 128 番組までです。
- **HDD** に予約します。

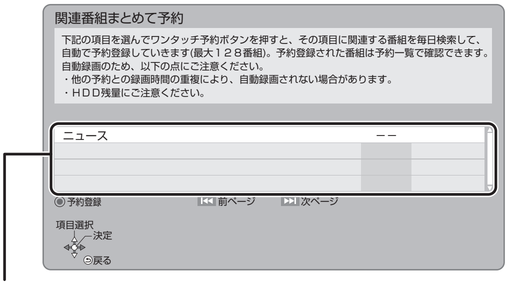
選択した番組から探す

選択している番組に関連する項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面（➜31 手順 5）表示中に **「関連番組まとめて予約へ」を選び、(決定) を押す**

- 選択している番組に関連番組の情報がない場合、選択できません。

2 **表示されている項目を選び、(決定) を押す**



選択している番組に関連した項目が表示されます。

検索機能を使って探す（関連番組まとめて検索）

連続ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連した番組を自動で予約録画します。

1 機能一覧/予約確認 **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す**

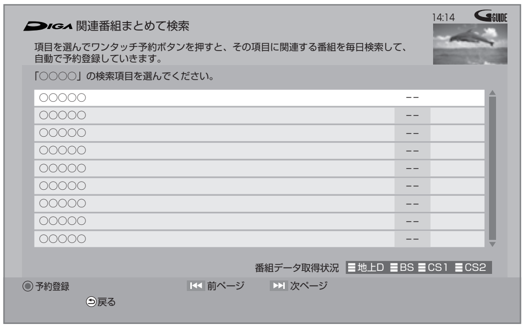
3 **「番組を探す・予約する」を選び、(決定) を押す**

4 **「関連番組まとめて検索」を選び、(決定) を押す**

5 **「検索する」を選び、(決定) を押す**

6 **検索対象から項目を選び、(決定) を押す**

7 **項目を選び、** ワンタッチ予約録画 **を押す**



☞ 関連番組一覧を表示する場合

手順 7 で [決定] を押す

登録した関連番組まとめて予約の確認、取り消し、修正

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す

3 「番組を探す・予約する」を選び、(決定) を押す

4 「関連番組まとめて検索」を選び、(決定) を押す

5 「登録した予約を確認する」を選び、(決定) を押す

■ 予約済み番組を確認する

❻**確認したい項目を選び、(決定) を押す**

- 予約番組を修正したい場合：
  ① 修正したい番組を選び、
  [ワンタッチ予約 録画 ●] を押す
  ② 項目を選び、**[決定]** を押す
  詳細設定について（➜39）
  （予約番組を修正すると、関連番組まとめて予約の番組ではなくなります）

■ 取り消す

❻**登録した項目を選び、** ワンタッチ予約 録画 ◉ **を押す**

❼ **「はい」を選び、(決定) を押す**

- すでに予約された番組は取り消されません。
  予約一覧（**➜42**）で取り消してください。

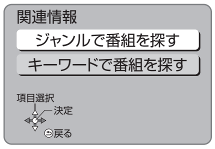
選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組に関連した情報（ジャンル、出演者など）から番組を検索します。

1 番組内容画面（**➜30** 手順 4）表示中に
「関連情報」を選び、(決定) を押す

2 項目を選び、(決定) を押す

例）



- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上 /BS/CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）**[赤]**（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に、**[❚❚ 一時停止]** を押して日付を選択することもできます）

3 番組を選び、(決定) を押す

4 「番組予約へ」を選び、(決定) を押す
（**➜31** 手順 5）

お知らせ

- 通常の番組や新番組と予約が重なった場合、関連番組まとめて予約は行われません。
- 関連番組まとめて予約同士が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
  ①開始時刻の早い番組を優先
  ②開始時刻が同じときは、地上デジタルとBSデジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
  ③放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの関連番組は、契約していない場合、自動登録されません。

新番組を自動で予約録画する

（地上デジタル）（BS デジタル）

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- HDD に DR モードで予約します。

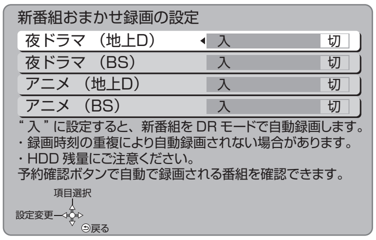
1 機能一覧/予約確認 **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、（決定）を押す**

3 **「番組を探す・予約する」を選び、（決定）を押す**

4 **「新番組おまかせ録画」を選び、（決定）を押す**

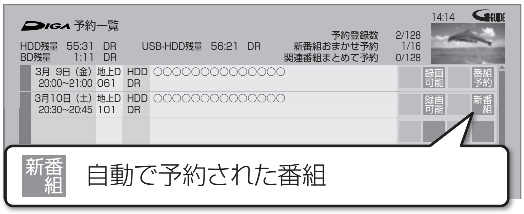
5 **設定したい項目を選び、「入」にする**



予約された新番組の確認

1 機能一覧/予約確認 **を押す**

2 **「予約確認する」を選び、（決定）を押す**



予約内容を修正するには（➜42）

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

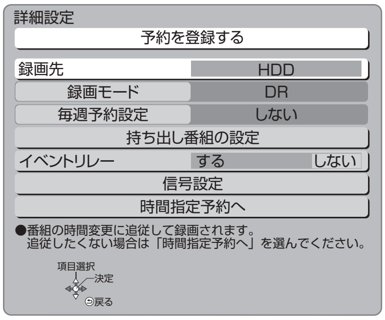
お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組や関連番組まとめて予約と予約が重なった場合、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
  ①開始時刻の早い番組を優先
  ②開始時刻が同じときは、地上デジタルとBSデジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
  ③放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録されません。

詳細設定をする

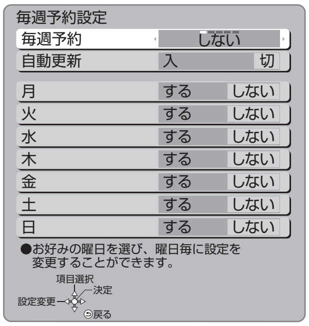
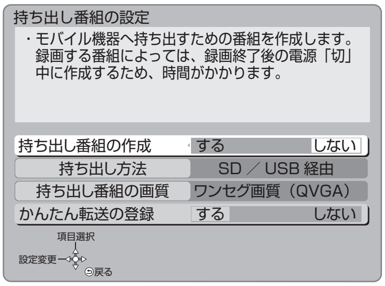
31 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する（➜ 右記へ）



●「録画モード」「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「時間指定予約へ」の場合は、[**決定**] を押してください。

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、(決定) を押す

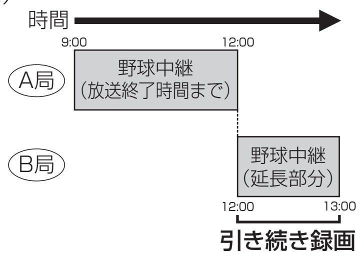
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード(➜**46**) を設定します。
毎週予約設定	 **「毎週予約」（➜44）を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
持ち出し番組の設定 **HDD**	録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(➜**96**)  **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ** ●「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」(➜**97**) で転送することができます。 ●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(➜**96**) **持ち出し方法と画質について（➜95）**

（➜ 次ページに続く）

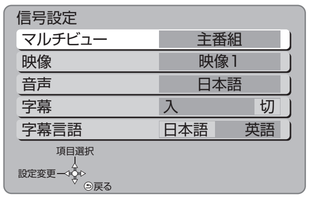
録画

詳細設定をする（続き）

<table>
<tr><td>イベント
リレー</td><td>「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（ただし、別番組として録画されます）

例）


お知らせ
●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。
●録画先が“BD”の場合、延長部分はHDD に代替録画されます。
●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。</td></tr>
<tr><td>信号設定</td><td>複数の音声や映像の信号があるときに設定します。


① **項目を選び、設定する**
② **[戻る] を押す**

お知らせ
●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。
（詳しくは ➜46）
●選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。</td></tr>
<tr><td>時間指定予約へ</td><td>録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。
（➜41「時間指定予約」）</td></tr>
</table>

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) USB-HDD

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

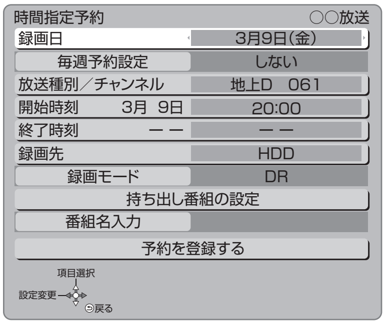
1 機能一覧/予約確認 **を押す**

2 **「予約確認する」を選び、(決定) を押す**

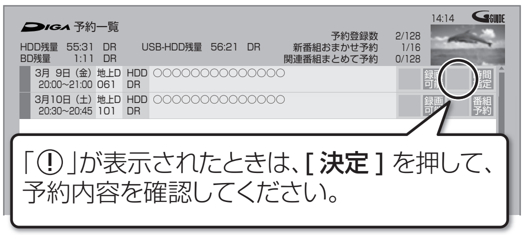
3 ワンタッチ予約 録画 **を押す**

4 **予約内容を設定する**

（➜ 右記「時間指定予約」へ）



5 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、(決定) を押す**

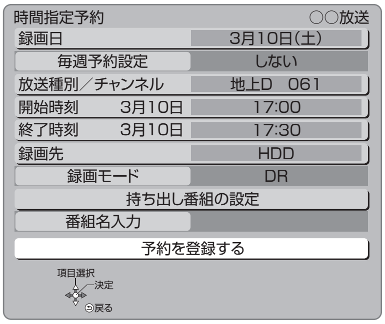


お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（➜111）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る] を押すと予約できます。
- 本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。（➜116「時刻合わせ」）
- 番組追従機能（➜44）は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約



❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「録画モード」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」の場合は、[決定] を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順５へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 **（➜39「毎週予約設定」）**
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（➜46）を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。 （➜39）
番組名入力	●文字入力について（➜103） ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。

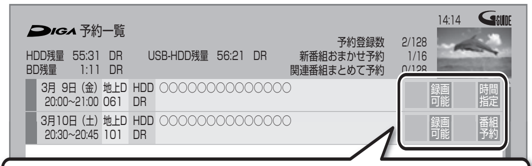
録画

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 **「予約確認する」を選び、(決定) を押す**

3 **番組を選び、以下の操作を行う**



予約状況がマークで表示されます。
- 「①」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- **表示マークについては（➜180）**

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
（消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます ➜ **右記**）

予約の取り消し

❶ 黄 ▭ **を押す**

❷ **「はい」を選び、(決定) を押す**

予約内容の修正

❶ (決定) **を押す**

❷ **「修正」を選び、(決定) を押す**
（「番組予約」のときは ➜39「詳細設定」）
（「時間指定予約」のときは ➜41「時間指定予約」）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

❶ (決定) **を押す**

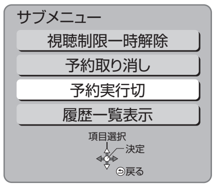
❷ **「毎週一覧」を選び、(決定) を押す**

- 予約の「重複」がある場合に **[決定]** を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。**（➜45）**
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー (S) **を押す**

例）



❷ **「予約実行切」を選び、(決定) を押す**

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- **[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[LAN 経由（スカパー ! プレミアムサービスや CATV）で録画中の番組を除く]

視聴制限の一時解除

暗証番号（**➜111**）を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー (S) **を押す**

❷ **「視聴制限一時解除」を選び、(決定) を押す**

❸ **[1] 〜 [10]（リモコンのふた内部）で暗証番号を入力する**

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー (S) **を押す**

❷ **「履歴一覧表示」を選び、(決定) を押す**

- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー (S) **を押す**

❷ **「履歴削除」を選び、(決定) を押す**

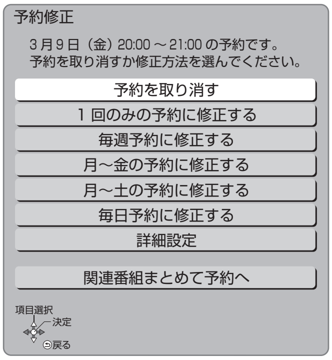
❸ **「はい」を選び、(決定) を押す**

- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

番組表での予約の取り消し / 修正

❶「予」が表示されている番組を選び、ワンタッチ予約録画 を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す



「詳細設定」を選んだ場合
「番組予約」のときは（➜39「詳細設定」）
「時間指定予約」のときは（➜41「時間指定予約」）

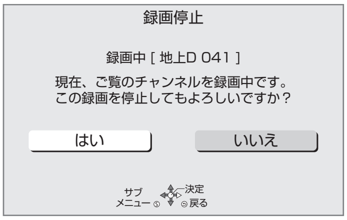
「関連番組まとめて予約へ」を選んだ場合
（➜36）

録画中の予約録画を止める

1 停止 **を押す**

2 **「はい」を選び、決定 を押す**

例）



● 上記画面が表示されない場合は、本機の映像をテレビに映してください。（➜21）

予約録画する（続き）

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。（➜42）

■前回の番組を消去して録画するには（自動更新）HDD

「**自動更新**」（➜39）を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。（別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます）
●録画先を HDD 以外に変更すると、「自動更新」は「切」に設定されます。

ディスクや USB-HDD の残量不足などに対応（代替録画）

以下の理由などでディスクなどに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

●ディスクや USB-HDD の残量不足
●ディスクの入れ忘れ
●USB-HDD が接続されていない
●USB-HDD の電源が入っていない

お知らせ

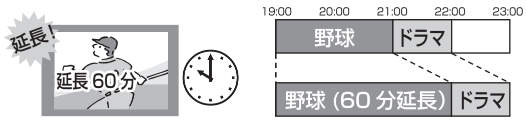
●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
●DVD 画質の予約を代替録画すると、HDD には 3 倍録モードで録画します。

番組追従機能

●番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

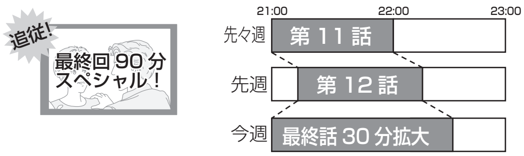
予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。（3 時間までの変更に対応）



●「イベントリレー」（➜40）を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。（開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応）



●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
●番組表の更新を基に働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。（➜41）

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
●番組追従機能は当社独自の機能です。G ガイド固有の機能ではありません。

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

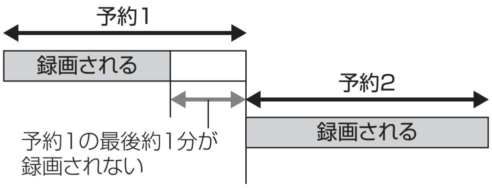
- ●録画中：
  予約録画の開始時刻になったとき
- ●ディスク再生中：
  ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
- ●「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中：
  ディスクへの DR モード以外の予約録画の開始時刻になったとき
- ●**BD-V** 3D 映像の再生中：予約録画の開始時刻になったとき

予約時の電源の切 / 入について

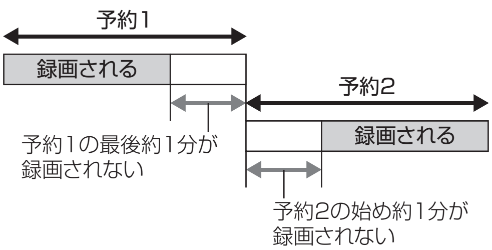
電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。



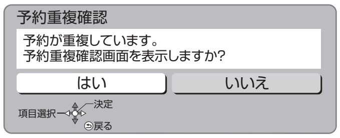
次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。



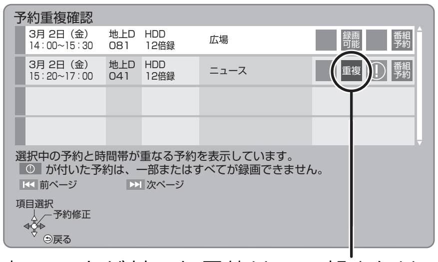
- ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
（31 ページ手順 5 などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



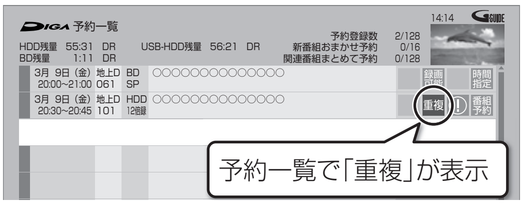
例）



「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、**[決定]** を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。



開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

- ●LAN 経由（スカパー! プレミアムサービスや CATV）の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

録画

録画モードについて

<table>
<tr><th>録画モード</th><th>DR</th><th>1.5～15 倍録</th><th>XP・SP・LP・EP</th><th>FR</th></tr>
<tr><td rowspan="2">画質</td><td>放送画質
放送そのままの画質で記録</td><td>ハイビジョン画質
放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録
ディスクにもハイビジョン画質で記録</td><td>DVD画質
従来のアナログ放送と同様の画質で記録</td><td>DVD画質
ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録
●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。</td></tr>
<tr><td>—</td><td>高画質　長時間</td><td>高画質　長時間</td><td>—</td></tr>
<tr><td>記録できる放送 / 入力</td><td>地上・BS・CS デジタル放送</td><td>地上・BS・CS デジタル放送</td><td colspan="2">地上・BS・CS デジタル放送</td></tr>
<tr><td>記録できるディスク</td><td>HDD BD-RE
BD-R
USB-HDD</td><td>HDD BD-RE BD-R
RAM(AVCREC)
-R(AVCREC)
USB-HDD</td><td colspan="2">RAM(VR)
-R(VR) -R(V)※2
-RW※2</td></tr>
<tr><td>サラウンドの音声</td><td colspan="2">サラウンド音声</td><td colspan="2">ステレオ音声
（ダウンミックス 2 チャンネル）</td></tr>
<tr><td>複数の音声（マルチ音声➜48）</td><td>複数の音声をすべて記録</td><td>音声は 2 つ記録※3※4</td><td colspan="2">音声は 1 つだけ記録※3</td></tr>
<tr><td>複数の映像</td><td>複数の映像をすべて記録</td><td colspan="3">映像は 1 つだけ記録※3</td></tr>
<tr><td>字幕情報</td><td colspan="2">字幕の入 / 切情報を含めて記録
（再生時、字幕表示の入 / 切ができる）</td><td colspan="2">字幕の入 / 切情報は記録しない
（再生時、字幕表示の入 / 切はできない）※3</td></tr>
</table>

※１　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※２　-R(V) -RW(V) デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※３　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

- 録画時　：「信号切換」（➜27）で選ぶ
- 予約録画時：「信号設定」（➜40）で選ぶ
- ダビング時：「信号切換」（➜58）で選んだあと、ダビングを行う（➜75）

※４　15 倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4 倍録～ 15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

DR モード切り換えについて

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、再生やダビングなどを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例） **BD-V** 再生時

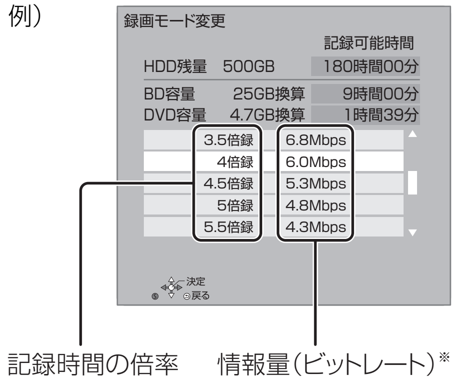
> 再生を開始します。
>
> ハイビジョン画質で録画中の番組を
> DR モードに切り換え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
（電源「切」時に予約録画など本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

変換が終了しているか確認するには（➜64）

録画モードと記録時間の倍率について

例）



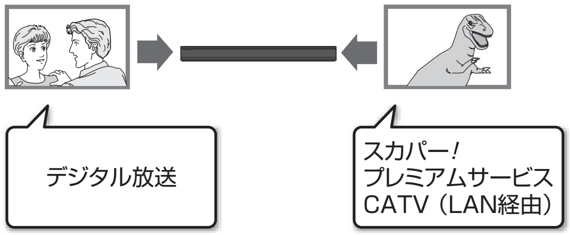
※ 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

録画モードと記録時間の目安（➜190）

複数番組の録画について

本機はデジタル放送と LAN 経由(スカパー! プレミアムサービスやCATV)の番組を、同時に録画することができます。

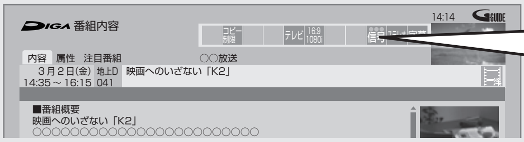


多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ二重音声の番組や複数の音声を含んだマルチ音声の番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。



信号：マルチ音声

主+副：二重音声

番組を視聴中のときは、**[音声切換]（リモコンのふた内部）**を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

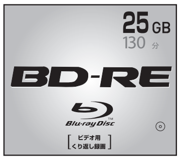
例えば、日本語と英語の２か国語放送を記録する場合

記録する操作	記録音声	記録先	記録できる音声
デジタル放送などの録画	信号 マルチ音声 主+副 二重音声	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD	**両方の音声を記録**
デジタル放送などの録画	信号 マルチ音声 主+副 二重音声	RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)	**●マルチ音声：片方の音声のみ記録** 予約時に「信号設定」(**➔40**) の「音声」で選択する **●二重音声：両方の音声を記録**

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。



ブルーレイディスク
市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD
著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。

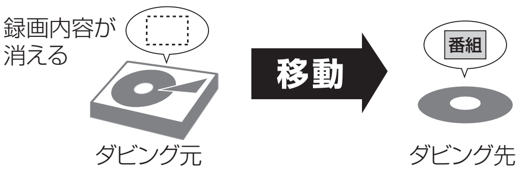
（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は [10] または [1] を、ブルーレイディスクの場合は [1] を表示します。
[10] ～ [1] はダビングの残り可能回数を表します。
[表示はダビング画面（➜69、71）で確認できます]
DVDの場合は [×] を表示し、ダビングや移動はできません。

[1] の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）

- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。（BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません）



- プロテクト設定（➜62）されている [1] の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」（➜118）に従って記録します。-R(V) -RW(V) へ記録するときに有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」（➜118）に従って記録します。
480i の映像を 1.5 ～ 15 倍録モードで記録するときに有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
  ・ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

従来のアナログ放送と同様の画質で放送されている番組の記録

放送によっては、DR モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

再生する

録画した番組を再生する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD**

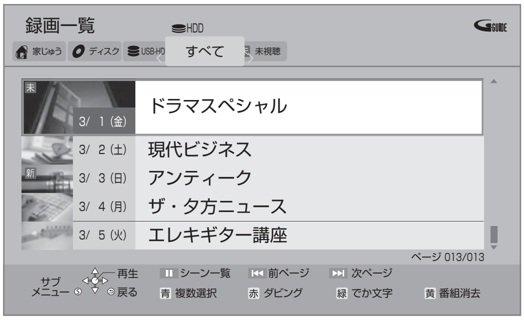
ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例）**BD-RE**

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 見る 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、決定 を押す**



HDD **USB-HDD**

一度再生した番組を再生する場合、「つづきから再生」または「先頭から再生」を選んでください。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

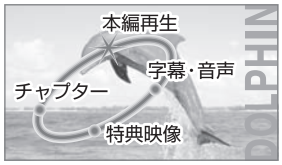
BD-V **DVD-V**

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 **ディスクを入れる**

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、決定 を押す



メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中 ：[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中 ：[見る 録画一覧]を押す

DVD-V [見る 録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中 ：[見る 録画一覧]を押す

- 停止中に [1] ～ [10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
DVD-V ：2 桁入力 **BD-V** ：3 桁入力

お知らせ

- **表示マークについては（➜179）**
- **録画中番組の再生について**
  ・HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生できます。（追っかけ再生）
  ・録画中に録画済みの番組を再生できます。（同時録画再生）
  ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。
- 録画一覧は録画した日付順に表示されます。
- 録画一覧表示中に [赤] を押すと、かんたんダビング（➜68）を行うことができます。
- 「1080/60p」の表示がある番組は再生はできますが、プログレッシブでは出力されません。

お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を再生する

AVCHD

MP4（SD カードのみ）

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

●以下の動画の再生にも対応しています。
- ·1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録（ただし、プログレッシブでは出力されません）
- ·AVCHD 3D

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）**SD**

SD カードを入れた場合：
下記の手順 **5** に進みます。
ディスクを入れた場合：
下記の手順 **6** に進みます。

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

4 ディスクを入れた場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順 6 へ）
SD を入れた場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

5 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

6 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」を選び、決定 を押す

●複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
再生したい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。

7 タイトルを選び、決定 を押す

メニューが表示されないときは
[1] ～ [10] で３桁入力してタイトルを再生してください。

お知らせ

● **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

4 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

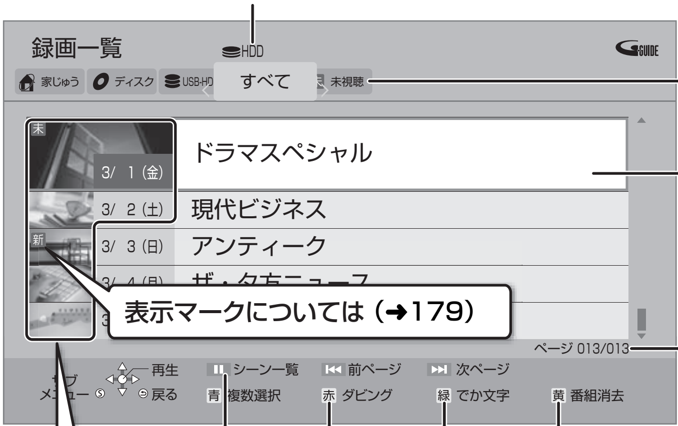
5 「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す

6 プレイリストを選び、決定 を押す

録画一覧について

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD**

例）



選択中のメディア

ラベル
- [◀] [▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

選択中の番組

ページ数
- [|◀◀] [▶▶|] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。押したままにすると、素早く切り換わります。

（➜54）（➜68）（➜66）

文字を大きくします。

HDD **USB-HDD** 録画後すぐは「録画済」と表示
（画像は電源「切」時に作成されます）
- 表示される画像を変更するには（➜64「サムネイル変更」）
- ディスクの場合、画像は表示されません。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう		「お部屋ジャンプリンク」(➜100) で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」（➜124）を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他のディーガの番組を再生した場合、接続機器側の「レート変換モード」は働きません。映像が途切れたり停止する場合は、「お部屋ジャンプリンク（DLNA)」（➜101）から再生してください。
ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ● **BD-V** **DVD-V** では表示されません。
USB-HDD		USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）
HDD	すべて	すべての番組
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。

お知らせ

- 録画一覧は録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

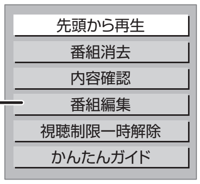
録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー(S) を押す**

❷ **項目を選び、(決定) を押す（➜ 右記へ）**

例）



(➜62)

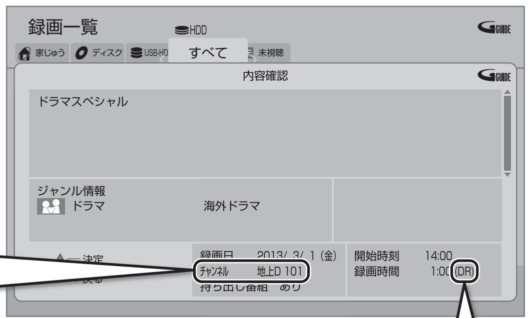
先頭から再生 **HDD** **USB-HDD**	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容（録画の開始時刻、録画時間、録画モードなど）が確認できます。**(➜下記)** **画面を消すには** **[決定]** を押す
視聴制限一時解除 **HDD** **USB-HDD**	「HDD 番組の視聴制限」**(➜119)** で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
一覧を更新 **更新を中止** ●「家じゅう」ラベル選択時のみ	「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。
かんたんガイド	かんたんガイド **(➜23)** を表示します。

録画した番組の録画モードや撮影ビデオの種類を確認するには

本機では、録画した番組の録画モードや取り込んだ撮影ビデオの種類は、
録画一覧の内容確認 **(➜上記)** で確認することができます。

取り込んだ撮影ビデオは、チャンネル欄では以下のように表示されます。

●AVCHD※ ：「AVCHD」
※ サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む。
●AVCHD 3D ：「AVCHD 3D」
●1080/60p の番組 ：「AVCHD PRO」
●MP4 ：「AVC VIDEO」



番組の録画モード

●本書では、取り込んだ撮影ビデオを「AVCHD」の表示がある番組などと記載しています。

再生／編集

録画一覧について（続き）

見たいシーンから再生する（シーン一覧）

HDD

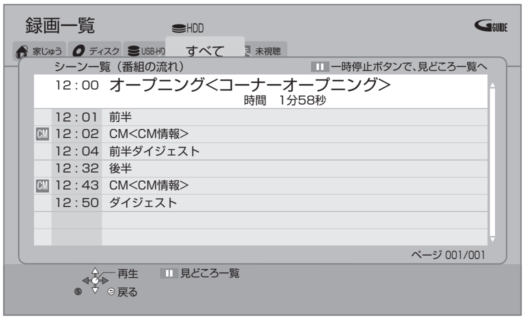
インターネットに接続すると、HDD に録画した番組のシーン一覧を表示することができます。シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。ミモーラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

サービスの登録について（➜156）

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、[❚❚ 一時停止] を押す**

●シーン一覧が表示されます。



ミモーラ会員登録している場合：

❷ **見たいシーンを選び、[決定] を押す**

●選んだシーンから再生が始まります。

見どころ一覧を表示するには

上記手順 ❶ のあと、[❚❚ **一時停止**] を押す

●見どころ一覧で、項目を選び、[**決定**] を押すと、その場面の再生が始まります。

お知らせ

●シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。（2013 年 2 月現在）
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。
詳しくは、ミモーラのホームページ（➜156）をご覧ください。

●以下の番組ではシーン一覧は表示できません。
・番組結合した番組
・BD からダビングした番組
・シーン情報のない番組

●番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

再生中のいろいろな操作

停止

[■ 停止] を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生することができます。

●**HDD** **USB-HDD**：番組ごとに止めた位置を記憶
●ディスク：前回止めた位置のみを記憶
・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
・**BD-V** **DVD-V** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[❚❚ 一時停止] を押す

●もう一度押す、または [▶ **再生**] を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し（サーチ）

[◀◀ 早戻し] または [▶▶ 早送り] を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。（5 段階）

●[▶ **再生**] で通常再生に戻ります。
●早送り 1 速時のみ音声が出ます。

スキップ

再生中または一時停止中に

[|◀◀ スキップ] または [▶▶| スキップ] を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

●チャプターマーク（➜65）がある場合は、その場面に飛びます。
●**MP4** できません。

30 秒先へ飛び越す /10 秒前へ戻す

[30秒送り] または [10秒戻し] を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して、または約10秒前に戻して再生します。

- **DVD-V** 正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3 倍速）

[▶ 再生] を約 1 秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組、**-RW**（ファイナライズ後も含む）、**MP4** ではできません。
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

[早戻し] または [早送り] を押す

押すごとに速度が速くなります。（5段階）

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **BD-V**、**AVCHD** では、送り方向のみ働きます。
- **MP4** できません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

[◀ ▶]（左または右）を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。
- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **BD-V**、**AVCHD** では、コマ戻しはできません。
- **MP4** できません。

音声の切り換え

[音声切換]（リモコンのふた内部）を押す

- 押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

例）マルチ音声放送

- **BD-V** **DVD-V** ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- **MP4** できません。

お知らせ

- ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。
●テレビ側で必要な準備を行ってください。

※ イラストはイメージ図です。

●表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D 方式設定	3D映像が正しく3D再生できない場合に、設定を変更してみてください。（➜121）
3D 再生時の注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。（➜121）
画面表示の飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。（➜61）

3D 映像を 2D（従来の映像）再生したい場合、以下の設定をしてください。
● BD-V ：「3D ディスクの再生方法」（➜118）
●録画した 3D 番組 ：「3D 番組の出力方法」（➜121）

再生中の番組の 3D 設定をする

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。
（詳しくは ➜61「出力方式」）

お知らせ

●「3D 方式設定」（➜121）が「サイドバイサイド」の場合は、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
●接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
●3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」（➜122）の設定どおりに出力されない場合があります。
●3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド（2画面構成）で見えることがあります。
●3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
● BD-V の3D映像の再生中に予約録画が始まると、再生は終了します。
●接続したテレビや再生する素材によっては、3D 再生ができない場合があります。

BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

●本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

❶ **ネットワーク接続と設定をする（➜144、154）**
❷ **「BD-Live インターネット接続」（➜118）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する**
❸ **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
❹ **ディスクを入れる**

●SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**（➜107、手順 6 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください）**

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例）

●副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」**（➜120）**を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは
●「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。**（➜59）**

お知らせ

●インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
●BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

再生する（続き）

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に

[サブメニュー] を押す

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

2 「再生設定」を選び、[決定] を押す

3 メニューを選び、[決定] を押す

例） **BD-V**

4 設定項目を選び、[決定] を押す

●ディスクにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

DR モードまたは 1.5 〜 15 倍録モードの番組は音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

- ▶ **マルチビュー**
- ▶ **映像**
- ▶ **音声**
- ▶ **二重音声**
- ▶ **字幕（入 / 切）**
- ▶ **字幕言語（日本語 / 英語）**

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ **字幕設定**：字幕表示の入 / 切や、言語の選択
- ▶ **字幕スタイル**：ディスクに記録された字幕スタイルの選択
- ▶ **字幕位置** **BD-V** **DVD-V**：字幕の表示位置を変更

アングル

アングルを選びます。

リピート

（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）

繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- ▶ **番組**　：録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル**　：**BD-V** **DVD-V** **AVCHD** タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**　：再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**：プレイリスト
- ▶ **全曲**　：ディスク全体の全曲
- ▶ **1 曲**　：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）

●「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 AVCHD

情報の表示のみ

主映像情報 BD-V

副映像設定 BD-V

▶ **映像情報**
▶ **音声情報**

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

▶ **ノーマル**　：元の映像で表示
▶ **サイドカット**：16：9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示
▶ **ズーム**　：4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示

●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入

●番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。

●テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

映像詳細設定

設定した内容は保持されます。

ディスプレイ

▶ **標準**
▶ **プロジェクター**

映像素材

再生時の画質を選びます。

▶ **標準**
▶ **シネマ**
▶ **アニメ**
▶ **ライブ**

HD オプティマイザー

動画に発生する不要なノイズを補正します。

▶ **切**
▶ **入**

リアルクロマプロセッサ

色信号を高精度に補正することにより、映像の鮮やかさや、色の濃さ、色あいを調整します。

▶ **色の帯域**
▶ **色の濃さ**
▶ **色あい**

超解像

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きい方が、より鮮明になります。

▶ **精細感**
▶ **輪郭強調**

輝度調整

明るさ、黒レベル、白 / 黒階調を調整します。

▶ **明るさ**
▶ **黒レベル**
▶ **白階調**
▶ **黒階調**

プログレッシブ処理

480pのプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

▶ Auto

▶ Video

▶ 24p **DVD-V** ［「24p 出力」（➜122）が「入」の場合のみ］

より映画らしい動きで再生することができます。

●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。

●ディスクを取り出した場合、24p 設定は解除され、前回の設定に戻ります。

旧作モード

映像の制作時期が古く、画質が良好でない場合に適したモードです。ノイズを抑えてすっきりとした画質に補正します。

▶ 切

▶ 入

● **BD-V** **DVD-V** **AVCHD** **MP4** できません。

●3D 再生中は設定できません。

●画質が良好な番組の場合、再生する画質が劣化することがあります。

●再生を停止すると「切」に戻ります。

映像詳細設定を標準に戻す

映像詳細設定を初期化します。

音声詳細設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

▶ 切

▶ ナイトサラウンド※

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ リ . マスター (弱 / 標準 / 強)※

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
（サンプリング周波数が 96 kHz 以下で記録された音声に有効）

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

●リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ 「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。（➜120）
（ただし2チャンネルの音声になります）

3D 設定

出力方式

- ▶ **オリジナル**　：元の映像で表示します。
- ▶ **サイドバイサイド**:
  サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に選択してください。
  - ●変更しても正しく表示されない場合は、「3D 方式設定」(➔121)とテレビ側の 3D 設定を確認してください。

●BD-V の3D再生や 3D 表示のある番組では、「オリジナル」固定になります。

●以下の場合、「オリジナル」に戻ります。
- ・他のチャンネルを選局
- ・番組の再生を始める、または終了する
- ・電源を切 / 入

画面表示の飛び出し量

3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

番組を編集する

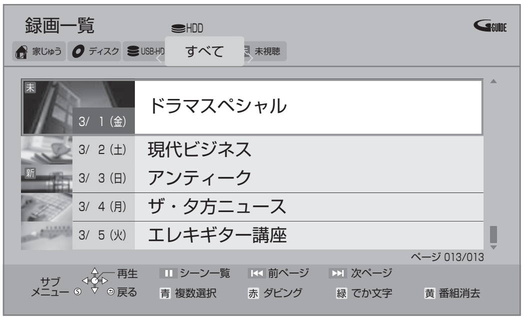
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

（ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません）

1 見る（録画一覧） **を押す**

2 **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

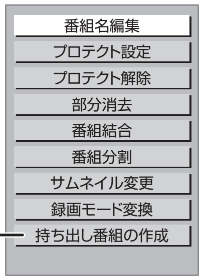
例）HDD



3 **「番組編集」を選び、㊚ を押す**

4 **項目を選び、（決定） を押す（➜右記へ）**

例）HDD



お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」（➜96）の設定を取り消すと実行できます。

番組名編集

☞ 文字入力 （➜103）

お知らせ

- 新 表示の番組は変更できません。
- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

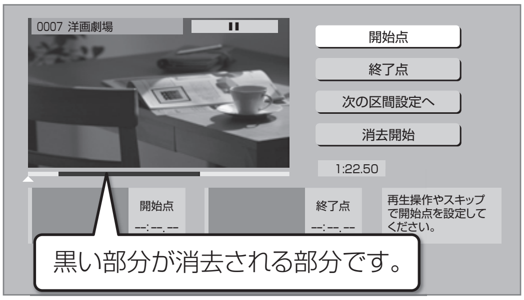
- -R(V) -RW(V) できません。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

部分消去

- -R(V) -RW(V) できません。



① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す**

③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す**

- 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]** を押す（**➜手順 ② へ**）
  - ・20区間まで設定できます。
  - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。

⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す**

⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す**

- 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。
- 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

番組結合

HDD **USB-HDD**

同じ録画モードや素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

- 1.5 ～ 15 倍録 モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

① **結合したい番組を選び、[決定] を押す**

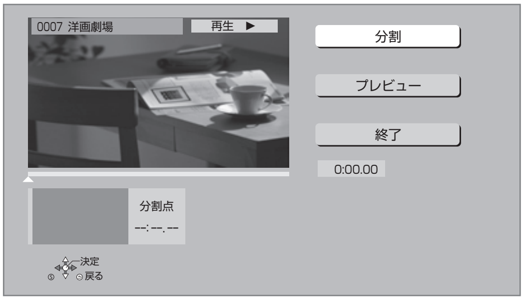
② **「結合」を選び、[決定] を押す**

お知らせ

- 結合した番組は以下のようになります。
  - ･録画モード：
    画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません）
  - ･ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
  - ･番組名：最初に選択した番組名
  - ･チャプターマーク：
    結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます）
  - ･番組の結合部分：映像や音声が途切れることがあります。
  - ･持ち出し番組は消去されます。
- 以下の番組は結合できません。
  - ･録画時間の合計が 8 時間を超える場合
  - ･デジタル放送の番組とそれ以外の番組
  - ･LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画した番組
    - 録画モード変換(➜64)を行うと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
  - ･撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組分割

- **-R(V)** **-RW(V)** できません。



① **「分割」を選び、分割する場面※で [決定] を押す**
- 「プレビュー」を選び、[**決定**] を押すと、分割する場面を確認することができます。

場面を選び直すには

① 「分割」を選び、[▶ **再生**] を押して再生を始める

② 分割する場面で、[**決定**] を押す

② **「終了」を選び、[決定] を押す**

③ **「分割」を選び、[決定] を押す**

- 分割すると、持ち出し番組は消去されます。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。
- **BD-RE** **BD-R** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など（**➜54、55**）を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [**❚❚ 一時停止**] を押し、[**◀**] [**▶**] を押して場面を調整する

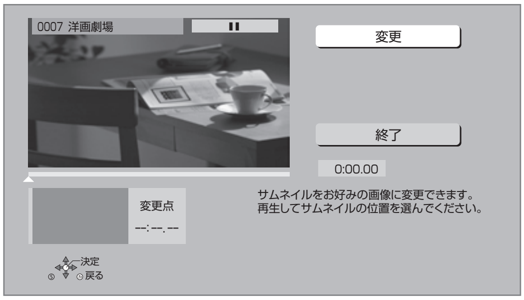
番組を編集する（続き）

サムネイル変更

HDD **-R(V)** **-RW(V)** **USB-HDD**

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

- **-R(V)** **-RW(V)** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「変更」を選び、お好みの場面※で [決定] を押す**

場面を選び直すには

① 「変更」を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める

② お好みの場面で、**[決定]** を押す

③ **「終了」を選び、[決定] を押す**

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など（**➔54、55**）を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

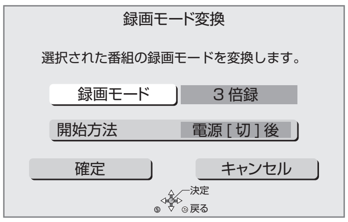
録画モード変換

HDD **USB-HDD**

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- 1.5 ～ 15 倍録 モードのみ選択できます。



① **「録画モード」を選び、[決定] を押す**

② **倍率を選び、[決定] を押す**

③ **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

- **すぐに**：
「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。
- **電源 [切] 後**：
電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

④ **「確定」を選び、[決定] を押す**

⑤ 「すぐに」開始する場合：
「開始」を選び、[決定] を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合：
[決定] を押す

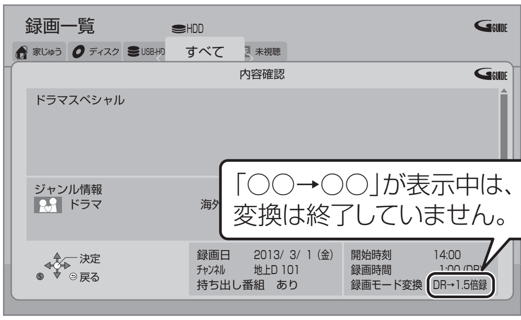
変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **62 ページ**手順 **4** で「録画モード変換」を選ぶ

② 「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

変換が終了しているか確認するには

録画一覧の「内容確認」(**➔53**)で確認できます。



お知らせ

- 15 倍録モードの番組は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、EP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(**➔118**) で記録したい音声を選んでください。

チャプターの作成・削除

基本操作　選び ➡ 決定する

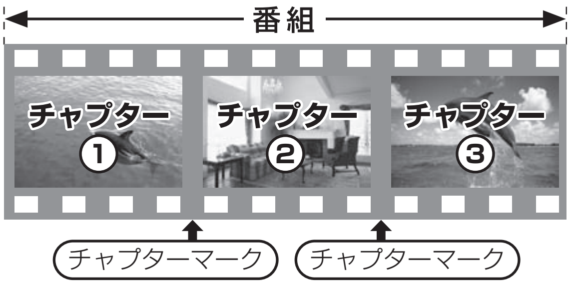
HDD

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)
（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

USB-HDD

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ（➜54）すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」（➜118）を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

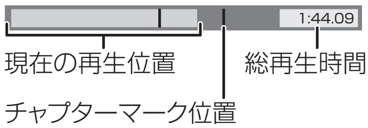
再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

黄（チャプターマーク）を押す

削除

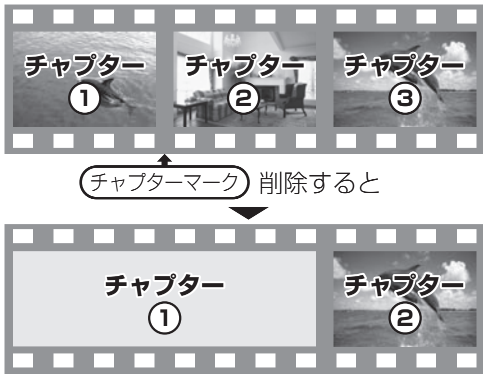
一時停止中に

❶ **スキップ⏮ または スキップ⏭ を押して、削除したい場面に飛ぶ**



❷ **黄（チャプターマーク）を押す**

❸ **「はい」を選び、決定 を押す**



前後のチャプターが結合されます。

お知らせ

- HDD USB-HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➜54）や「サムネイル変更」（➜64）ができなくなります。

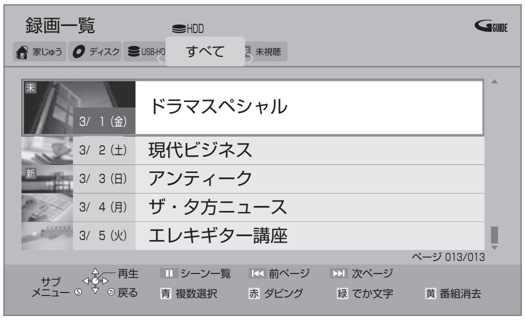
再生／編集

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD**

1 [見る 録画一覧] を押す

2 番組を選び、[黄] を押す



3 「消去」を選び、(決定) を押す

お知らせ

- **HDD** の番組消去について
  - ・消去すると、持ち出し番組も消去されます。
  - ・消去中に他の操作をしたり、番組分割した番組を消去する場合は、消去に時間がかかることがあります。
- 消去後のディスク残量について
  - ・**HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW(VR)** **USB-HDD**
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - ・**-RW(V)**
    最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

  - ・**BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

基本操作 選び → 決定する

本機では、HDD、USB-HDD、ディスクの間でダビングを行うことができます。

ダビング方向と方法	ダビング速度	お知らせ
HDD → ディスク ●かんたんダビング ●詳細ダビング ●再生中番組の保存 USB-HDD → ディスク ●詳細ダビング	DRモードの番組 LAN経由で録画した番組 高速 → BD 画質変更 → DVD※ 1.5～15倍録モードの番組 高速 → BD　DVD（AVCREC方式） 画質変更 → DVD※（VR方式·ビデオ方式） ※ USB-HDDからDVD（VR方式·ビデオ方式）にはダビングできません。	DVDにデジタル放送をダビングする場合 **CPRM対応** のディスクをお使いください。
HDD → USB-HDD USB-HDD → HDD ●詳細ダビング	高速	HDD ⇔ USB-HDD 移動のみ可能 ●ダビング元の番組は消去されます。 ●HDD の持ち出し番組は消去されます。 ●ダビングの残り回数は減りません。 ●以下の番組はダビングできません。 ·撮影ビデオ（AVCHD、MP4） ·MPEG2 動画 ·XP、SP、LP、EP、FR モードの番組
ディスク → HDD ●詳細ダビング	BD DRモードの番組 1.5～15倍録モードの番組 高速 → HDD BD XP、SP、LP、EP、FRモードの番組 画質変更 → HDD DVD 1.5～15倍録モードの番組 XP、SP、LP、EP、FRモードの番組 高速 → HDD DVDビデオ （ファイナライズ後のディスク） 画質変更 → HDD	**デジタル放送のダビングについて（ムーブバック）** ●DVD からはダビングできません。 ●BD からは移動になります。 （ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません） BD → HDD 移動のみ可能 ● BD-RE BD-R 以下の番組は移動できません。 ·ディスク内で番組分割した番組 ·当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組 · BD-R ファイナライズしたディスク ·録画時間が 8 時間を超える番組
HDD → HDD USB-HDD → USB-HDD ●詳細ダビング	高速	番組を複製して同じ番組を2つにします。

お知らせ

- **画質変更ダビングは、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。**
- ダビングする番組によっては、ダビング速度が遅くなることがあります。また、画質変更ダビングでは、ダビング速度が遅くなります。
- DR、1.5 ～ 15 倍録モードの番組を DVD 画質でダビングする場合は 1 倍速になります。
- ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、EP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

HDD にある番組をディスクにダビングします。

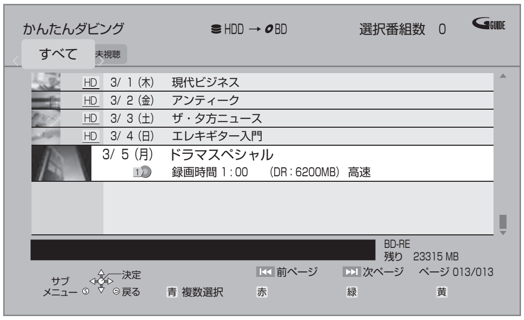
1 ディスクを入れる

2 「かんたんダビング」を選び、(決定) を押す

- **RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、［決定］を押してください。

3 番組を選び、(決定) を押す

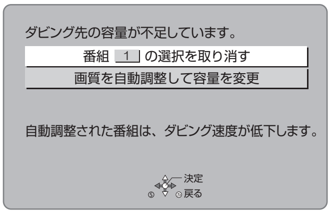
- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。
（選んだ番組には ☑ が表示されます。
もう一度 [青] を押すと選択を取り消します。）



選んだ番組がディスク残量を超える場合

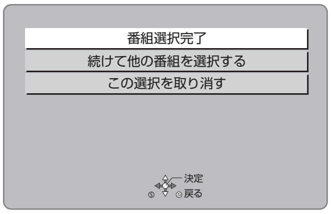
確認画面が表示されます。

例）



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、(決定) を押す

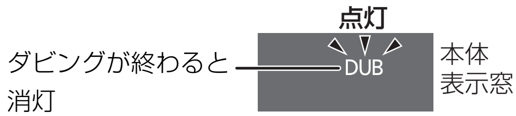


他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。（➜ 手順 3 へ）

5 「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

- オプション設定について（➜69）

6 「はい」を選び、(決定) を押す



新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作（➜75）

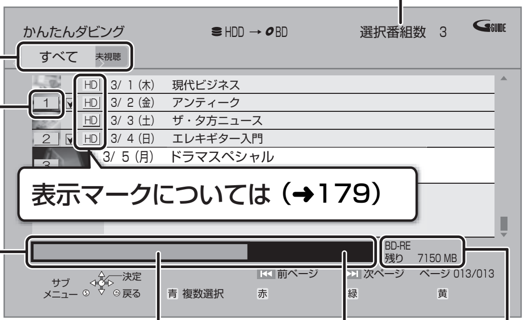
ダビングの進行状況を表示するには

① [機能一覧 / 予約確認] を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
③「残す」を選び、[決定] を押す
④「ダビングする」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 「DVD 画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - ・ 10 ～ 1 の番組が含まれている場合　：VR 方式
  - ・ 10 ～ 1 の番組が含まれていない場合　：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。
- プロテクト設定（➜62）されている 1 の番組はダビングできません。

かんたんダビングの画面の見方



選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングする画質について

HD 表示のある番組：

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

- 以下のディスクはDVD画質でのダビングになります。

RAM(VR) **-R(VR)** **-R(V)** **-RW**

HD 表示のない番組：

- **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはハイビジョン画質でダビングします。（ただし画質は向上しません）

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面（➜68 手順 3）で

❶ **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ●ダビング終了後自動電源［切］ ●ダビング終了後自動ファイナライズ（**-R** **-RW** のみ）
視聴制限一時解除※	「HDD番組の視聴制限」（➜119）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※	表示順を変更します。

※番組に ☑ が付いているときはできません。

番組をダビングする（続き）

詳細ダビング

ダビング方向：

- HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD
- BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)
  ➡ HDD
- USB-HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC)
  -R(AVCREC) USB-HDD

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜106)

1 機能一覧/予約確認 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

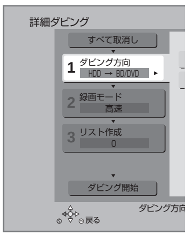
3 「残す」を選び、決定 を押す

4 「ダビングする」を選び、決定 を押す

5 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

6 項目を選び、[▶] を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



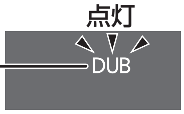
1 ダビング方向 HDD → BD/DVD (➜ 右記)
2 録画モード 高速 (➜71)
3 リスト作成 0 (➜71)
4 詳細設定 (➜71)

7 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

8 「ダビングする」または「ダビング後に電源 [切]」を選び、決定 を押す

点灯

ダビングが終わると消灯



本体表示窓

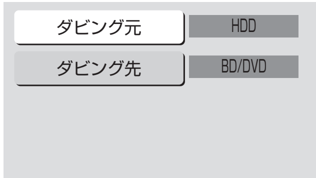
☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

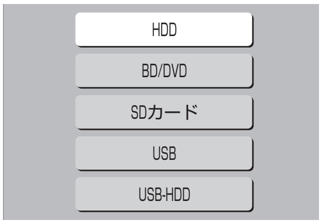
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作（➜75）

ダビング方向

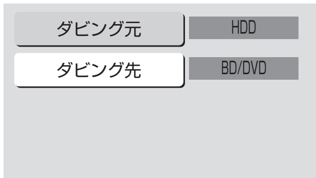
❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す



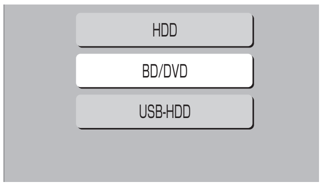
❷ ダビング元を選び、決定 を押す



❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す



❹ ダビング先を選び、決定 を押す



❺ [◀] を押す（➜ 左記手順 7 へ）

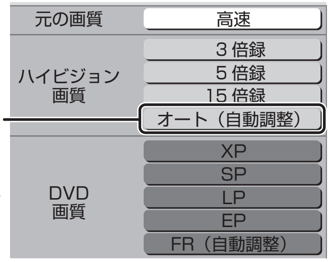
お知らせ

- HDD USB-HDD ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。
  - ･コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)
  - ･ 1 表示のある番組の複製はできません。
- ディスクから HDD へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。

録画モード

❶「録画モード」を選び、(決定) を押す

❷ 録画するモードを選び、(決定) を押す



記録先の空き容量に合わせて、1.5～15倍録モードの中から自動で選択してダビングします。

- ハイビジョン画質を選択時に **[サブ メニュー]** を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(➜ 47)

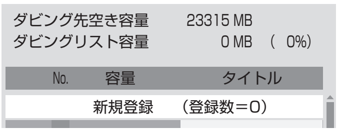
❸ [◀] を押す（➜70 手順 7 へ）

お知らせ

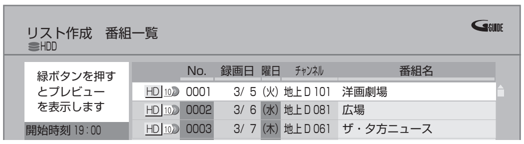
- **録画モードと記録時間の目安（➜190）**
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。

リスト作成（番組を選択する）

❶「新規登録」を選び、(決定) を押す



❷ 番組を選び、[青] を押す



- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ 選び終わったあと、(決定) を押す

❹ [◀] を押す（➜70 手順 7 へ）

お知らせ

- USB-HDD にダビングする場合や高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
（USB-HDD には「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません）
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（-R -RW へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、(決定) を押す

❷「入」または「切」を選び、(決定) を押す

❸ [◀] を押す（➜70 手順 7 へ）

（BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ 1.5 ～ 15 倍録 モードを選んでダビングするときのみ）
複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、(決定) を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、(決定) を押す

- モード 1 ：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2 ：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(➜58) で記録する内容を設定してください。

❸ [◀] を押す（➜70 手順 7 へ）

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (➜109) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

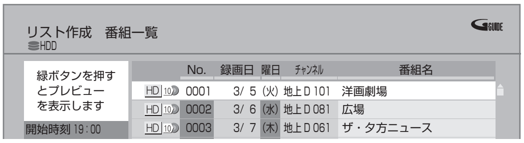
ダビング

番組をダビングする（続き）

詳細ダビング（続き）

ダビングの便利な機能

リスト作成画面（➜71「リスト作成」手順 ❷）で



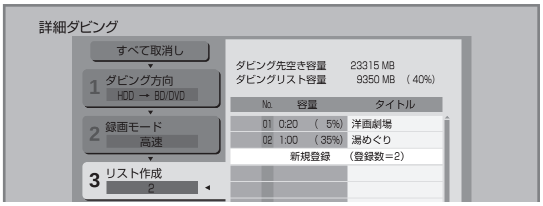
❶ 番組を選び、サブメニュー(S) を押す

❷ 項目を選び、(決定) を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ HDD USB-HDD	「HDD 番組の視聴制限」（➜119）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※ HDD USB-HDD	表示順を変更します。

※　番組に☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面（➜71「リスト作成」手順 ❶）で



- 登録されたリストや設定を取り消す：
  「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
- リスト項目を入れ替える：
  番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする：
  [サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
  - ･リスト全消去
  - ･追加
  - ･消去
  - ･移動

ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：
DVD-V（ファイナライズ後の -R(V) -RW(V)、+R、+R DL、+RW）➡ HDD

1 機能一覧/予約確認 を押す

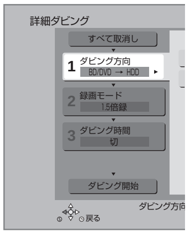
2 「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す

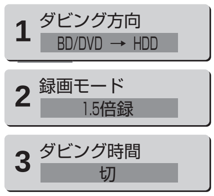
3 「残す」を選び、(決定) を押す

4 「ダビングする」を選び、(決定) を押す

5 「詳細ダビング」を選び、(決定) を押す

6 項目を選び、[▶] を押す
- 操作方法は「詳細ダビング」（➜70）をご覧ください。





以下のように設定してください。
･**「ダビング方向」**：「ダビング元」➜「BD/DVD」
･**「録画モード」**：「録画モード」を選ぶ
（1.5 ～ 15 倍録のみ選べます）
･**「ダビング時間」**：ダビング時間を設定する（➜73）

7 「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

8 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、(決定) を押す

●最初に右記の画面がダビングされます。
●番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

9 ダビングしたい番組の再生を始める

トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[**決定**] を押す

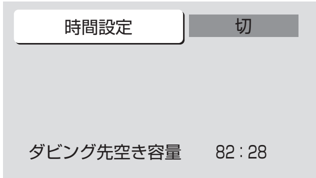
好みの番組を再生するには
① [**見る 録画一覧**] を押す
② 番組を選び、[**決定**] を押す

ディスクの再生が始まらない場合は
① [**▶ 再生**] を押す
②（トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[**決定**] を押す

ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[**戻る**] を 3 秒以上押す

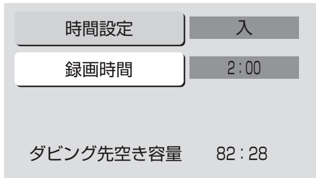
ダビング時間

❶ **「時間設定」を選び、(決定) を押す**

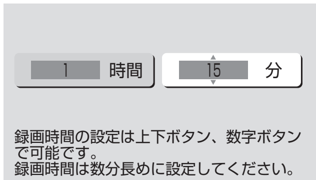


❷ **「入」または「切」を選び、(決定) を押す**
●「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸ **「録画時間」を選び、(決定) を押す**



❹ **“時間”または“分”を選び [▲][▼] で設定し、(決定) を押す**



お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ（➜54）で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」（➜118）の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。（1 番組のみダビング）
記録する音声や字幕情報を設定できるので、複数の音声や字幕情報を含んだ番組を DVD 画質で DVD にダビングするときに便利です。

●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW

●新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜106）

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

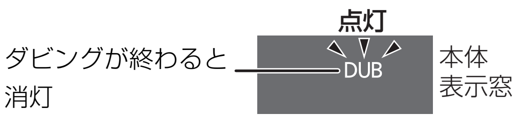
●RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) **［音声切換］（リモコンのふた内部）**を押して記録したい音声を選び、「信号切換」（➜58）で字幕情報の設定をする

2 サブメニュー Ⓢ を押す

●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **[サブ メニュー]** を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、(決定) を押す

4 「保存開始」を選び、(決定) を押す



☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

●中止時の動作（➜75）

お知らせ

● RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) 複数の音声を含んだ番組を 2 番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。

①ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする

・**［音声切換］（リモコンのふた内部）**を押して記録したい音声を選ぶ

・「信号切換」（➜58）で字幕設定をする

②かんたんダビング（➜68）、詳細ダビング（➜70）

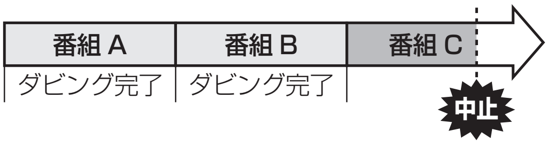
字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

基本操作 選び→決定する

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合



番組 A・B のみダビングされます。
番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。
ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

BD-R -R 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R(V) -RW(V) に画質変更ダビングするときの動作

番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクにダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。
HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去（➜66）してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数（➜192）を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。
- ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
- BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

部分消去した番組の画質変更ダビングについて

部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

3D 対応の番組のダビングについて

- 3D 表示のある番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D映像として記録されます。
  ・ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
  ・BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

複数の音声（マルチ音声）や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  （高速、1.5 ～ 15 倍録 モードでダビング時）
  複数の音声や字幕情報を記録できます。（再生時に切り換え可能）
- RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)（HDD からダビング時）
  複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換え不可）
  再生中番組の保存（➜74）でダビングしてください。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
  BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 詳細ダビングの詳細設定（➜71）で、「音声・字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」（➜58）で設定した内容で記録することができます。（ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります）

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  両方の音声を記録
- -R(V) -RW(V) 以下の設定に従って記録：
  「DVD-Video 記録の設定」（➜118）の「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

ダビング

ネットワークを使って CATV（ケーブルテレビ）から予約する

ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

●ネットワークを使って録画できる CATV セットトップボックスについては、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。

●ネットワーク接続と設定をする
（➜145、146、154）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）/ スカパー ! Link（録画）設定（➜126）

HDD

CATV側でネットワーク設定と予約の設定をする

●本機が録画先になるように設定してください。詳しくは CATV セットトップボックスの説明書をご覧ください。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。（➜42）
・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
・接続している CATV セットトップボックスによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

録画中は、本体前面の“LAN”ランプが点灯します。

本体前面 点灯

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

●ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

●**ネットワークを使ってダビングする場合（➜82）**
●本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
●CATVの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
・本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。（➜116「時刻合わせ」）
・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
●CATVの番組を録画中は、市販の BD ビデオや AVCHD のディスクを再生することはできません。
●予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」（➜39）、「番組名入力」（➜41）の設定ができます。ただし、CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。
●録画中の CATVの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。
●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。
●CATV の番組は、録画モードが表示されません。
●視聴制限のある番組は、録画一覧画面（➜52）やダビング画面（➜68、71）などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

ビデオカメラからダビングする

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を取り込む

USB　SDカード　ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

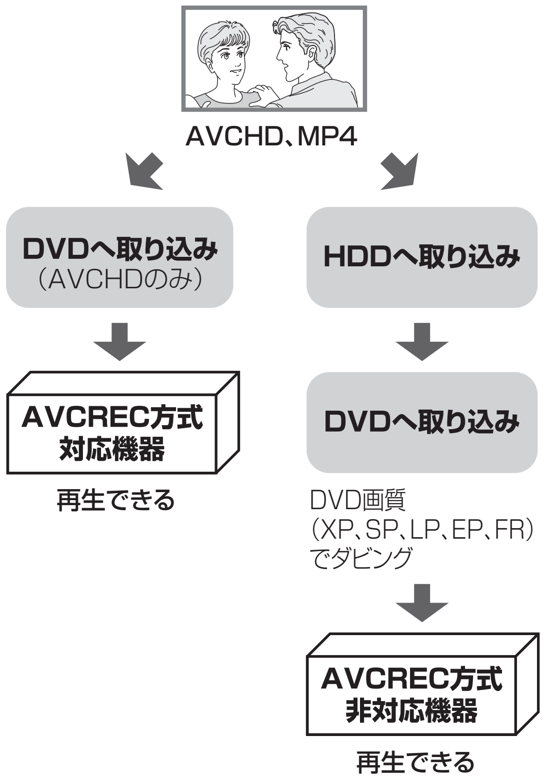
- 「1080/60p」※や「AVCHD 3D」の表示がある番組は **HDD** **BD-RE** **BD-R** にのみ取り込むことができます。

  ※ 1080/60p（1920×1080/60プログレッシブ）記録の番組
- MP4の番組は **HDD** にのみ取り込むことができます。（高速で取り込みはできません）
- MP4 取り込み時の画質は、「MP4 取り込み画質」（➜118）で選ぶことができます。
  「高画質モード」は 2 倍録相当、「標準モード」は 5 倍録相当の画質になります。

お知らせ

- 取り込んだ撮影ビデオの種類は、録画一覧の内容確認画面に表示されます。**（詳しくは ➜53）**

DVDに記録してプレーヤーなどで再生するには



ビデオカメラからダビングする (続き)

かんたん差分取り込み

USB　SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

USB SD ➜ HDD

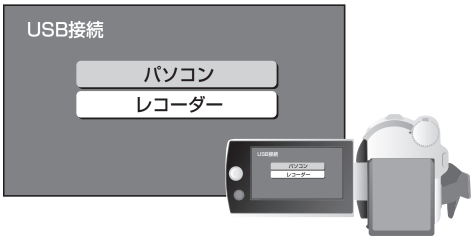
■USB 機器から取り込む場合

1 USB 機器を接続する（➜134）

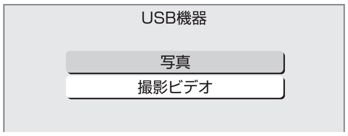
2 USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

●USB 機器の設定は、USB 機器の説明書に従って行ってください。

例）



●USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。

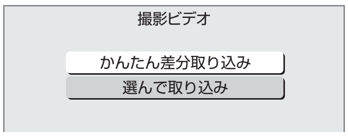


下記操作で表示することもできます。

① **[機能一覧 / 予約確認]** を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す
④「USB 機器」を選び、**[決定]** を押す

3 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

4 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す



5 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

■SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

●以下の画面が表示されます。

下記操作で表示することもできます。

① **[機能一覧 / 予約確認]** を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す
④「SD カード」を選び、**[決定]** を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す

5 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

●取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。
●取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜119）や「全番組消去」（➜119）を行うと、削除されます。
●同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」（➜79）を行ってください。
●MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
●以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。
・ビデオカメラなどで編集
・取り込みを中断

選んで取り込み

USB　SDカード　ディスク

取り込み方向：

- **USB** **SD** ➡
  HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**
- AVCHD を記録したディスク ➡ **HDD**

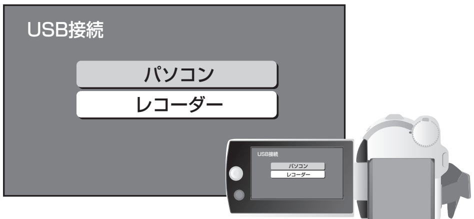
■USB 機器から取り込む場合

1 USB 機器を接続する（➜134）

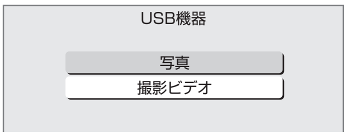
2 USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

- USB 機器の設定は、USB 機器の説明書に従って行ってください。

例）



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。

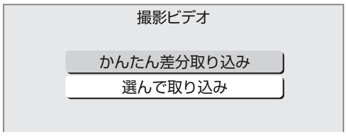


下記操作で表示することもできます。

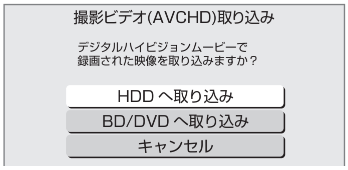
① **[機能一覧 / 予約確認]** を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す
④「USB 機器」を選び、**[決定]** を押す

3 「撮影ビデオ」を選び、(決定) を押す

4 「選んで取り込み」を選び、(決定) を押す



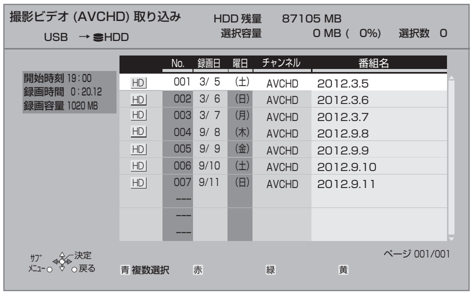
- 複数種類の撮影ビデオが USB 機器に存在している場合、メッセージが表示されます。
  取り込みたい撮影ビデオを選び、**[決定]** を押してください。
- 「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、**[決定]** を押してください。



5 タイトルを選び、[青] を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）



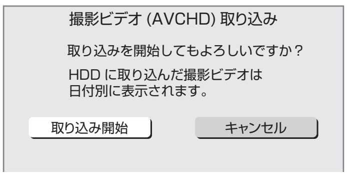
選択を取り消すには

タイトルを選び、**[青]** を押す

6 選び終わったあと、(決定) を押す

7 「取り込み開始」を選び、(決定) を押す

例）



- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

ビデオカメラからダビングする (続き)

■SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

●以下の画面が表示されます。

下記操作で表示することもできます。

① **[機能一覧 / 予約確認]** を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す
④「SD カード」を選び、**[決定]** を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、(決定) を押す

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、(決定) を押す

4 「選んで取り込み」を選び、(決定) を押す

●複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
取り込みたい撮影ビデオを選び、**[決定]** を押してください。
●「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、**[決定]** を押してください。

5 タイトルを選び、(青) を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、**[青]** を押す

6 選び終わったあと、(決定) を押す

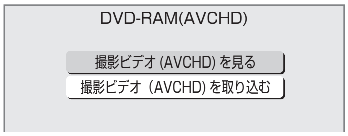
7 「取り込み開始」を選び、(決定) を押す

●新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

■ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

●以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

① **[機能一覧 / 予約確認]** を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す
④「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、**[決定]** を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、(決定) を押す

3 タイトルを選び、(青) を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、**[青]** を押す

4 選び終わったあと、(決定) を押す

5 「取り込み開始」を選び、(決定) を押す

お知らせ

●1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合、99 シーンごとに分けて取り込みます。
●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。
●撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

MPEG2 動画を取り込む（ダビング）

USB　SDカード

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。**(➜106)**

ダビング方向：

USB **SD** ➜ **HDD** **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

1 USB機器を接続するまたはSDカードを入れる

USB 機器を接続するには（➜134）

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

USB 手順４へ

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す

●複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。「MPEG2」を選び、**[決定]** を押してください。

5 項目を選び、[▶] を押す

●操作方法は「詳細ダビング」**(➜70)** をご覧ください。
以下のように設定されているかご確認ください。
・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「USB」または「SD カード」

6 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

7 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、決定 を押す

お知らせ

●ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
●USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
●ダビング中は、録画や再生はできません。
●BD-RE、BD-R には直接ダビングできません。いったん HDD にダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

ネットワークを使って取り込む(ダビング)

ネットワーク接続

HDD

本機では、DIGA コピーに対応した当社製デジタルビデオカメラとネットワーク接続すると、撮影ビデオ（AVCHD）と写真を本機の HDD にダビングすることができます。

●ネットワーク接続と設定をする
(➜146、147、154)
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合**(➜126)**

DIGA コピーに対応した当社製デジタルビデオカメラの対応機種やダビングの操作方法については、下記ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/video/index.html

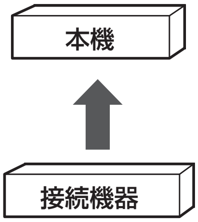
お知らせ

●本機が以下の場合はダビングできません。
・LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）の番組を録画中
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・ダビング中
・お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など

ネットワークを使ってダビングする

HDD

本機では他の機器とネットワーク接続すると、接続した機器側のHDDに録画した番組を本機のHDDにダビングすることができます。



ディーガ以外から本機へダビングする

本機では、以下の機器とネットワーク接続してダビングすることができます。

ダビングできる機器：

・USB-HDD 録画対応ビエラ
・HDD 内蔵ビエラ
・当社製 CATV デジタルセットトップボックス
・スカパー！プレミアムサービス対応チューナー

●ネットワークを使ってダビングできる機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。

●ネットワーク接続と設定をする（➜145 ～ 147、154）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合（➜126）

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●ネットワークを使って予約する場合（➜76）

他のディーガから本機へダビングする（番組お引越しダビング）

本機では、番組お引越しダビングに対応したディーガとネットワーク接続してダビングすることができます。他のディーガの番組を本機にまとめて移動するときに便利です。

●番組お引越しダビングに対応した機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。

●ネットワーク接続と設定をする（➜145 ～ 147、154）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合（➜126）

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

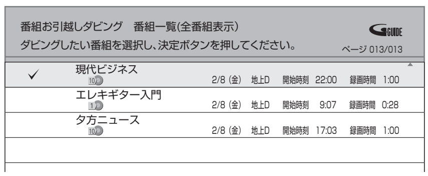
3 **「ネットワーク機能を使う」を選び、決定 を押す**

4 **「番組お引越しダビング」を選び、決定 を押す**

5 **接続する機器を選び、決定 を押す**

6 **番組を選び、決定 を押す**

●複数の番組をダビングする場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。
（選んだ番組には「✓」が表示されます。
もう一度 [青] を押すと選択を取り消します。）



☞ まとめ **番組を選んだ場合は**
まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。

☞ **すべての番組をダビングしたい場合は**
① [サブ メニュー] を押す
②「一括ダビング」を選び、[決定] を押す
③「はい」を選び、[決定] を押す

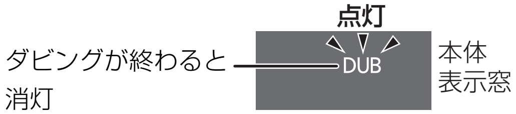
7 「ダビング元機器の番組」を「残す」または「残さない」に設定する

8 「設定する」を選び、(決定) を押す

9 本機と接続機器の電源を切る

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

●ダビング中に電源を入れると、ダビングを中止し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。



「クイックスタートモード」(➜117) が「省エネ(時計表示無し)」の場合、点灯しません。

ダビングの状況を確認するには

① [機能一覧 / 予約確認] を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
③「ネットワーク機能を使う」を選び、[決定] を押す
④「番組お引越しダビング」を選び、[決定] を押す

ダビングを中止するには

上記手順 ④ のあとに、[黄] を押す

ダビングの便利な機能

番組お引越しダビング画面(➜82 手順 6)で

❶ 番組を選び、(サブメニュー S) を押す

❷ 項目を選び、(決定) を押す(➜ 下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
一括ダビング※	HDD 内のすべての番組をダビングします。 (「はい」を選んで [決定] を押したあと ➜ **左記手順 7** へ)
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※番組に「✓」が付いているときはできません。

お知らせ

● 1 回に複数選択できる番組は 99 番組までです。
● まとめ 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
●以下の番組はダビングできません。
  ･プロテクト設定(➜62)されている 1 の番組
  ･ダウンロードした番組
  ･ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」「チャプター結合」の編集や、番組の複製をした番組
  ･XP、SP、LP、EP、FR モードの番組
● 1 の表示がある番組は以下のようになります。
  ･手順 7 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
● 10 ～ 2 の表示がある番組は以下のようになります。
  ･ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。

他の機器と

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーから本機に録画する

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーと接続する場合は、LAN 端子と接続してください。

●「スカパー！HD」は 2012 年 9 月 29 日より「スカパー！プレミアムサービス」に名称変更しました。

接続と設定

●ネットワーク接続と設定をする
(➜145、146、154)
●設定を変更する場合(➜126)

ネットワークで接続すると、スカパー！プレミアムサービス対応チューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

●スカパー！プレミアムサービスについては、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/network/hd_rec/

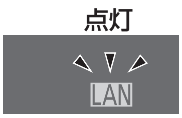
HDD

スカパー！プレミアムサービス対応のチューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

●本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー！プレミアムサービス対応のチューナーの説明書をご覧ください。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(➜42)
・そのままの画質で録画します。本機側で録画モードを変更することはできません。
・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
・接続しているチューナーによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

スカパー！プレミアムサービスの録画中は、本体前面の“LAN”ランプが点灯します。

本体前面



録画を止めるには

[■ 停止] を押す

●スカパー！プレミアムサービス以外の番組も録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

●本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
●スカパー！プレミアムサービスの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
・本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
(➜116「時刻合わせ」)
・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
●スカパー！プレミアムサービスの番組を録画中は、市販の BD ビデオや AVCHD のディスクを再生することはできません。
●予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(➜39)、「番組名入力」(➜41) の設定ができます。ただし、チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。
●録画中のスカパー！プレミアムサービスの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。
●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。
●スカパー！プレミアムサービスの番組は、録画モードが表示されません。
●視聴制限のある番組は、録画一覧画面 (➜52) やダビング画面 (➜68、71) などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。
●以下の場合、記録したスカパー！プレミアムサービスの番組は字幕表示の入 / 切ができません。
・接続しているチューナーが字幕データの出力に対応していない場合
・画質変更ダビングした場合
・他社製機器で記録した場合

写真を再生する

基本操作　選び（▲▼◀▶）→ 決定する（決定）

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWや当社製デジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3Dテレビと接続している場合、3D 対応のデジタルカメラで撮影した写真（MPO）の3D再生をお楽しみいただけます。

ディスク、SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜134）すると、下記画面が表示されます。
（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

下記の手順 5 に進みます。

1 機能一覧/予約確認 **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

3 **HDD の写真を再生する場合：**
「見る」を選び、決定 を押す（➜ 手順 6 へ）

ディスクや SD USB の写真を再生する場合：
「メディアを使う」を選び、決定 を押す

4 ディスク：
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

SD：
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

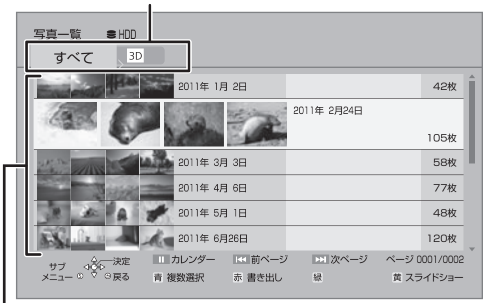
5 **「写真」を選び、決定 を押す**

6 **「写真を見る」を選び、決定 を押す**

7 **フォルダを選び、決定 を押す**

例）HDD

ラベル
- 3D ラベル：
取り込んだ 3D 写真（MPO）を 3D再生する場合は、このラベルから選んでください。



フォルダ
- HDD に取り込まれた写真（➜88）は、フォルダで管理されます。
- [サブ メニュー] を押すと、フォルダや写真を整理することができます。（➜87）

8 **写真を選び、決定 を押す**

再生を止めるには
[■ 停止] を押す

前後の写真を見るには
[◀][▶] を押す

写真の情報を表示するには
① [サブ メニュー] を押す
- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

② 「画面表示」を選び、[決定] を押す
③ [◀][▶] で「日付」または「詳細情報」を選び、[決定] を押す

スライドショーを見るには
[▶ 再生] を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- ☒ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

写真を再生する (続き)

おもいで再生をする

HDD

おもいでボタンを押すと、本機に取り込んだ数年間の写真の中から、今の時期に撮影された写真を自動抽出してスライドショー再生します。

- 現在の前後 2 週間の日付(例えば、再生日が 4 月 15 日の場合、今年を含む過去数年の 4 月 1 日～ 4 月 29 日頃）の写真を抽出して再生します。
- 写真は最大 120 枚(1 フォルダ当たり最大 20 枚)がランダムに選ばれます。

[おもいで] **を押す**

再生を終了するには

[戻る] を押す

お知らせ

- 2000 年以降の日付から写真を抽出しますが、対象期間に写真がない場合は、最新日付の写真またはサンプル写真を再生します。
- 3D 写真は 2D 再生になります。
- 録画中やダビング中は再生できません。また、予約録画の開始時刻になると、再生は終了します。
- 「リピート再生」(**➜ 右記**) は「切」に固定されます。

写真再生のいろいろな機能

写真再生中または写真一覧表示中に操作します。

1 [サブメニュー] **を押す**

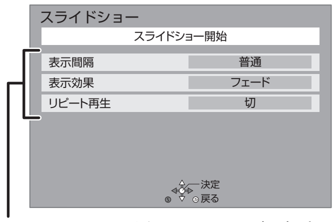
- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **[サブ メニュー]** を押してください。

2 **項目を選び、[決定] を押す**

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。(**➜59**) ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90° 回転 **左90° 回転**	写真を回転します。
画面表示の飛び出し量	3D 写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、[決定] を押す** 例）  開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(**➜ 下記**) **スライドショーを終了するには** **[戻る]** を押す **表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。(3D 写真再生時を除く) **リピート再生** 再生を繰り返します。
カレンダー **HDD**	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からフォルダを探すことができます。

写真を整理する

基本操作 選び ➡ 決定する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **SD**

（ファイナライズしたディスクでは編集できません）

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す**

3 **HDD** **の写真を整理する場合：**

「見る」を選び、(決定) を押す（➜ 手順 6 へ）

ディスクや **SD** の写真を整理する場合：

「メディアを使う」を選び、(決定) を押す

4 ディスク：

「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、(決定) を押す

SD：

「SD カード」を選び、(決定) を押す

5 **「写真」を選び、(決定) を押す**

6 **「写真を見る」を選び、(決定) を押す**

7 フォルダ単位で管理する場合：

フォルダを選び、 サブメニュー (S) **を押す**（➜ 手順 9 へ）

写真単位で管理する場合：

フォルダを選び、(決定) を押す

- 「フォルダをまとめる」ときは、**[青]** を押してフォルダを選択したあと、**[サブ メニュー]** を押してください。

8 **写真を選び、** サブメニュー (S) **を押す**

9 **項目を選び、(決定) を押す**（➜ 右記へ）

例）**HDD**

- スライドショー
- カレンダー
- 写真の書き出し
- フォルダ名の編集
- フォルダをまとめる
- フォルダの消去
- 写真の印刷
- 音楽再生中の表示登録

フォルダ名の編集	フォルダ名を編集します。 **文字入力については（➜103）**
フォルダをまとめる **HDD**	選択した 2 つ以上のフォルダを、1 つのフォルダにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
フォルダの消去	フォルダを消去します。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
写真の移動 **HDD**	選択中の写真を新規に作成したフォルダや既存のフォルダへ移動します。 **「新しいフォルダへ移動」または「別のフォルダへ移動」を選び、[決定] を押す** ●「別のフォルダへ移動」する場合は、移動先のフォルダを選んでください。
写真の消去	写真を消去します。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
プロテクトの設定/解除 **BD-RE** **BD-R** **RAM** **SD**	**「プロテクトの設定」または「プロテクトの解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクトの設定をすると「🔒」が表示されます。
音楽再生中の表示登録 **HDD**	音楽再生中のスクリーンセーバー（➜91）で表示させる写真を登録します。 **「登録」を選び、[決定] を押す**

お知らせ

- HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」（➜119）を行ってください。

写真/音楽

写真を取り込む / 書き出す

写真を取り込む

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**

+R、+R DL、+RW ➡ **HDD**

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜134）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録されている内容によって異なります）

例）**SD**

下記の手順 5 に進みます。

1 機能一覧/予約確認 **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

4 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

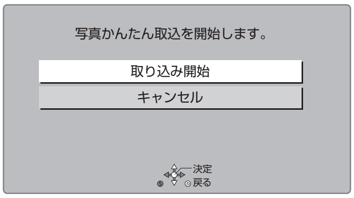
SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

5 「写真」を選び、決定 を押す

6 「写真を取り込む」を選び、決定 を押す

7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す



お知らせ

- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜119）や「全写真消去」（➜119）を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合、消去済み写真をもう一度取り込みたい場合、写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」（➜89）を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日または写真データの生成日ごとに、フォルダで管理されます。
- フォルダ名は取り込まれません。
- HDD に取り込んだ写真の累計が 20000 枚に達している場合、過去に取り込んだ写真が取り込まれることがあります。

写真一覧から取り込む

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

4 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

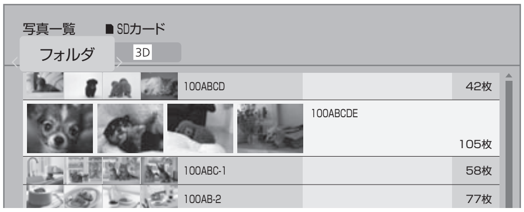
USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

5 「写真」を選び、決定 を押す

6 「写真を見る」を選び、決定 を押す

7 フォルダまたは写真を選び、青 を押す
- 選んだフォルダ、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）**SD**



8 選び終わったあと、赤 を押す

9 「HDD へ取り込む」を選び、決定 を押す

10 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ
- 取り込み元と同じ名前のフォルダを新しく作成して取り込みます。

写真を書き出す

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **SD**
BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** +R、+R DL、+RW ➡ **SD**
SD **USB** ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM**

85 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 フォルダまたは写真を選び、青 を押す
- 選んだフォルダ、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）**HDD**

8 選び終わったあと、赤 を押す

9 ディスクに書き出す場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD へ書き出す」を選び、決定 を押す

SD に書き出す場合：
「SD カードへ書き出す」を選び、決定 を押す

10 「書き出し開始」を選び、決定 を押す

お知らせ
- BD-Rの写真再生のみに対応している当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生するためには、ディスクに写真のみを記録した状態でファイナライズしてください。(➜109)

写真を印刷する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW
ネットワークに接続されたネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したプリンターから写真を印刷することができます。

●ネットワーク接続と設定をする
（➜145 ～ 147、154）
●プリンター設定をする（➜124）

ディスク、SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜134）すると、下記画面が表示されます。
（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）**SD**

下記の手順 5 に進みます。

1 機能一覧/予約確認 **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す**

3 **HDD** から印刷する場合：
「見る」を選び、(決定) を押す（➜ 手順 6 へ）

ディスクや **SD** **USB** から印刷する場合：
「メディアを使う」を選び、(決定) を押す

4 ディスク：
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、(決定) を押す

SD：
「SD カード」を選び、(決定) を押す

USB：
「USB 機器」を選び、(決定) を押す

5 **「写真」を選び、(決定) を押す**

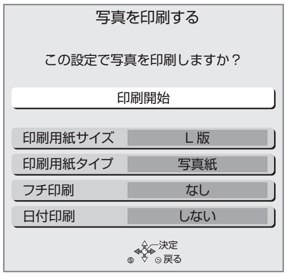
6 **「写真を見る」を選び、(決定) を押す**

7 **フォルダまたは写真を選び、サブメニュー (S) を押す**

●複数のフォルダまたは写真を印刷するときは、**[青]** を押して選んだあと、**[サブ メニュー]** を押してください。

8 **「写真の印刷」を選び、(決定) を押す**

9 **印刷の設定をする**



10 **「印刷開始」を選び、(決定) を押す**

お知らせ
● 予約録画が始まると、印刷は中止されます。ただし、印刷途中の写真がある場合は、その写真の印刷を終了してから予約録画を始めます。

音楽 CD を再生する

基本操作 選び → 決定する

CD

音楽 CD を入れる

再生中の曲
（♪を表示）

再生中の曲の経過時間/
現在の再生位置/演奏時間

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、[決定] を押す

音楽再生中のいろいろな操作

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。
・「基本設定」（➜58）の「リピート」「ランダム」
・「音声詳細設定」（➜60）

スクリーンセーバー設定

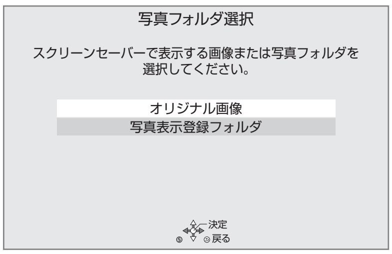
音楽再生中に写真を表示することができます。

スクリーンセーバーを表示するには
[青] を押す

スクリーンセーバーを停止するには
[戻る] を押す
（音楽の再生を停止したときも、停止します）

表示させる写真を選択するには
あらかじめ HDD に内蔵されているオリジナル画像または「音楽再生中の表示登録」（➜87）で登録したフォルダを選ぶことができます。
（フォルダ内の 3D 写真は 2D 再生になります）

① **スクリーンセーバー表示中に、[サブ メニュー] を押す**
② **「写真フォルダ選択」を選び、[決定] を押す**
③ **オリジナル画像またはフォルダを選び、[決定] を押す**



写真／音楽

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは
本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※　すべての操作ができるものではありません。

■設定

① **「ビエラリンク制御」（➜121）を「入」にする**
（お買い上げ時の設定は「入」）

② **「ビエラリンク録画待機」（➜121）を「入」にする**
●「クイックスタート」（**➜117**）は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作を素早く行えます。（待機時消費電力は増えます）

③ **接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク（HDMI）が働くように設定する**

④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

ビエラリンク（HDMI）対応機器の確認

それぞれの取扱説明書をご覧ください。

テレビ（ビエラ）側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本機の動作

■録画モード・録画先

●録画（「見ている番組を録画」など）：
・本機であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画
●録画予約 / 番組キープ：
・DR モードで HDD に録画

■録画予約の登録の確認

●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
●本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。
予約が登録されていない場合、テレビ側で予約の録画先（ディーガなど）が正しいか確認してください。

■録画予約の取り消し

●「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■録画ができない場合

●本機に契約された B-CAS カードが挿入されていないとき。

お知らせ

●ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
●ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
●本機はビエラリンク（HDMI）Ver.5 に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。
●「ビエラリンク録画待機」（**➜121**）が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

(本機のリモコン)：本機のリモコンで操作できます。

(テレビのリモコン)：テレビのリモコンで操作できます。

[Ver.○以降]：接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク（HDMI）に対応している場合に操作できます。
（テレビによっては、対応していない機能もあります）

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

(本機のリモコン) [Ver.1以降]

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

▶ 再生	機能一覧/予約確認	録る 番組表	見る 録画一覧
おもいで			

●本機の電源「切」時は、**[おもいで]** は働きません。

電源オフ連動

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) [Ver.1以降]

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

お知らせ

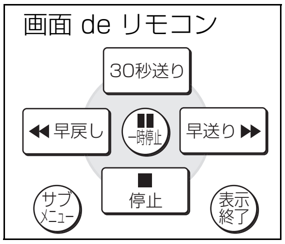
●ダビング、ファイナライズ、消去、**[ワンタッチ予約 録画 ●]** を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンでディーガを操作

(テレビのリモコン) [Ver.1以降]

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

●**[サブ メニュー]** を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。
停止中は、ドライブ切換などの操作をすることができます。



●ビエラリンクメニューから機能一覧画面を表示させると、予約の操作や番組表から放送局を選局することなどができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) [Ver.2以降]

ビエラリンク（HDMI）対応のテレビ（ビエラ）とアンプを接続し、ビエラリンク（HDMI）を使っている場合、連動操作をするためテレビ（ビエラ）の電源を切ると本機の電源も切れます。
ただし、接続したテレビ（ビエラ）がビエラリンク（HDMI）Ver.2 以降に対応している場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

❶ **音楽再生中に、[サブメニュー (S)] を押す**

❷ **「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定] を押す**

●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。

便利機能

ビエラリンク（HDMI）を使う（続き）

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

（本機のリモコン）（テレビのリモコン） Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

- VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには

- 「オートサウンド連携」（➜121）を「入」にする

ECO スタンバイ

（テレビのリモコン） Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 電源「切」時に時計表示されなくなります。

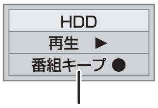
設定を有効にするには

- 「ECO スタンバイ」（➜121）を「入」にする

番組キープ

（テレビのリモコン） Ver.3以降

視聴中の番組を HDD に一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。
（番組キープ終了後は削除されます）



「番組キープ ●」が表示

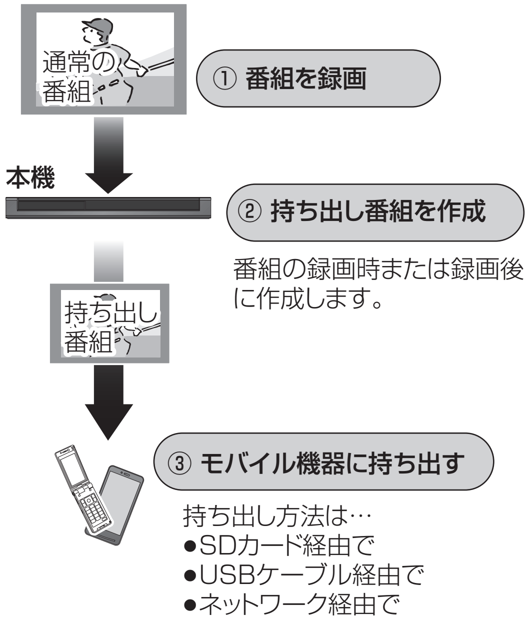
お知らせ

- チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- 以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
  - ・予約録画開始時刻になったとき
  - ・番組キープが8時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき
- 本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。
- ビエラリンク（HDMI）Ver.5 のテレビでも、番組キープに対応していない場合があります。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

基本操作 選び → 決定する

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。



持ち出し番組を再生できる機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。

持ち出し方法と画質について

持ち出し方法や再生できる画質は持ち出す機器によって異なります。詳しくは機器の説明書をご覧ください。
選べる画質は持ち出し方法によって異なります。

画質 / 持ち出し方法	ワンセグ画質（QVGA）	高画質（VGA）	ハイビジョン画質（HD）
SD/USB経由	○	○※1	×
ネットワーク経由	×	○※2	○※3

※1　「高画質（VGA）」に設定すると、「ワンセグ画質（QVGA）」より高画質で作成します。「持ち出し番組の VGA 画質」（➜118）で記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更できます。

※2　デジタル放送などの録画番組は「高画質（VGA）」（1.5 Mbps）となり、変更できません。

※3　撮影ビデオなどの動画（AVCHD、AVC VIDEO 表示のある番組）のみ選択できます。

お知らせ

- **持ち出し番組について**
  - ·通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。
  - ·通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。
  - ·本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

- **多重音声の記録について**

  多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。
  - ·マルチ音声の番組
    - 録画した番組から作成するとき：「信号切換」の「音声」（➜58）で設定した音声 1 つ
    - 通常の番組の録画と同時に作成するとき：マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません
  - ·二重音声の番組
    - 録画した番組から作成するとき：「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」（➜118）の設定に従う
    - 通常の番組の録画と同時に作成するとき：両方の音声

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約（➜31 手順 5）、詳細設定（➜39 手順 1）、または時間指定予約（➜41 手順 4）画面で

❶ **「持ち出し番組の設定」を選び、決定 を押す**
❷ **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する**
❸ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
❹ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❺ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**

- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➜97）で自動的に転送することができます。

お知らせ

- 地上デジタル放送を「ワンセグ画質（QVGA）」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
- 以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
  - ・「高画質（VGA）」で作成するとき
  - ・BS・CS デジタル放送から作成するとき
  - ・LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画した番組から作成するとき
  - ・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
  - ・地上デジタル放送の連続録画時間が8時間を超えるときの超えた分
- ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」（➜ 右記）で作り直すことをお勧めします。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」（➜40）で記録したい音声や字幕を選んでください。
- 作成される持ち出し番組のアスペクトは 16:9 になります。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成 HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

❶ **見る（録画一覧） を押す**
❷ **作成する番組を選び、サブメニュー S を押す**
❸ **「番組編集」を選び、決定 を押す**
❹ **「持ち出し番組の作成」を選び、決定 を押す**
❺ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
❻ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❼ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**

- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➜97）で自動的に転送することができます。

❽ **「開始方法」を選び、設定する**

- **すぐに：**
  下記手順 ❿ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- **電源 [切] 後：**
  電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

❾ **「作成する」を選び、決定 を押す**

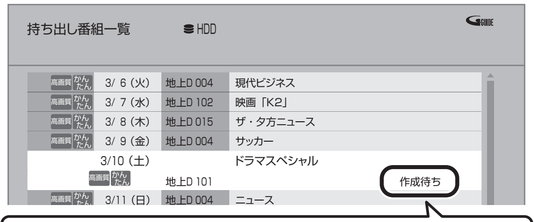
❿ 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、決定 を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：
決定 を押す

作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順 ❹ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、**[決定]** を押す

☞ 作成が終了しているか確認するには



持ち出し番組一覧（➜**98**）で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

ネットワーク経由で持ち出す（転送）

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

●ネットワーク接続と設定をする（➜**146、147、154**）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合（➜**126**）

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

SD/USB 経由で持ち出す（転送）

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。（最大 99 番組まで転送可能）
登録されている番組は、持ち出し番組一覧（➜**98**）で確認することができます。

●登録は、番組の予約時（➜**96**）、持ち出し番組の作成時（➜**96**）または作成後（➜**98**）に行うことができます。

❶ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**
☞ **USB 機器を接続するには（➜134）**

例）**SD**

❷ **「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定 を押す**

お知らせ

●視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
●ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
●HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
●持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
・二重音声　:「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」（➜**118**）
・マルチ音声 :「信号切換」の「音声」（➜**58**）
・チャプター : 作成元になる番組のチャプター情報
・字幕　　　:「信号切換」の「字幕」（➜**58**）
（「電源［切］後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます）

便利機能

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

SD/USB 経由で持ち出す（転送）（続き）

持ち出し番組一覧から転送する

❶ SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する

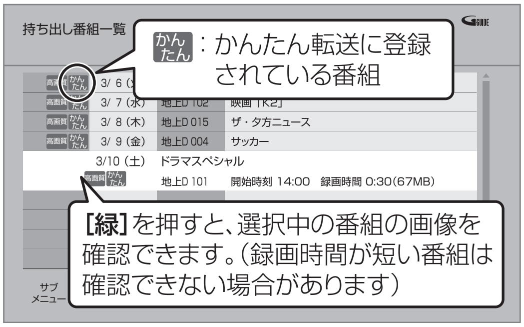
☞ USB 機器を接続するには（➜134）

例） SD

❷「持ち出し番組」を選び、(決定) を押す

❸「持ち出し番組を転送する」を選び、(決定) を押す

❹ 番組を選び、[青] を押す



● ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

☞ **選択を取り消すには**

番組を選び、[青] を押す

❺ 選び終わったあと、(決定) を押す

❻「転送を開始する」を選び、(決定) を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」（➜ 左記）
手順 ❸ のあと

❹ 番組を選び、(サブメニュー S) を押す

❺ 項目を選び、(決定) を押す（➜ 下記へ）

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。（➜ 左記手順 ❻ へ）
持ち出し番組消去	持ち出し番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」（➜97）の登録をします。（かんたん が表示されます）
かんたん転送の解除	「かんたん転送」（➜97）の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」（➜119）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送（ダビング）の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送（ダビング）できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
- 1 表示のある番組をダビング（転送）すると、通常の番組・持ち出し番組は HDD から消去されます。

転送した番組を確認・消去する

❶ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**

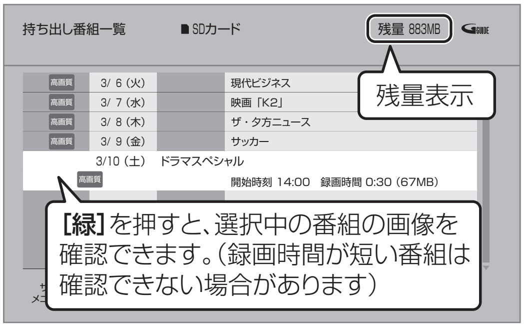
USB 機器を接続するには（➜134）

❷ **「持ち出し番組」を選び、決定 を押す**

❸ **「持ち出し番組を確認する」を選び、決定 を押す**

❹ **番組を選ぶ**

例） **SD**



番組の内容を確認するには

① **[サブ メニュー]** を押す

②「内容確認」を選び、**[決定]** を押す

持ち出し番組を消去するには

① **[黄]** を押す

②「消去」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
  - ・通常の番組の再生はできません。
  - ・録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置（**➜54「続き再生メモリー機能」**）とチャプターマーク（**➜65**）を通常の番組から引き継ぎます。
  - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
  - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定（**➜62**）されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。
- 消去中に他の操作を行うと消去に時間がかかる場合があります。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認・消去は本機ではできません。

お部屋ジャンプリンク（DLNA）を使う

お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能

記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。
コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- ●本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- ●2010 年 4 月以前に発売の DLNA 対応ディーガは、サーバー機能のみです。
- ●サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- ●当社製 DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/r_jump/
- ●他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

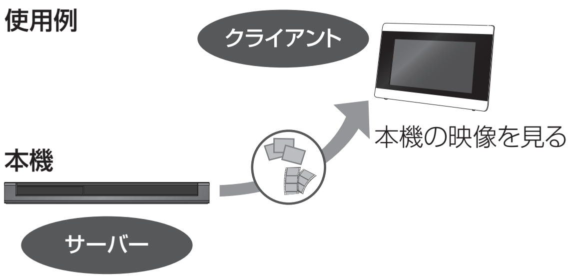
別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）

●ネットワーク接続と設定をする
（➜145 ～ 147、154）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合（➜126）

HDD **USB-HDD**

DLNA 対応機器から、本機の HDD や USB-HDD に録画した番組や写真の再生、受信した放送の視聴ができます。

使用例



テレビなどのクライアント機器側で操作する

●画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- ●2 台以上の機器で同時に操作することはできません。

「ビデオを見る」「写真を見る」のとき

- ●編集はできません。（当社製機器の場合、番組の消去のみできます）

「放送を見る」のとき

- ●本機電源「切」時のみ視聴できます。
- ●本機のチャンネル設定 (➜114) で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- ●スカパー! プレミアムサービスの番組を視聴することはできません。
- ●視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- ●他社製機器によっては、放送番組を視聴することができない場合があります。

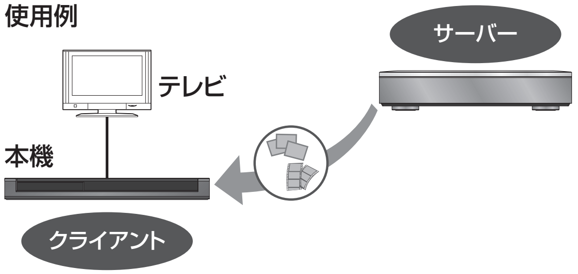
映像が途切れたり、停止する場合

- ●無線 LAN 使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線 LAN アダプターまたは無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- ●無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。

別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）

本機からDLNA対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。

使用例



●ネットワーク接続と設定をする
（➔145 ～ 147、154）

●接続した機器側で、本機を登録する（当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク（DLNA）」または「ビエラリンク（LAN)」で登録する）
（本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～5の操作を行ってください）

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

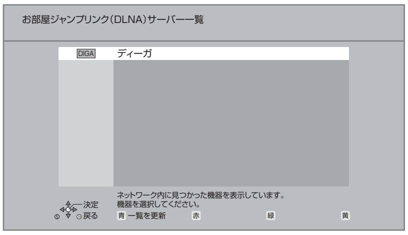
2 **「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す**

3 **「ネットワーク機能を使う」を選び、(決定) を押す**

4 **「お部屋ジャンプリンク（DLNA）」を選び、(決定) を押す**

5 **接続する機器を選び、(決定) を押す**

例）

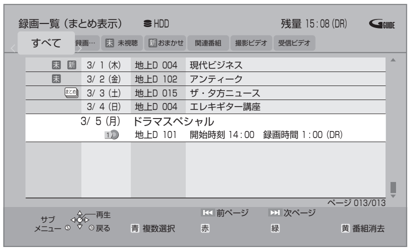


●選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

例）DLNA対応ディーガの番組を再生する場合

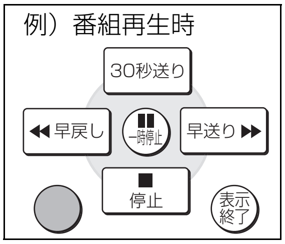
① 機器のリモコンを使って、ディーガの「録画一覧」を表示させる

例）



② 再生する番組を選び、[決定] を押す

●「画面 de リモコン」が表示されます。
（[▲][▼][◀][▶][決定][戻る] で操作することができます）



「画面 de リモコン」が表示されていないときは
[サブ メニュー] を押す

お知らせ

●DLNA対応ディーガの番組を再生する場合、**[音声切換]（リモコンのふた内部）**を押すと、「音声切換」「字幕切換」や「電波状態表示」（無線接続時のみ）を行うことができます。

●接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。

●本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリンク（DLNA）で接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。（➔52）

●パソコン上にあるコンテンツを再生する場合、音楽はLPCMのデータを再生できます。

自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。

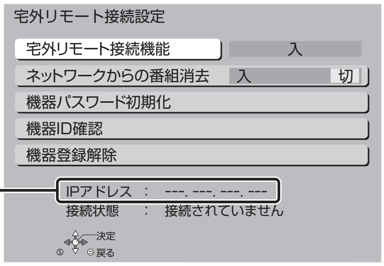
●ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

☞ **携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をしたいときは（➜127）**

●ネットワーク接続と設定、宅外リモート接続設定をする（➜127、145 ～ 147、154）

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧（ブラウザ）ソフトを起動させ、本機の IP アドレス（➜127、手順 5 で確認）をアドレス欄に入力する



IP アドレス

●ログイン画面が表示されます。

☞ **ログイン画面が表示されないときは（Internet Explorer® 8.0 の場合）**
インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。

●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ

●各操作は画面の指示に従ってください。

番組編集 HDD 番組の番組名入力や消去
●消去する場合は、「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。**（➜124）**
●ブラウザ機能を持つテレビでは、番組名入力はできません。

レコーダー操作 本機の録画、電源入/切など

ヘルプ 操作方法などの説明

ログアウト 操作の終了

☞ **機器パスワードとは**
インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。

文字入力

基本操作 選び ▶ 決定する

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

この画面が表示されたら

番組名
ディスク名
フォルダ名
フリーワード検索
など

文字パネル方式で入力します

この表示が出たときは

データ放送 など

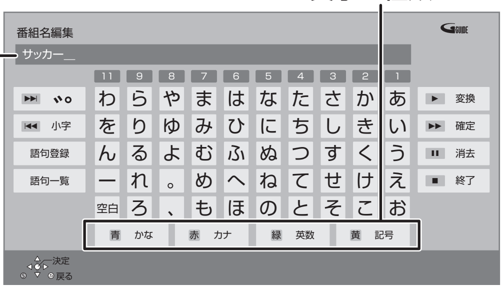
リモコンボタン方式で入力します

文字パネル方式で文字入力する

(番組名、ディスク名、フォルダ名、フリーワード検索などを入力するとき)

入力文字表示欄

入力できる文字の種類



1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選ぶ**

●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、(決定) を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。
●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(➜ 右記)

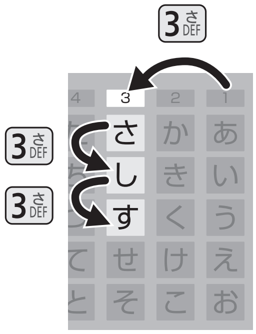
3 入力が終わったら、[■停止] を押す

4「はい」を選び、(決定) を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**
●「さ」行に移動します。

② **[3] を 2 回押し、[決定] を押す**
●「す」が入力文字表示欄に表示されます。



ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ **再生**] を押したあと、変換候補を選び、[**決定**] を押す
●[**戻る**] を押すと、入力画面に戻ります。
●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[❚❚ **一時停止**] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[**決定**] を押す
② 「登録」を選び、[**決定**] を押す

語句を呼び出す

① 「語句一覧」を選び、[**決定**] を押す
② 語句を選び、[**決定**] を押す

語句の消去

① 「語句一覧」を選び、[**決定**] を押す
② 語句を選び、[**黄**] を押す
③ 「消去」を選び、[**決定**] を押す

リモコンボタン方式で文字入力する
（データ放送などで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 [1]～[12]（リモコンのふた内部）で文字を入力する

例）「えいが」と入力するとき

[1]	▶	[1]	[2]	[10]
4 回押す（え）	1 回押す	2 回押す（い）	1 回押す（か）	1 回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。（➜105）

漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

映画
栄華
顕娃が
英が
瑛が

2 [決定] を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画

カーソル

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す

●[緑]を押すごとに、（かな→カナ→英数→数字）に切り換わります。
●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例）「あい」と入力する場合 :[1][▶][1][1] の順に押す

文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合：

①「えいが」と入力して、[▼] を押す
② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ
③ 変換候補を選び、[決定] を押す

映画
えいが
映が

記号を入力する

① “きごう”と入力する
② 変換候補を選び、[決定] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
（カーソルの左に文字が追加されます）

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄] を押す
（カーソルの文字が削除されます）

リモコンボタン方式での入力文字一覧表

入力モード＼ボタン	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	?	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	!	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	(	スペース	
	ぃ			4				8		)		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	?	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	!	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	(	スペース	
	ィ			4				8		)		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	—	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	＊	#

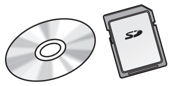
- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。
- 入力可能な文字は画面によって異なる場合があります。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

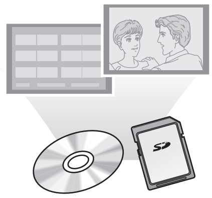
本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード



そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

フォーマット
すると



本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。
記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（➜19）

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
BD-RE BD-R	—	放送画質 ハイビジョン画質	DR 1.5 ～ 15 倍録	必要	記録方式の設定はありません。
RAM	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	— （ディスクによる）	
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。			
-R	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	不要	デジタル放送は記録できません。
-RW	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	デジタル放送は記録できません。

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **SD**

1 機能一覧/予約確認 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

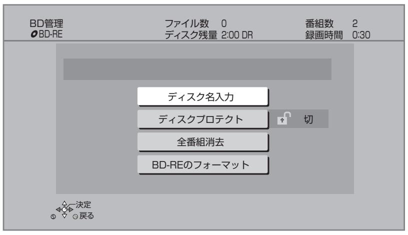
4 「ブルーレイ（BD）/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

5 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

- 未使用の **-R** を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。**（➜ 手順 7 へ）**

6 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

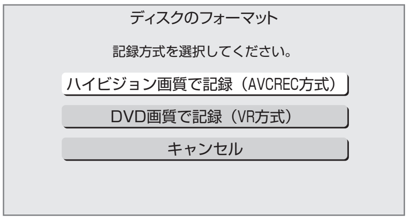
例）**BD-RE**



7 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例）**RAM**



お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**
- **SD** 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- **-R** 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（➜108）を行うと記録方式を変更できません。
- **RAM** **-RW** 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- **HDD** フォーマットは「HDDのフォーマット」（➜119）で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

必要なとき

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**
（ファイナライズしたディスクではできません）

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す**

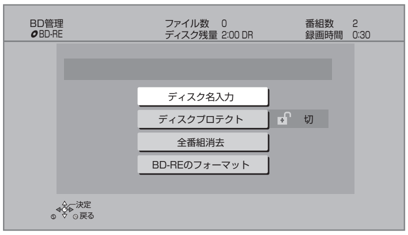
3 **「メディアを使う」を選び、(決定) を押す**

4 **「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、(決定) を押す**

5 **「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、(決定) を押す**

6 **操作したい項目を選んで、(決定) を押す**
（➜ 下記へ）

例）**BD-RE**

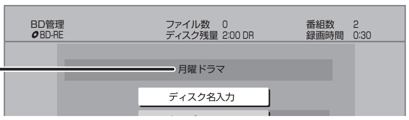


ディスク名入力

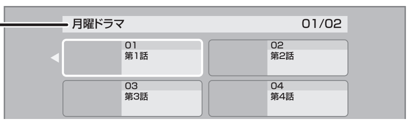
BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

☞ **文字入力については（➜103）**

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R(V) **-RW(V)**
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

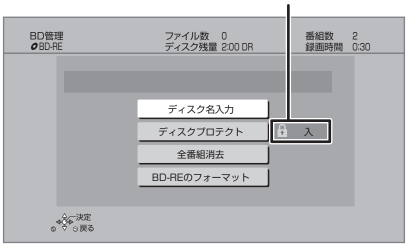


ディスクプロテクト

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**
ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❼ **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定) を押す**

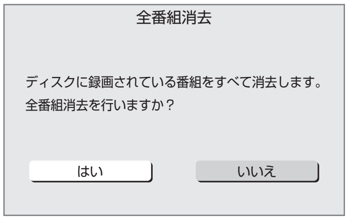
プロテクト設定すると「🔒 入」が表示



全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

例）**BD-RE**



❼ **「はい」を選び、(決定) を押す**

❽ **「実行」を選び、(決定) を押す**

お知らせ

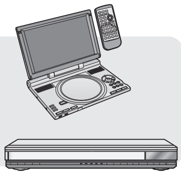
- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- **BD-RE** **RAM** 写真は消去されません。
- **BD-R** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

基本操作 選び → 決定する

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。

ビデオ方式 ファイナライズすると
DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。



VR方式 ファイナライズすると
再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

AVCREC方式 ファイナライズすると
再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。
対応機器には AVCREC™ が付いています。
• 対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

他機器との互換性：高 ～ 低

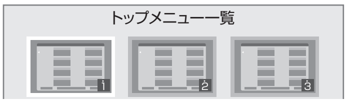
108 ページ手順 1 ～ 6 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

❼ お好みの背景を選び、決定 を押す



● トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。**(➜64「サムネイル変更」)**

ファーストプレイ選択

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生の始め方を設定できます。

❼「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、決定 を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1　：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R **-RW** **BD-R**

❼「はい」を選び、決定 を押す

❽「実行」を選び、決定 を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

● 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
● ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
● **-RW(V)** フォーマット（➜106）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
● **-RW(VR)**「ファイナライズ解除」（➜ 下記）を行うと、記録や編集ができます。
● **BD-R** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

❼「はい」を選び、決定 を押す

❽「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

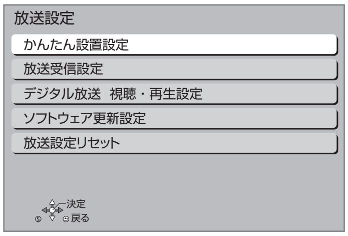
● 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

放送設定を変える（放送設定）

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 「放送設定」を選び、(決定) を押す

3 メニューを選び、(決定) を押す



4 設定項目を選び、(決定) を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

かんたん設置設定

かんたん設置設定（➜150）

放送受信設定　【 】はお買い上げ時の設定です

受信対象設定

使わない放送を操作できないようにします。

●地上デジタルは設定できません。

BS/CS　【使う】

チャンネル設定（➜114）

地上デジタル /BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」（➜150）を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信　【切】

「入」に設定すると、１ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。

●番組表は、インターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。

●「入」にすると、常時接続状態になります。

●１ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

●2013年２月現在、インターネットから番組情報を取得できる放送局は NHK、スター・チャンネル、WOWOW のみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

●お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定（➜112）

地上デジタル

アッテネーター　【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル（➜112）を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源　【入】

アンテナ出力　【入】

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）

B-CAS カードテスト

NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

デジタル放送 視聴・再生設定

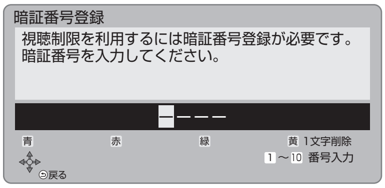
【 】はお買い上げ時の設定です

字幕設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。
XP、SP、LP、EP、FRモードで録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。
設定しても番組によって無効になる場合があります。

項目	設定
字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定



画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

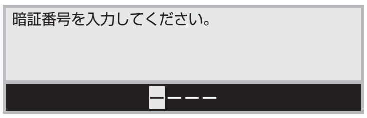
視聴可能年齢 【無制限】
- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限 【しない】
ブラウザを利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。



- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象 【すべて】

デジタル放送で[**チャンネル** ∧,∨]を押して順送りできるチャンネルを設定できます。
- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

ソフトウェア更新設定

【 】はお買い上げ時の設定です

ダウンロード予約 【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。(➜129)
- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(➜128「放送メール」)

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」(➜110) をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(➜119) や「USB-HDDのフォーマット」(➜119) を行ってください。

放送設定を変える（放送設定）（続き）

アンテナレベルを確認する

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- 受信中のアンテナレベルは、[サブ メニュー] を押して、「デジタル放送メニュー」の「アンテナレベル」を選んでも確認できます。表示されない場合は、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。
- アンテナの説明書もご覧ください。

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 機能一覧/予約確認 を押す

2 「放送設定」を選び、決定 を押す

3 「放送受信設定」を選び、決定 を押す

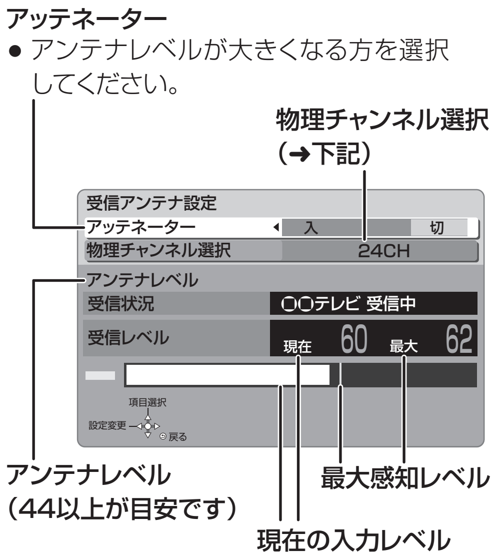
4 「受信アンテナ設定」を選び、決定 を押す

5 修正したい放送を選び、決定 を押す
（➜ 右記または 113 ページへ）

地上デジタル

左記手順 1 ～ 5 のあと

6 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する



物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ～ 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、再度「かんたん設置設定」(➜150) をやり直してください。
  - ･アッテネーターを切り換える
  - ･ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す

  状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

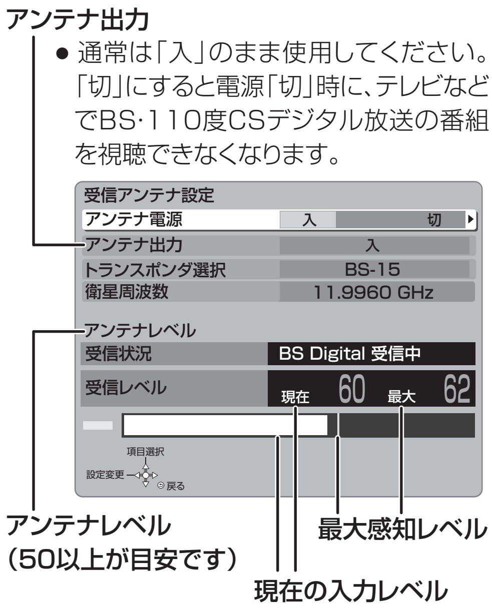
衛星

112 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する



☞「他の衛星受信中」の表示が出たとき
BS・110 度 CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

必要なとき

受信チャンネルを修正する

1 機能一覧/予約確認 ○ **を押す**

2 **「放送設定」を選び、(決定) を押す**

3 **「放送受信設定」を選び、(決定) を押す**

4 **「チャンネル設定」を選び、(決定) を押す**

5 **修正したい放送を選び、(決定) を押す**
（BS、CS1、CS2 の場合 ➜115 ページへ）

6 （地上デジタルのみ）
修正する方法を選び、(決定) を押す
（➜ 右記または 115 ページへ）

地上デジタル　初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

7 **お住まいの地域を選び、(決定) を押す**

8 **受信帯域を選び、(決定) を押す**

9 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る **を押す**

地上デジタル　再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

7 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る **を押す**

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）

●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

114 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行（Po）を選び、決定 を押す

8 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

9 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

BS チャンネル設定

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日 1	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）

●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

114 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 修正したい行（Po）を選び、決定 を押す

7 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

8 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

お知らせ

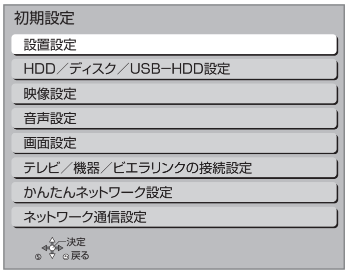
● 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、お手持ちのパソコンから以下のホームページでご覧いただけます。
① http://panasonic.jp/support/bd/manual/ を開く
②「同意する」→「DMR-BRT250」→「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

本機の設定を変える（初期設定）

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 「初期設定」を選び、(決定) を押す

3 メニューを選び、(決定) を押す



4 設定項目を選び、(決定) を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

設置設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源〔切〕 【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコン設定（➜125）

リモコンモード 【リモコン 1】

リモコンのテレビ操作部設定

時刻合わせ

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正しますので、通常は時計合わせの必要はありません。

本体表示窓に右記の表示が出ている場合は、アンテナ線の接続を確認してください。

音声ガイドの設定

番組表の内容や録画一覧、選局時、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
- 「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」（➜120）は自動的に「PCM」になります。（「切」に戻しても「PCM」のままです）

音声ガイド機能 【切】

読み上げ音量

読み上げ速度

クイックスタート設定／本体時計表示

クイックスタート 【切（時計表示無し）】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。（テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります）

●待機時消費電力は増えます。
●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に1回程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません）
●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。
 ·「ビエラリンク録画待機」(➜121)：「入」
 ·「宅外リモート接続機能」(➜124)：「入」
 ·「お部屋ジャンプリンク機能」(➜124)：「入」

「切（時計表示無し）」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

クイックスタート(➜上記)が「入」時の設定をします。

●「標準」の場合
 ·無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
 ·電源「切」時に本体表示窓が点灯します。
●「省エネ（時計表示無し）」の場合
 ·「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
 ·電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

節電待機モード 【モード1】

「節電待機」(➜22)で電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。

·時刻
·DVD-Videoの視聴制限
·BD-Videoの視聴可能年齢
·HDD番組の視聴制限
·USB-HDDの登録
·かんたんネットワーク設定
·LAN接続形態
·無線設定
·IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定

●本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体表示窓に"U30"と表示）、リモコンモードを変更してください。(➜164)

ソフトウェア更新（ネットワーク）

本機をインターネット接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 ·本機の電源を切る
 ·電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新 【切】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。
（更新は電源「切」時に行います）

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。

HDD/ ディスク /USB-HDD 設定

【 】はお買い上げ時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限※1 【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで［決定］を押すと、［1］～［10］で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語※2 【日本語】

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R)】

二重音声（二ヵ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 -R(V) -RW(V)

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R)】

二重音声（二ヵ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度 【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。
（高速記録対応ディスクの場合など）

自動チャプター 【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質 【モード 1】

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質（VGA)」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

MP4 取り込み画質 【高画質モード】

本機に MP4 を取り込むときの画質を設定します。

HDD 番組の視聴制限※1 【無制限】

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。(年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります)

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録(➜133)

別売の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し(➜132)

別売のUSB-HDDを本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

USB-HDD のフォーマット

別売の USB-HDD の初期化を行います。

すべての USB-HDD 登録の取り消し(➜133)

登録されているすべてのUSB-HDDの登録を取り消します。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

※2 「その他＊＊＊＊」の場合、＊には [1] ～ [10]で言語番号(➜129)を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

本機の設定を変える（初期設定）(続き)

映像設定　【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード　【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

●「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。

●「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生　【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

●「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声設定　【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮　【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby® Digital、Dolby® Digital Plus、
Dolby® TrueHD に有効

●「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD　【Bitstream】
DTS/DTS-HD　【Bitstream】
AAC　【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

●出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続·設定の関係」(➜193)をご覧ください。

●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V）　【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

ダウンミックス　【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

●「デジタル出力」(➜上記) が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。

●2 チャンネルからマルチ·チャンネル·サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。

●以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
· AVCHD 再生時
· BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

音声ディレイ　【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定
【 】はお買い上げ時の設定です

テレビ画面の焼き付き低減機能 【入】
通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。
- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [「HDMI出力解像度」(➜122)が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ 【常時 明】
本体表示窓の明るさを調節します。
- 電源「切」時の時刻表示は、「クイックスタート」、「クイックスタートモード」の設定に従って点灯・消灯します。(➜117)

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定
【 】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 方式設定 【フル HD】
3D 映像が正しく 3D 再生できない場合に設定を変更してみてください。

3D 番組の出力方法 【3D】
3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示 【入】
3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御 【入】
ビエラリンク(HDMI)に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機 【切】
ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。
- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜117)は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携 【入】
ビエラリンク(HDMI)Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

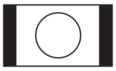
ECO スタンバイ 【入】
ビエラリンク(HDMI)Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。
- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に、「クイックスタート」(➜117)が「切(時計表示無し)」のときと同じように動作します。
  ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

TV アスペクト　【16:9】

アスペクト比が 4:3 の映像の表示方法を設定します。

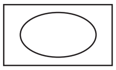
16：9　：ワイドテレビに接続しているとき

4：3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示



16：9 フル：ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4：3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示



HDMI 接続

HDMI 出力解像度　【オート】

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
　・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで **[▶]** を数回押す

③ **[決定]** を 3 秒以上押す
　・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力　【切】

[「HDMI 出力解像度」(**➜上記**) が「オート」または「1080i」のときに有効です]

BD-V **AVCHD** 映画など24p記録された素材を24p出力します。

●24p 以外の素材は **BD-V** **AVCHD** の場合 60i で出力されます。

DVD-V を 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「プログレッシブ処理」(**➜60**) を「24p」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ　【スタンダード】

RGB入力のみに対応した機器(DVI機器など)との接続時に有効

Deep Color 出力　【オート】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング **BD-V**　【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ　【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（➜154）

ネットワーク通信設定 【 】はお買い上げ時の設定です

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」(➜ 上記)を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態 【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

- 「無線」は当社製無線LANアダプター DY-WL10（別売）を接続時のみ有効です。

無線設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「LAN 接続形態」（➜ 上記）が「無線」時のみ有効

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が2.4 GHzの場合､通信速度を設定します。

- 「倍速モード（40 MHz）」で通信を行うと、2チャンネル分の周波数帯域で高速に通信します。ただし、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合､ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」（➜上記）を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが､IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」､「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」（➜上記）を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して､「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

宅外からの操作設定

宅外リモート接続設定（➜127）

宅外リモート接続機能 【切】

●「入」にすると、「クイックスタート」（➜117）と「お部屋ジャンプリンク機能」（➜ 下記）は自動的に「入」になります。

ネットワークからの番組消去 【切】

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

機器登録解除

ディモーラやミモーラの機器登録を解除します。

宅内ネットワーク設定

お部屋ジャンプリンク（DLNA）/ スカパー! Link（録画）設定（➜126）

お部屋ジャンプリンク機能 【切】

●「入」にすると、「クイックスタート」（➜117）は自動的に「入」になります。

●「切」にすると、「宅外リモート接続機能」（➜上記）は自動的に「切」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 【自動】

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 【切】

●「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。（HDD が容量不足の場合、「入」にはできません）

自動更新 【入】

●「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
（更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います）

接続する機器一覧

●「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

●「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

ネットワークプリンターの接続設定

プリンターはネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したものをご使用ください。

プリンター検索

●プリンター検索が正常に終了した場合、プリンター名を表示します。

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。
表示される番号は、「LAN 接続形態」（➜123）の設定によって、以下のようになります。

●「有線」：背面の LAN 端子に割り当てられた番号
●「無線」：当社製無線LANアダプター DY-WL10（別売）に割り当てられた番号

リモコン設定をする

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 機能一覧/予約確認 **を押す**

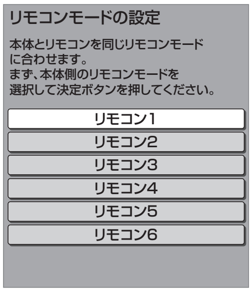
2 「初期設定」を選び、(決定) を押す

3 「設置設定」を選び、(決定) を押す

4 「リモコン設定」を選び、(決定) を押す

5 「リモコンモード」を選び、(決定) を押す

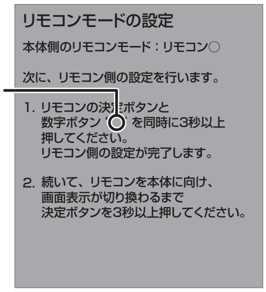
6 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、(決定) を押す



リモコン側のモードを設定する

7 1@.あ ～ 6MNOは (リモコンのふた内部) **のいずれかを押しながら、(決定) を 3 秒以上押したままにする**

ここに表示されている数字のボタンを押してください。



8 リモコンを本体に向けて、(決定) を 3 秒以上押す

●本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

9 (決定) **を押す**

●リモコンモードの設定を終了します。

お知らせ

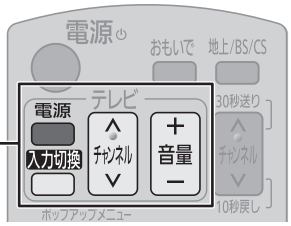
●リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンの場合、「リモコン 4」～「リモコン 6」で操作できます。

本機のリモコンでテレビを操作する

リモコンのテレビ操作部設定

設定すると、リモコンのテレビ操作部でテレビの操作ができます。

テレビ操作部



左記手順 4 のあと

❺「リモコンのテレビ操作部設定」を選び、(決定) を押す（➜152、手順 2 へ）

必要なとき

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 /CATV セットトップボックス / スカパー！プレミアムサービス対応チューナー / ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリンク（DLNA）/
スカパー! Link（録画）設定

1 機能一覧/予約確認 を押す

2 「初期設定」を選び、決定 を押す

3 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

4 「お部屋ジャンプリンク（DLNA）/ スカパー！Link（録画）設定」を選び、決定 を押す

5 「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、決定 を押す

6 「入」を選び、決定 を押す

- 「クイックスタート」(➜117) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

7 「アクセス許可方法」を選び、決定 を押す

8 「手動」または「自動」を選び、決定 を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
（「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで [決定] を押してください。）
- 「手動」の場合（➜ 右記手順 9 へ）

左記手順 8 で「手動」を選んだ場合

9 「機器一覧」を選び、決定 を押す

10 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、決定 を押す

11 「アクセス許可」を選び、決定 を押す

- 最大 16 台まで登録できます。

☞ 登録している機器のアクセス許可を取り消すには（「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ）

① 手順 10 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す
- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順 8 で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

☞ 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

① 手順4のあと「本機の名称」を選び、[決定]を押す
② 項目を選び、[決定] を押す
- 一覧から選んで変更：あらかじめ登録されている名前から選びます。
- 文字入力して変更：文字入力画面から入力します。(➜103)

☞ お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは

手順 6 で「切」を選ぶ
- 登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスから録画または予約録画をする場合や、ビエラなどからダビングまたは他のディーガから番組お引越しダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。
機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧になって行ってください。

携帯電話、パソコンと接続する

宅外リモート接続設定

携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック株式会社　テレビ番組情報ウェブサービス
　ディモーラ：http://dimora.jp/
　ミモーラ：http://me-mora.jp/
株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド
　PC の場合　http://ipg.jp/ra
　携帯電話の場合　http://ipg.jp/k

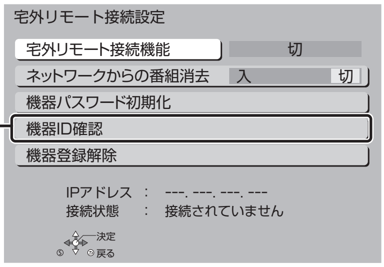
1 機能一覧/予約確認 **を押す**

2 「初期設定」を選び、決定 を押す

3 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

4 「宅外リモート接続設定」を選び、決定 を押す

5 「宅外リモート接続機能」を選び、決定 を押す



機器 ID :
宅外リモート接続機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

6 「入」を選び、決定 を押す

「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続（➜145 〜 147）、「IPアドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」（➜123）を確認してください。

機器パスワードを初期化するには
① 手順４のあと「機器パスワード初期化」を選び、[決定] を押す
② 「する」を選び、[決定] を押す

必要なとき

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

1 機能一覧/予約確認 ◯ **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、(決定) を押す

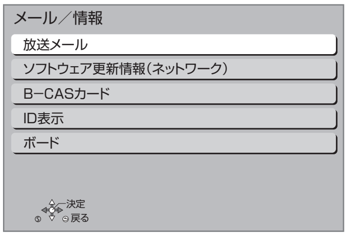
3 「設定する・その他の機能」を選び、(決定) を押す

4 「メール / 情報・診断コード」を選び、(決定) を押す

（診断コードを見る場合 ➜165 手順 ⑤ へ）

5 「メール / 情報」を選び、(決定) を押す

6 項目を選び、(決定) を押す



放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、(決定) を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日時を確認できます。

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

❶「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、(決定) を押す

❷ **確認したい情報を選び、(決定) を押す**

ソフトウェアの更新について

基本操作　選び（▲▼◀▶）→ 決定する（決定）

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。**(➜111「ソフトウェア更新設定」)**

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。
[➜117「ソフトウェア更新（ネットワーク）」]

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

例）オンエアーダウンロードによる
　　更新の実行中

例）ネットワークからのダウンロードによる
　　更新の実行中

- “1/5” などは進行状況です。
- “5/5” まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送または BS デジタル放送の受信環境が必要です。

言語番号一覧　「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。**(➜118)**

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オランダ	7876	ジャワ	7487	ドイツ	6869	ベンガル	
アイマラ	6589	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ナウル	7865	（バングラ）	6678
アイルランド	7165	カシミール	7583	スペイン	6983	日本語	7465	ペルシャ	7065
アゼルバイジャン	6590	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ネパール	7869	ポーランド	8076
アッサム	6583	ガリチア	7176	スロベニア	8376	ノルウェー	7879	ポルトガル	8084
アファル	6565	韓国（朝鮮）語	7579	スワヒリ	8387	ハウサ	7265	マオリ	7773
アフリカーンス	6570	カンナダ	7578	スンダ	8385	ハンガリー	7285	マケドニア	7775
アブハジア	6566	カンボジア	7577	ズールー	9085	バシキール	6665	マダガスカル	7771
アムハラ	6577	キルギス	7589	セルビア	8382	バスク	6985	マライ	
アラビア	6582	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	パシュト	8083	（マレー）	7783
アルバニア	8381	クルド	7585	ソマリ	8379	パンジャブ	8065	マラッタ	7782
アルメニア	7289	クロアチア	7282	タイ	8472	ヒンディー	7273	マラヤーラム	7776
イタリア	7384	グアラニー	7178	タガログ	8476	ビハール	6672	マルタ	7784
イディッシュ	7473	グジャラト	7185	タジク	8471	ビルマ	7789	モルダビア	7779
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タタール	8484	フィジー	7074	モンゴル	7778
インドネシア	7378	グルジア	7565	タミル	8465	フィンランド	7073	ヨルバ	8979
ウェールズ	6789	ケチュア	8185	チェコ	6783	フェロー	7079	ラオ	7679
ウォロフ	8779	ゲール		チベット	6679	フランス	7082	ラテン	7665
ウクライナ	8575	（スコットランド）	7168	中国語	9072	フリジア	7089	ラトビア	
ウズベク	8590	コーサ	8872	ティグリニア	8473	ブータン	6890	（レット）	7686
ウルドゥー	8582	コルシカ	6779	テルグ	8469	ブルガリア	6671	リトアニア	7684
ヴォラピュック	8679	サモア	8377	デンマーク	6865	ブルターニュ	6682	リンガラ	7678
英語	6978	サンスクリット	8365	トウイ	8487	ヘブライ	7387	ルーマニア	8279
エストニア	6984	ショナ	8378	トルクメン	8475	ベトナム	8673	レトロマンス	8277
エスペラント	6979	シンド	8368	トルコ	8482	ベロルシア		ロシア	8285
オーリヤ	7982	シンハラ	8373	トンガ	8479	（白ロシア）	6669		

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例） ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。	「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により違います。
CD	**音楽や音声が記録された市販ソフト** （CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む） **写真が記録された CD-R や CD-RW（JPEG フォーマット記録ディスク）**	
+R +R DL（片面２層） +RW	**他機器で番組やハイビジョン動画（AVCHD）、写真（JPEG）を記録したディスク** ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。	
DVD-RAM DVD-R DVD-RW	**他機器でハイビジョン動画（AVCHD）を記録したディスク** ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 **-R -RW 写真（JPEG）を記録したディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
●8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
●本機では、「RAM 2」マークの付いた DVD-RAM ディスク（6X 以上の 高速記録対応）の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せない DVD-RAM（TYPE1）　●BD-RE（Ver.1.0）
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
●HD DVD　● ビデオCD　●SACD　●SVCD　●DVDオーディオ
●Photo-CD　● パソコンやゲームのソフト　など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
（miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む）
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）
（microSDHC メモリーカードを含む）
SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB、128 GB）
（microSDXC メモリーカードを含む）

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。（➜106）
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます）**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
- 動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み（➜77 ～ 81）や再生（➜51）
- 録画した番組の持ち出し（➜97）
- 写真の再生（➜85）や取り込み（➜88）

・持ち出し番組を他の機器で再生する場合、動作確認済みの機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

別売の USB ハードディスク（USB-HDD）について

本機は、USB-HDD を接続し、番組を USB-HDD に録画することができます。

●USB-HDD の説明書もよくお読みください。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、推奨 USB-HDD をご使用ください。

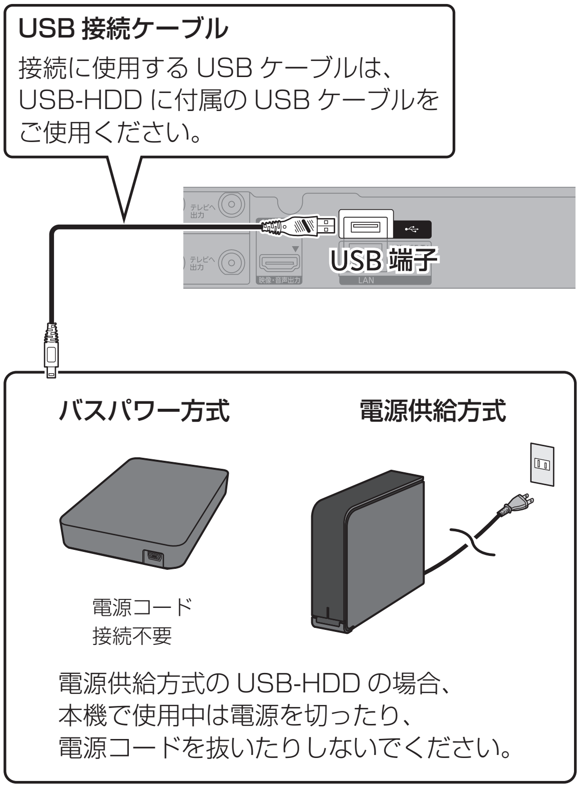
推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/bd/

●本機で使用する場合、「USB-HDD の登録」(➜133)を行う必要があります。
●USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。



●USB ハブを使用して接続しないでください。

取り外しについて

以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

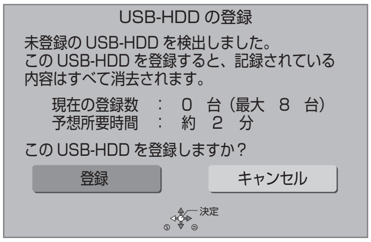
❶ 機能一覧/予約確認 を押す
❷「初期設定」を選び、決定 を押す
❸「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す
❹「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す
❺「USB-HDD の取り外し」を選び、決定 を押す
❻「実行」を選び、決定 を押す
❼ USB-HDD を取り外す

登録する

USB-HDD を使用する場合、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。
登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 6 に進んでください。

例）



1 機能一覧/予約確認 を押す

2 「初期設定」を選び、（決定）を押す

3 「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、（決定）を押す

4 「USB-HDD 設定」を選び、（決定）を押す

5 「USB-HDD の登録」を選び、（決定）を押す

6 「登録」を選び、（決定）を押す

7 （決定）を押す

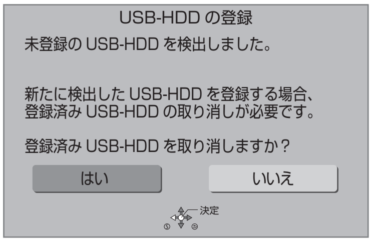
お知らせ

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB（4096 B）以外の USB-HDD は使用できません。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。
9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れると、USB-HDD の登録画面が表示されます。

例）



❶「はい」を選び、（決定）を押す
❷ 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、（決定）を押す
❸「実行」を選び、（決定）を押す
❹「登録」を選び、（決定）を押す
❺ （決定）を押す

すべての USB-HDD 登録を取り消す

本機に登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。
USB-HDD や本体を廃棄や譲渡する場合などに行ってください。
「USB-HDD の取り外し」（➜132）を行ったあと、実行してください。

左記手順 1 ～ 4 のあと

❺「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、（決定）を 3 秒以上押す
❻「はい」を選び、（決定）を押す
❼「実行」を選び、（決定）を押す
❽ （決定）を押す

お知らせ

- 登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラ、携帯電話と接続することができます。
動作確認済みの機器については、当社ホームページ **(➜3)** をご覧ください。

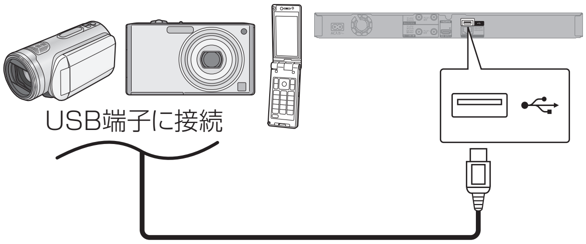
- USB機器（USBメモリー、USBリーダー&ライター、USB 電源を利用する機器など）によっては動作保証していないものがあります。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
  - ・当社製無線LANアダプター DY-WL10（別売）の場合、付属のUSB延長ケーブルをお使いいただけます。
- 接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み **(➜77 ～ 81)**
- 録画した番組の持ち出し **(➜97)**
- 写真の再生 **(➜85)** や取り込み **(➜88)**

USB 機器を接続する



USB接続ケーブル
（USB機器の付属品など指定のケーブル）

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

本体表示窓の“ ”**(➜13)** 点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）は電源「切」状態で、ネットワークを利用する機能を使用していないときに抜き差ししてください。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画･編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（RP-CL720A）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は､「個人情報リセット」(➜111)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDD をお使いになっていた場合、本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。
再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

取り扱いについて（続き）

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

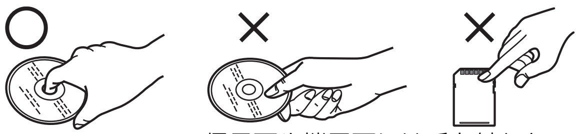
異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- **HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。**

ディスク、カード

持ち方

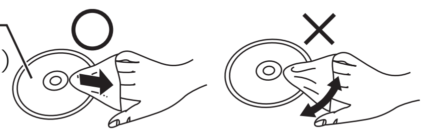


信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面
（光っている面）
内側から外へ

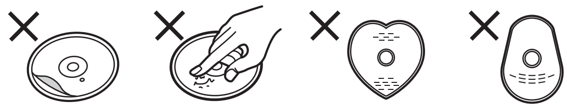


レコードクリーナーやシンナー、
ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー（別売）のご使用をお勧めします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ・シールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ・以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク



- **カード**
  - ・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

詳しい接続と設定

接続　138 ページ

接続の前に

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
  （本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、
  接続してください）
- 各機器の説明書もご覧ください。

設定　150 ページ

設定終了後に

「かんたん設置設定」「リモコンのテレビ操作部設定」
「かんたんネットワーク設定」を行ったあと、以下の場合は、
指定の設定を行ってください。

放送が受信できない/映りが悪い	
アンテナの入力レベルが正常か確認する場合	**「受信アンテナ設定」を確認（➜112）**
地上デジタル放送の映像が不安定になる場合	**「アッテネーター」を切り換える（➜112）**

リモコンを使うと他機器が同時に動作する	
複数の当社製機器を使う場合	**「リモコンモード」（➜125）**

ホームページ
diga.jp

つなぎ方ナビゲーション

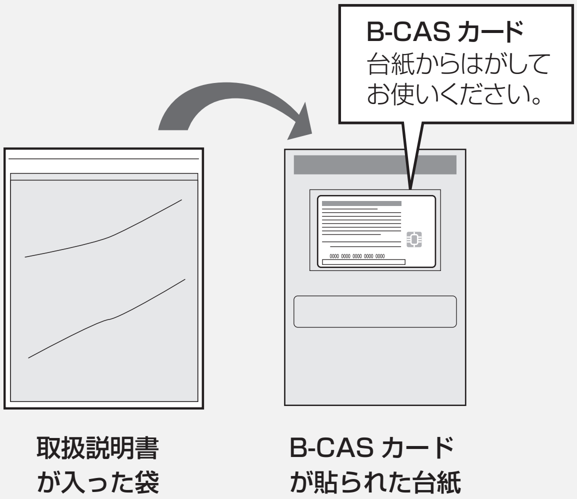
接続方法をわかりやすく説明しています。

接続1 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機への B-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

●B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。



●B-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ（➔200）などに控えておいてください。

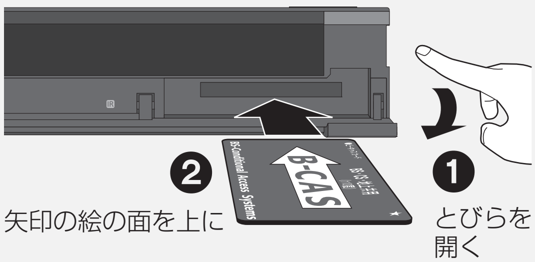
●本機でも番号を確認できます。（➔128）

お問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

挿入 / 取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、B-CAS カードを奥まで差し込む



お知らせ

●カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、引き抜いてください。

●B-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

接続2 テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

●すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。
電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

接続するご家庭のアンテナ端子に合わせて接続を行ってください。

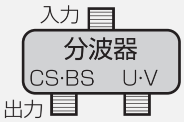
アンテナ端子が別々の場合	VHF/UHF 端子（地上デジタル）	BS/CS 端子	→ A
アンテナ端子がひとつの場合	VHF/UHF・BS/CS 混合の端子		→ B

お知らせ

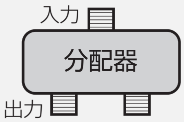
●アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをお勧めします。F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。

●分配器を使って本機とテレビに BS･110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。

●接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



混合している複数の電波を BS･CS と UHF･VHF に分波します。



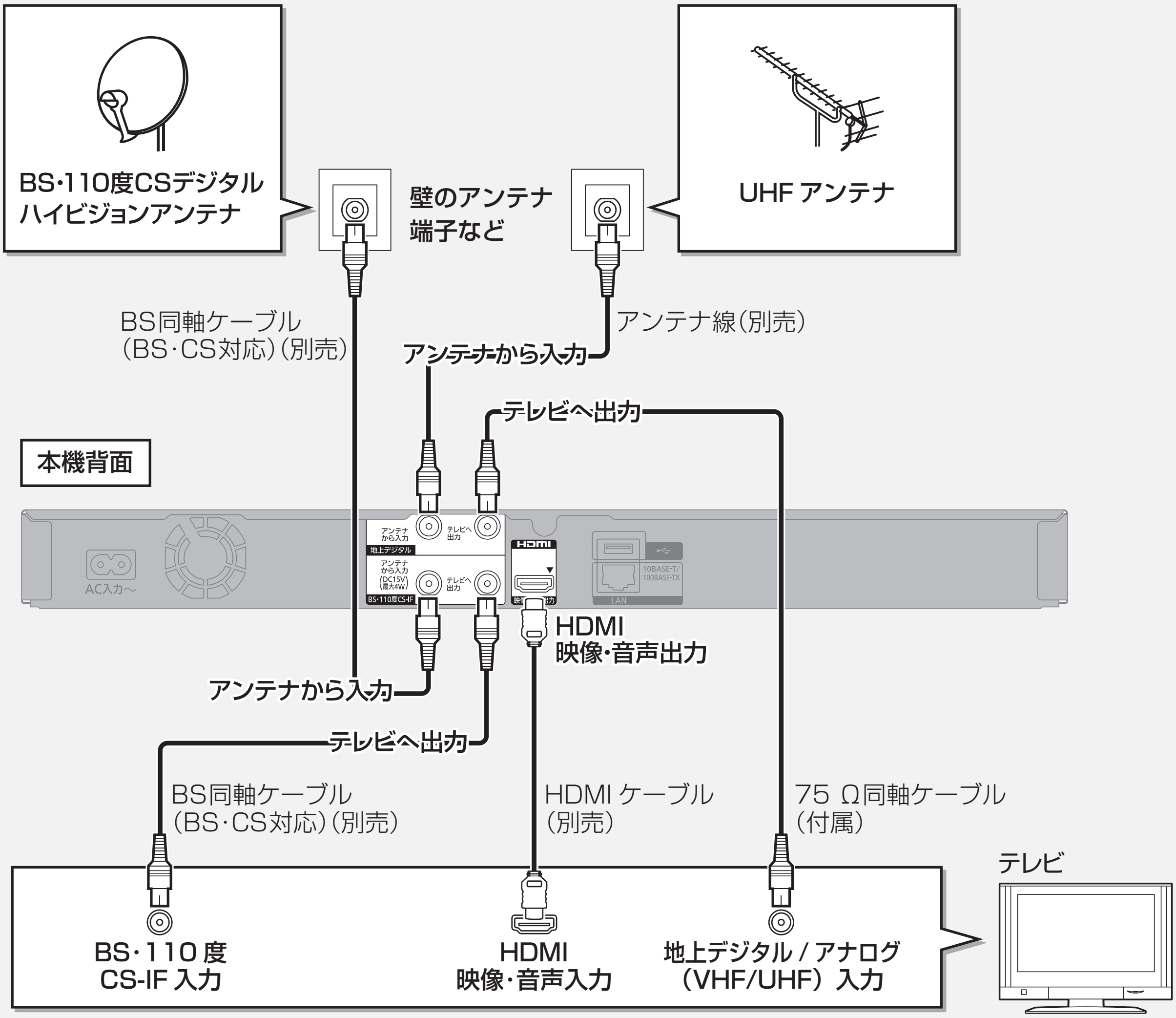
混合している複数の電波を本機とテレビなど複数の機器に分配します。

●HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

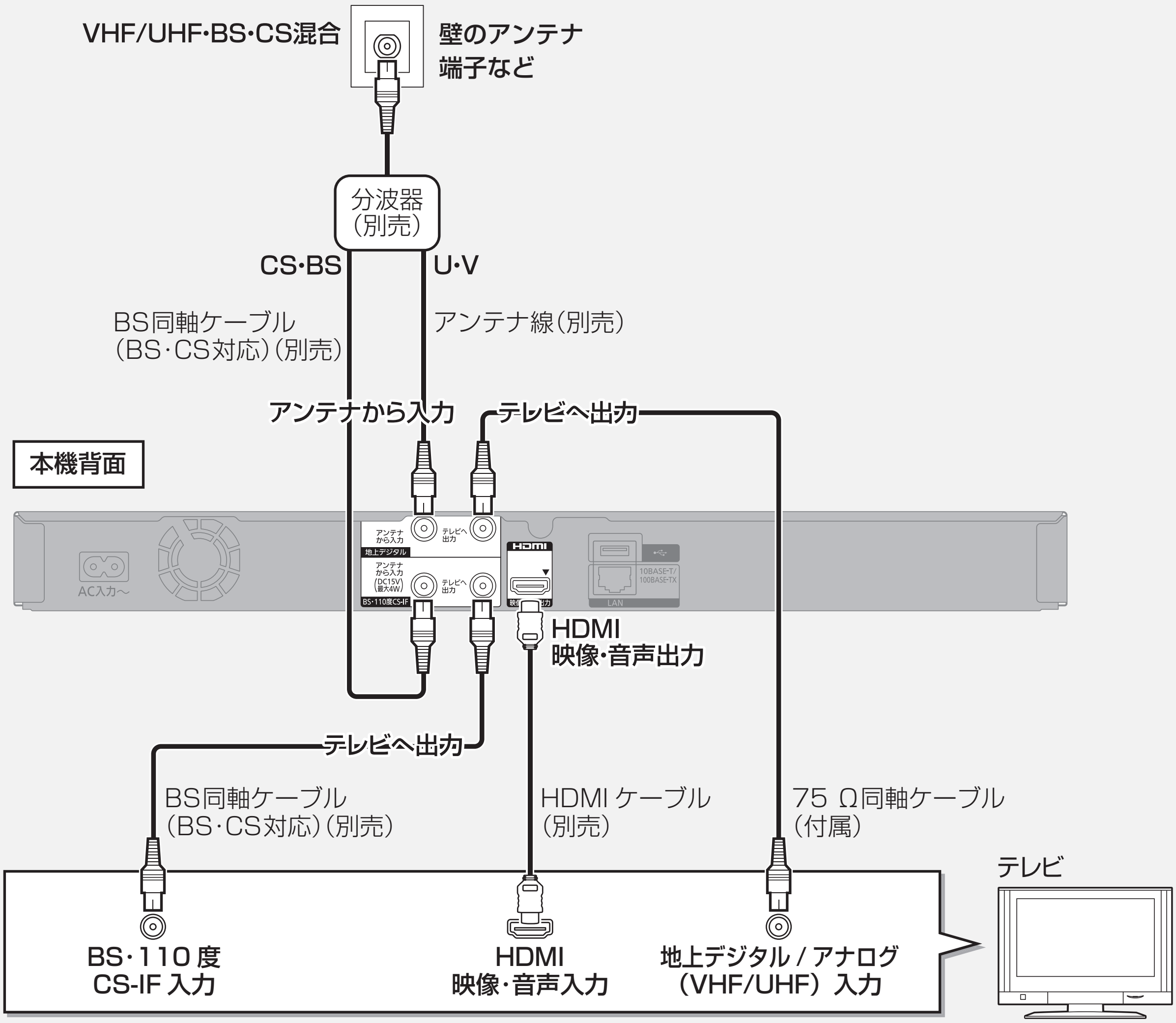
●HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル（別売）が必要です。
本機はアナログ出力端子がありません。HDMI 端子のないテレビでは、ご利用になれません。

A アンテナ端子が別々の場合



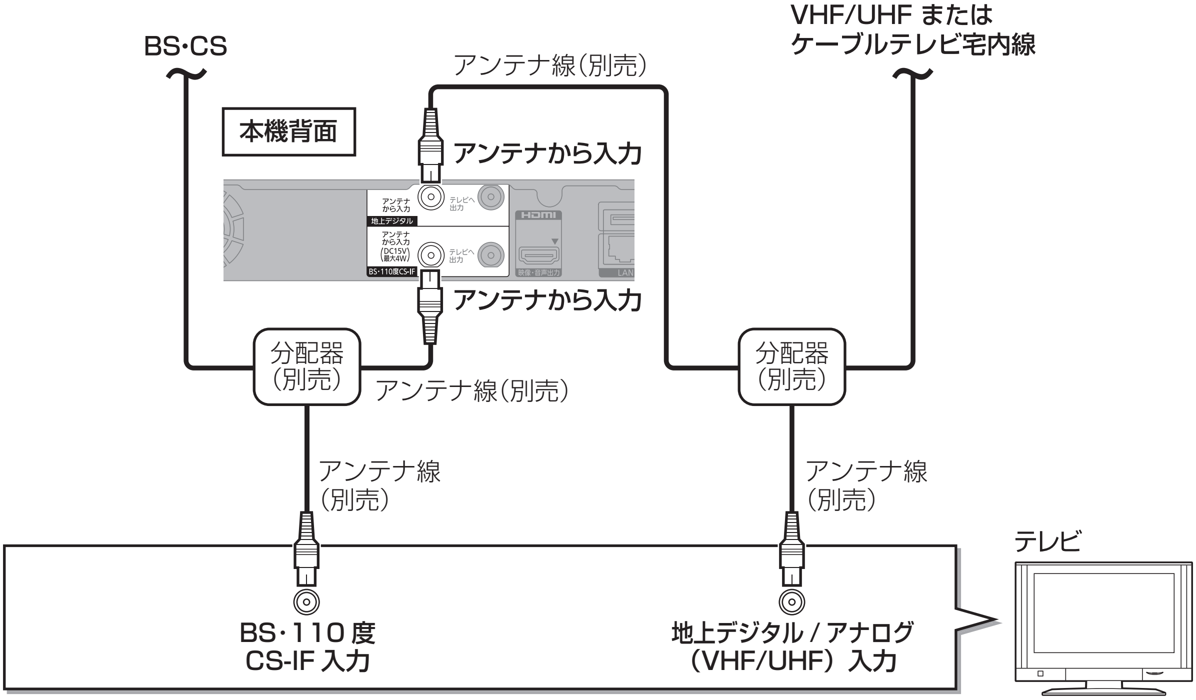
B アンテナ端子がひとつの場合



本機が「節電待機」時にテレビを視聴する場合

「節電待機」（➔22）で電源を切ると、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。
ただし、A B の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。［「節電待機モード」（➔117）が「モード 2」のとき］

「節電待機」を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。



お知らせ

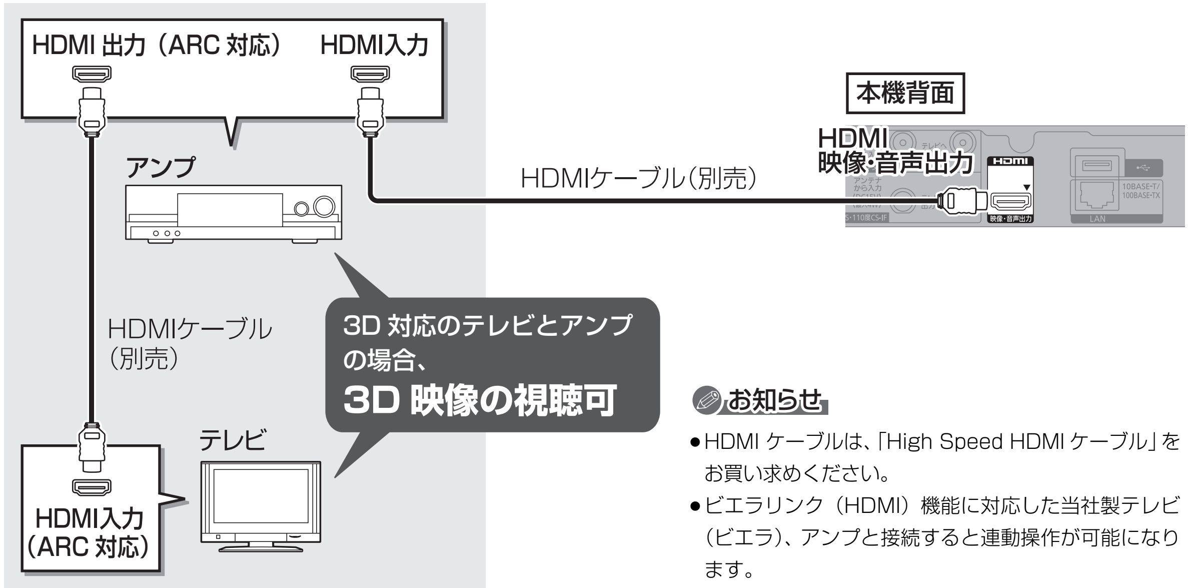
- 分配器を使って本機とテレビに BS･110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。

接続3 アンプと接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

デジタル出力される音声と接続・設定の関係（➜193）

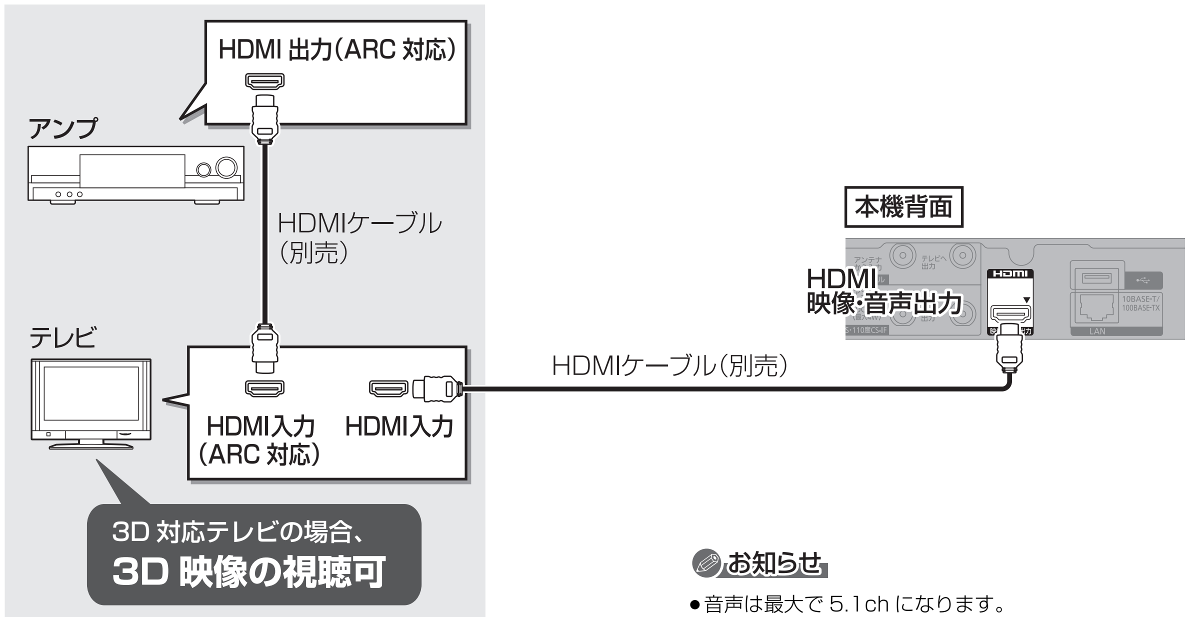
HDMI 端子で接続する



お知らせ

- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。
- ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）、アンプと接続すると連動操作が可能になります。

3D 非対応のアンプと接続して 3D 映像を視聴するには



お知らせ

- 音声は最大で 5.1ch になります。

お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

接続4 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
ご家庭のネットワーク環境に合わせて、接続（➜145 ～ 147）と、かんたんネットワーク設定（➜154 ～ 158）を行ってください。

接続機器につないで

DLNA対応機器
お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能を使う
▶ 100

スカパー! プレミアムサービス対応チューナー※1
スカパー! プレミアムサービスの番組を録画する
▶ 84

CATVセットトップボックス※1
ネットワークを使って予約録画する
▶ 76

ビエラ※2など
ネットワークを使ってダビングする
▶ 82

パソコン
自宅のパソコンから録画などの操作をする
▶ 102

プリンター
写真を印刷する
▶ 90

※ 1 スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使っての接続をお勧めします。（➜145、146）
※ 2 USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラ

インターネットにつなぐと

●インターネットを使用するサービスや機能もご利用の場合は、146、147 ページの接続をしてください。

BD-Live対応のディスクを楽しむ
▶ 57

1ヵ月の番組表や注目番組を受信する
▶ 33、34

外出先から録画予約をしたり、録画番組の詳細情報を見る
▶ 127

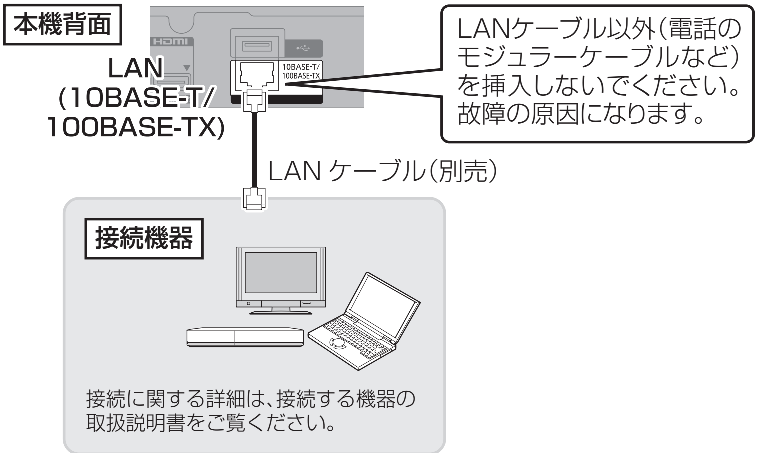
デジタル放送の情報サービスを利用する
デジタル放送のさまざまな情報配信サービスを利用できます。

お知らせ

●接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
●カテゴリー５（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
●接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。

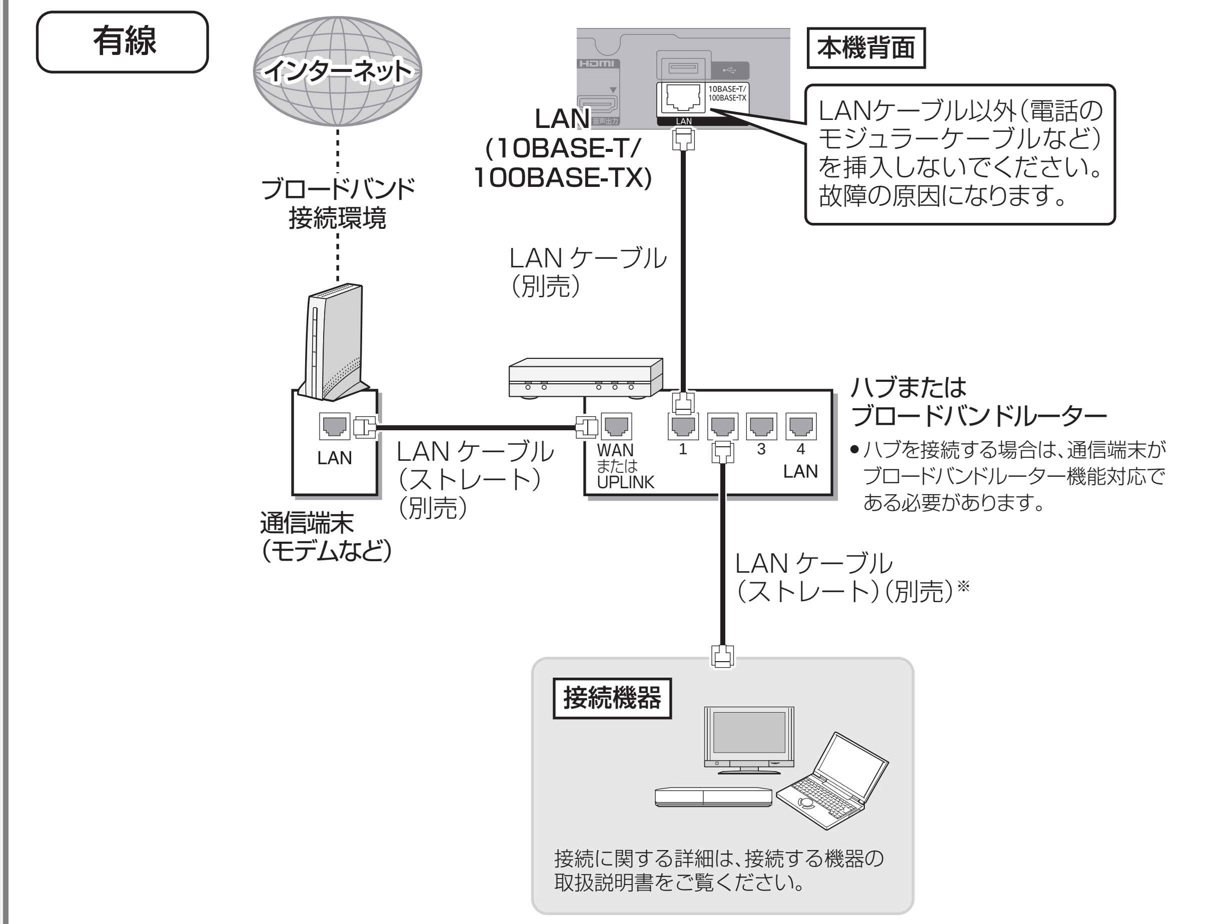
各機器と直接接続する

有線



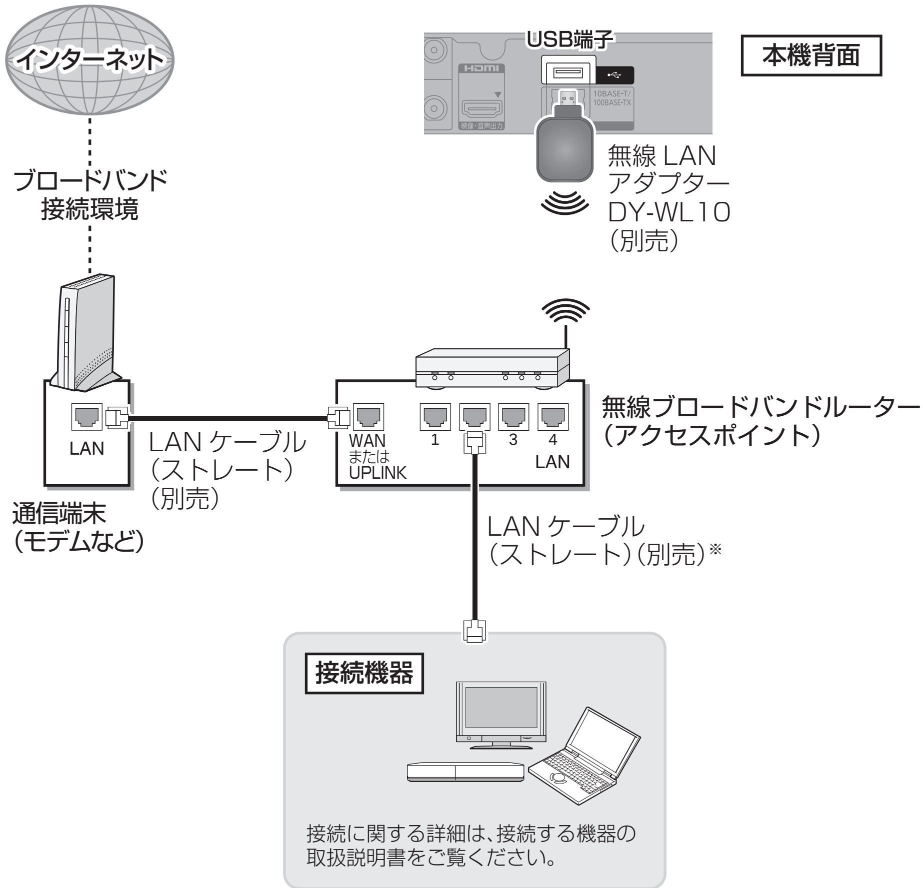
- LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する



※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

無線



※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

お知らせ

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）以外は使用できません。DY-WL10（別売）の取扱説明書もよくお読みください。
  スペースの都合などにより、本機に無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）を接続するのが困難な場合は、無線 LAN アダプターに付属の延長用 USB ケーブルを使って接続してください。
- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/bd/
- スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使っての接続をお勧めします。(➜145、146)

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応のものをお使いください。無線接続の場合、802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。必要な情報については下記サポート情報ホームページをご覧ください。

本機を操作できるパソコン（2013 年 2 月現在）

OS：
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/
Home Premium/Business/Ultimate
Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate
www ブラウザ：
Internet Explorer® 8.0 以上

動作確認済みのパソコンや携帯電話などの機器や環境については、ホームページにて順次ご案内いたします。
詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。
（携帯電話からはご利用いただけません）
http://panasonic.jp/support/bd/

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
  - ・他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - ・第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - ・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し（➜127）、再設定してください。
  - ・第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  ※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。（➜127）

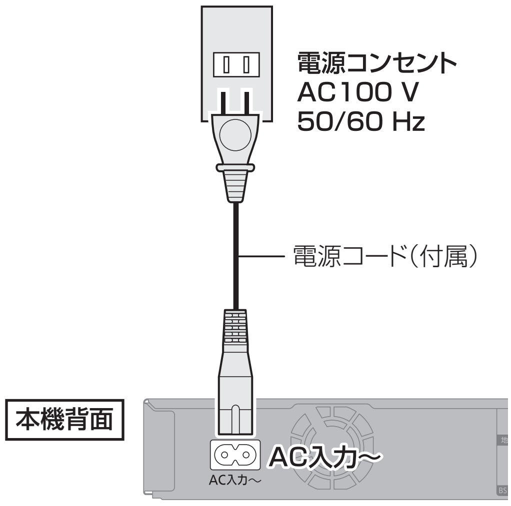
- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

接続5 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。**(電源「切」時の消費電力 ➜188)**

●電源コードを抜いている場合：

・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。

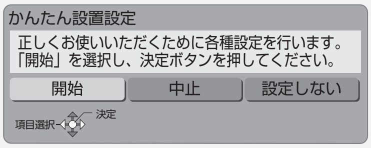
・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

設定1 かんたん設置設定をする

初めて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。
設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

1 リモコンの 電源 を押す

2「開始」を選び、決定 を押す



以下の手順でかんたん設置設定を行うこともできます。

❶ 機能一覧/予約確認 を押す

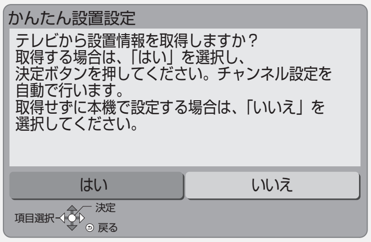
❷「放送設定」を選び、決定 を押す

❸「かんたん設置設定」を選び、決定 を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

テレビから設置情報を取得

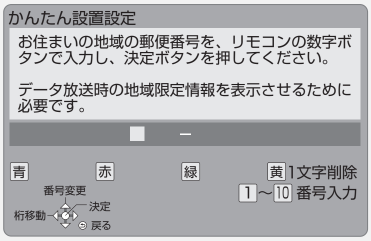
ビエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得することができます。



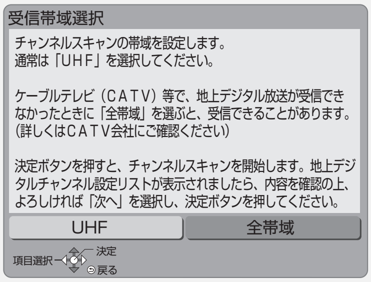
設置情報の取得に失敗する場合、「いいえ」を選んで「地域設定」から設定を進めてください。

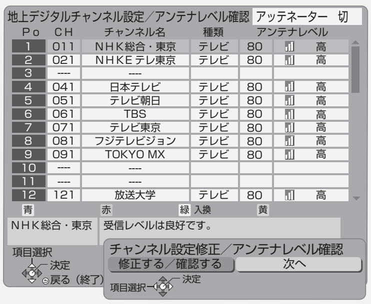
地域設定

お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。



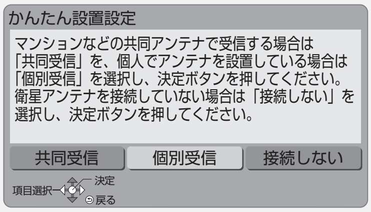
地上デジタル放送チャンネルの設定





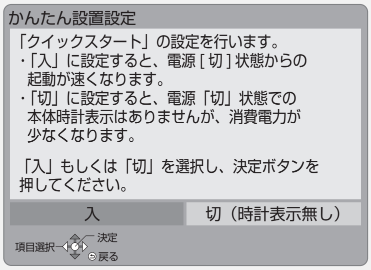
ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する／確認する」を選んでください。（➜115「マニュアル」）

衛星アンテナ設定

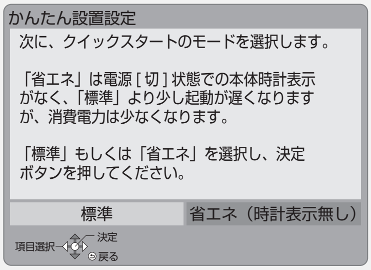


「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側で衛星アンテナの電源を「入（オン）」にする設定をしてください。

クイックスタートの設定



「入」を選んだ場合、「標準」または「省エネ（時計表示無し）」を選んでください。



●「ビエラリンク録画待機」の設定画面が表示された場合、「入」を選んでください。

> かんたん設置設定終了後、引き続き
> 「リモコンのテレビ操作部設定」(➜152)
> 「かんたんネットワーク設定」(➜154)
> を行うことができます。

クイックスタートとは

電源「切」状態からの起動を高速化します。

●テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります。

ただし、「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切（時計表示無し）」のときに比べて以下の内容が異なります。

●待機時消費電力が増えます。
●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前４時ごろ（1 週間に 1 回程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、**[電源 ⏻]** 以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。）
●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
●クイックスタートモードを「標準」に選んだ場合、テレビの無信号自動オフ機能が働かないときがあります。
●「クイックスタート」(➜117) を「入」、「クイックスタートモード」(➜117) を「省エネ（時計表示無し）」に設定すると、電源「切」時に本体表示窓の時刻は表示されなくなります。

接続／設定

お知らせ

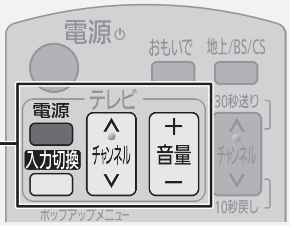
●デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、時刻合わせを行ってください。(➜116)
●テレビに映像が映らない場合は
　・テレビの入力を確認してください。(➜21「本機の映像をテレビに映す」)
　・接続を確認してください。(➜138 ～ 149)
　・以下の操作を行うと映像が映ります。
　　① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に5秒以上押す
　　　・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
　　② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで、**[▶]** を数回押す
　　③ **[決定]** を 3 秒以上押す

設定を中止するには
[戻る] を押す

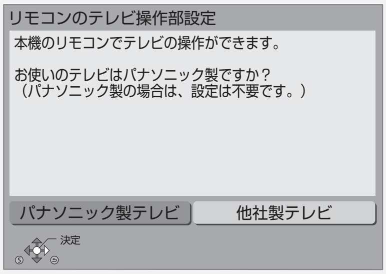
設定2 リモコンのテレビ操作部設定をする

「かんたん設置設定」(➜150、151)のあと

設定すると、リモコンのテレビ操作部でテレビの操作ができます。



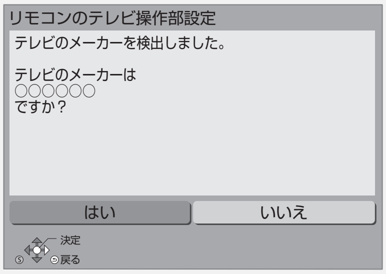
1 **「パナソニック製テレビ」または「他社製テレビ」を選び、決定 を押す**



●「他社製テレビ」を選んだ場合:(➜右記手順2へ)

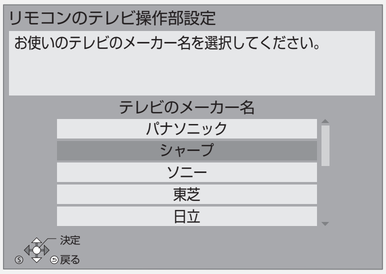
2 テレビのメーカー確認画面が表示された場合:
「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

例)



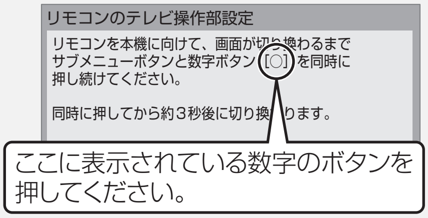
●お使いのテレビメーカーと異なるメーカー名が表示される場合、「いいえ」を選び、メーカー選択画面(**➜下記**)で正しいメーカー名を選んでください。

テレビのメーカー選択画面が表示された場合:
メーカー名を選び、決定 を押す



3 **リモコンを本機に向け、**
サブメニュー S を押しながら、1 〜 12(リモコンのふた内部)のいずれかを 3 秒以上押したままにする

例)



●画面が切り換わったら、リモコンをテレビに向け、テレビ操作部の音量ボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
正しく動作しない場合「メーカー番号を入力して設定する場合」(➜153) をお試しください。

4 **決定 を押す**

以下の手順でリモコンのテレビ操作部設定を行うこともできます。

❶ 機能一覧/予約確認 を押す

❷「初期設定」を選び、決定 を押す

❸「設置設定」を選び、決定 を押す

❹「リモコン設定」を選び、決定 を押す

❺「リモコンのテレビ操作部設定」を選び、決定 を押す

お知らせ

● **メーカー番号を入力して設定する場合**

「リモコンのテレビ操作部設定」(➜152)を行っても正しく動作しない場合、以下の操作で設定してみてください。

[戻る] を押しながら、[1] ～ [10] を使って、2 桁のメーカー番号（➜ 下記）を入力してください。

例)01 の場合…[10] → [1]　　10 の場合…[1] → [10]
11 の場合…[1] → [1]　　12 の場合…[1] → [2]

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01、10、22、23、24
アイワ	18
NEC	06、15
三洋	07、16
シャープ	02、11、21
ソニー	03、17
東芝	04
パイオニア	13
ビクター	14
日立	05、20
富士通ゼネラル	09
フナイ	19
三菱	08、12、25

番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

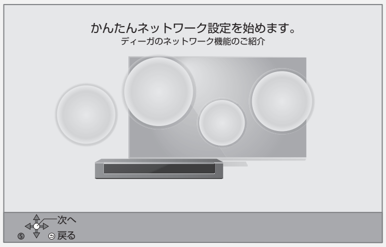
・当社製テレビの場合、「24」に設定すると、テレビ操作部の [入力切換] で、入力に加え、テレビの放送も切り換えることができるときがあります。切り換えることができないときは「24」以外に設定してください。

● 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
● [1]～[12] を使ってテレビのチャンネル変更はできません。テレビ操作部の [チャンネル ∧,∨] をお使いください。
● テレビ側でリモコンモードを変更している場合、本機のリモコンでは操作できません。

設定3 かんたんネットワーク設定をする

「リモコンのテレビ操作部設定」(➜152、153)のあと

はじめに、本機で楽しめるネットワーク機能が紹介されます。



決定 を数回押して画面を進め、ネットワーク設定を開始してください。

LAN ケーブルを接続している場合は、自動的に有線の設定で開始します。

画面の指示に従って設定を行ってください。

以下の手順でかんたんネットワーク設定を行うこともできます。

❶ 機能一覧/予約確認 を押す

❷「初期設定」を選び、決定 を押す

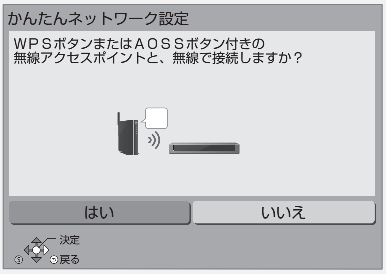
❸「かんたんネットワーク設定」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 無線接続するには、当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）が必要です。(➜147)
  「無線 LAN アダプターが接続されていません」と表示が出る場合、無線 LAN アダプターが奥までしっかり挿入されているかの確認、または抜き差ししてください。それでも表示が変わらない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- インターネットに接続できる状態で、かんたんネットワーク設定を行うと、以下のようになります。
  ・ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「お部屋ジャンプリンク（DLNA）/ スカパー! Link（録画）設定」(➜126) を行ってください。
  ・「クイックスタート」(➜117) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。
- かんたんネットワーク設定をやり直すと、スカパー! プレミアムサービスや CATV の登録済みの予約は、正しく実行されなくなる場合があります。設定前に、登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

こんな画面が表示された場合

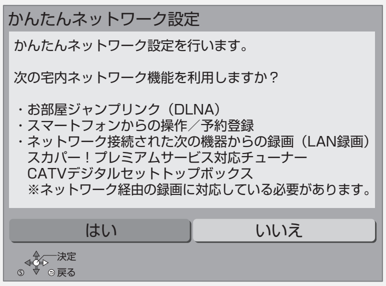
無線アクセスポイントとの接続確認



無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がWPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、「はい」を選ぶと、簡単に設定することができます。
「いいえ」を選んだ場合や、ネットワークに問題がある場合は、「その他のネットワーク設定」（➜ 下記）の画面が表示されます。
画面の指示に従って設定してください。

- WPSとは、無線LAN機器との接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

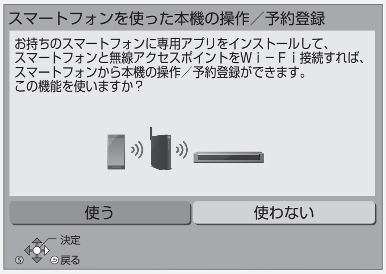
その他のネットワーク設定



ネットワークをご利用にならない場合や WPS で接続しない場合、ネットワークに問題がある場合は上記の画面が表示されます。
画面の指示に従って設定してください。

スマートフォンを使った本機の操作 / 予約登録

例）



スマートフォンを無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）と無線接続すると、スマートフォンから本機の操作や録画予約ができます。

お知らせ

- スマートフォンに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。

ディモーラ・ミモーラ会員登録

ネットワークの設定が完了すると、ディモーラ･ミモーラの会員登録の画面が表示されます。

ディモーラやミモーラのサービスの登録について

本機では、ディモーラやミモーラのサービスに一定期間お試しで登録して利用することができます。（2013 年 2 月現在）

お試しの期間が終了後、引き続きすべての機能を利用したい場合は、パソコンなどからディモーラやミモーラに会員登録する必要があります。すでに CLUB Panasonicに会員登録している場合は、本機からディモーラやミモーラに会員登録することができます。

本機でのお試しの登録や会員登録については、画面の指示に従って行ってください。

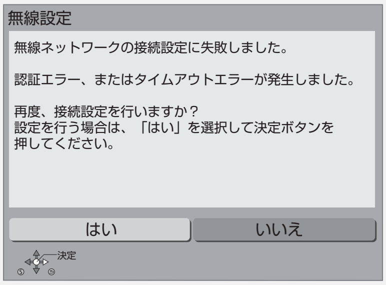
●お試しの登録は **「機器登録解除」（➜124）** で解除することができます。

ディモーラやミモーラのサービスについては、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック株式会社
テレビ番組情報ウェブサービス
ディモーラ：http://dimora.jp/
ミモーラ：http://me-mora.jp/

無線ネットワークの接続確認

例）



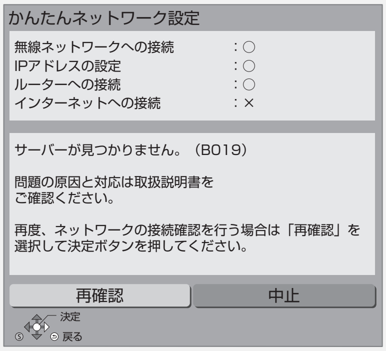
無線ネットワークの接続に失敗した場合

<table>
<tr><th>表示</th><th>ここを確認してください</th></tr>
<tr><td>他の機器との競合が発生しました。</td><td>●しばらく待ってから、再度実行してください。</td></tr>
<tr><td>タイムアウトエラーが発生しました。</td><td rowspan="2">●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側のMACアドレスなどの設定
●電波が弱いことが考えられます。無線 LAN アダプターに付属のUSB延長ケーブルを使って、無線 LAN アダプターの位置を調節してください。
●無線設定のネットワーク名（SSID）や暗号化キー
●しばらく待ってから、再度実行してください。</td></tr>
<tr><td>認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。</td></tr>
<tr><td>デバイスエラーが発生しました。</td><td>●無線LANアダプターの接続を確認してください。
●再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>無線ネットワークに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。</td><td>●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続している機器の数を減らしてください。</td></tr>
</table>

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例）



有線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：× IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	LAN ケーブルの接続 **（➜146）**
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 **（➜123）**
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 **（➜123）**
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」**（➜123）**やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定**（➜123）** ●ルーターなどの設定

無線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認（➜123）
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認（➜123）
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」（➜123）やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」の設定（➜123） ●ルーターなどの設定

お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定（➜123）の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線 LAN アダプターまたは無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定（➜154）を再度行ってください。
- お部屋ジャンプリンク機能（➜126）をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送　(地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

●本機ではワンセグ放送を録画できます。(➜95)
ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。(お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります)

BS デジタル放送　(BS デジタル)

放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

●WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送　(CS デジタル)

通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

●110 度 CS デジタル放送の放送事業者「スカパー!」※への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー!」※には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

※ 2012 年 9 月 29 日より「スカパー! e2」から「スカパー!」に名称変更しました。

お問い合わせ先

スカパー! カスタマーセンター(総合窓口)
0570-039-888(ナビダイヤル)
(携帯電話・PHS の方は **03-4334-7777**)
受付時間　10:00 〜 20:00(年中無休)

スカパー! 公式ホームページ
http://www.skyperfectv.co.jp/

お知らせ

- **B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	アドレスが正しく設定されませんでした。	●「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」(➔123)で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。
	セキュリティーが低い設定になっています。 設定の変更をおすすめします。	●安全のために、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の暗号化方式を「AES」にしてください。
	接続テストを実行できませんでした。	●一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	接続できませんでした。LANケーブルの接続を確認してください。	●ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消えているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良などを確認してください。
	接続に失敗しました。ゲートウェイが応答しません。ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブのLinkランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN端子の接触不良などを確認してください。 ●「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」(➔123)で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。 ●無線 LAN 対応のアクセスポイントをご使用の場合、アクセスポイントの通信設定をご確認ください。設定について詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。本機のMACアドレスが必要な場合は、「ネットワーク通信設定」(➔123)を表示してご確認ください。
	タイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)側の MAC アドレスなどの設定を確認してください。
	認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	●電波が弱いことが考えられます。本機や無線 LAN アダプターまたは無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。 ●手動で無線設定を行った場合、ネットワーク名(SSID)や暗号化キーを確認してください。 ●しばらく待ってから、再度、実行してください。
	デバイスエラー デバイスエラーが発生しました。	●再度、無線設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	無線アクセスポイントへの接続に失敗しました。 無線アクセスポイントの接続を確認してください。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の電源が入っているか確認してください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	IP アドレスが取得できません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブのLinkランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN端子の接触不良などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。 ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。
	IP アドレスが設定されていません。	●「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」(➜123)で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください)
	IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	●本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。 他のパソコンや、本機、ルーターの IP アドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。
通信時	サーバーが見つかりません。(B019)	●「IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定」(➜123)で「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定を確認してください。 ●ブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
	サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	●サーバーが混み合っているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●まったく接続できない場合は、「プロキシサーバー設定」(➜123)やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
	サーバーとの通信に失敗しました。(B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。
	認証に失敗しました。(B401)	●回線業者やプロバイダーからのIDやパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの説明書に従って、正しく設定してください。

必要なとき

こんな表示が出たら（続き）

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	D	●以下の場合に点灯します。 ・HDD の番組の録画モード変換中※ ・持ち出し番組作成中※ ・ソフトウェア更新のデータ蓄積中 ※ 点灯中に電源を「入」にすると、処理は中止されます。次回、電源「切」時に処理が実行されます。
	DUB	●ダビング中や、番組お引越しダビング中に点灯します。
	0:00	●停電や電源コードをコンセントから抜き差ししたあと、点滅します。時刻を合わせてください。 ●デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	61PCT	●ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。(例:61 パーセント)
	BS 101	●現在選んでいるBSデジタル放送のチャンネルです。(例:101 チャンネル)
	C1 001	●現在選んでいる CS1 放送のチャンネルです。(例:001 チャンネル)
	C2 100	●現在選んでいる CS2 放送のチャンネルです。(例:100 チャンネル)
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。(例:011 チャンネル)
	DL 1/5	●オンエアーダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5 などはダウンロードの進行状況です）
	DUB	●かんたんダビングや詳細ダビング画面などを表示中です。
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	MENU	●機能一覧表示中です。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	NET	●宅内ネットワークに接続中です。
	NoFINALIZE	●HDD の録画中などに、本体の[▲ 開 / 閉]を押したとき、未ファイナライズの -R(AVCREC) -R(V) -RW(V) が入っている場合に表示されます。 ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)の作業が終了したときに、表示されることがあります。本体の[▲ 開 / 閉]を押してクリーナーを取り出してください。
	NoREC	●以下の場合、[ワンタッチ予約 録画 ●]を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中
	PHOTO	●写真一覧表示中です。
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。“BYE” が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」や「関連番組まとめて予約」以外の予約が 128 件登録されています。不要な予約を消してください。
	SLIDE	●写真のスライドショー再生や、おもいで再生中です。
	TRANS	●持ち出し番組一覧表示中です。
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。 ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。 本機に対応したディスクをお使いください。
	UPD 1/5	●ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)
	VIDEO	●録画一覧表示中です。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	U30 2 1～6のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。 ●4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。（リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます）
	U50	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	U82	●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB機器接続時に異常が発生しました。接続したUSB機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	F00 H00 （数字の00は例です）	●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切/入してください。

●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

●上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➔200)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
  - ･電源切 / 入時
  - ･番組表データを受信中
  - ･ソフトウェア更新中
  - ･録画中
  - ･録画モード変換時、持ち出し番組作成時
  - ･「ビエラリンク録画待機」(➜121)の「入」時
  - ･「家じゅう録画一覧設定」(➜124)の「自動更新」の「入」時
  - ･予約録画終了時または午前４時ごろ(1 週間に 1 回程度）の、本機全体の自動再起動時
    本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
  ① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**
  - 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。

[電源⏻/I]を
3秒以上押す

（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

  ② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

  上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。(➜167)

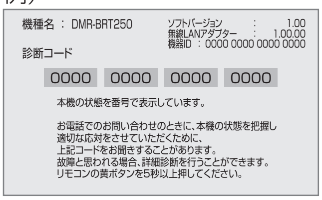
診断コードについて

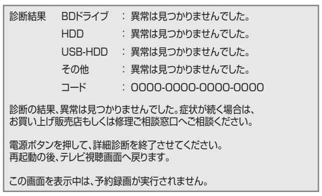
本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

① **[機能一覧 / 予約確認]** を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③「設定する・その他の機能」を選び、**[決定]** を押す
④「メール / 情報・診断コード」を選び、**[決定]** を押す
⑤「診断コード」を選び、**[決定]** を押す
⑥ **[黄]** を５秒以上押す
⑦「はい」を選び、**[決定]** を押す
- 診断を開始します。

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

例）





電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の **[電源 ⏻/I]** を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源〔切〕」**(➜116)** やビエラリンク（HDMI）の電源オフ連動 **(➜93)**、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- ビエラリンク（HDMI）をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

USB-HDD の電源が切れない

- 本機の設定によっては、電源を「切」にしても USB-HDD の電源が切れない場合があります。

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
  本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
  電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
  ① **［決定］** と **［青］** と **［黄］** を同時に 5 秒以上押す
  ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
  ② 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで **[▶]** を数回押す
  ③ **［決定］** を押す
  （ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください）
  ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード(➜125)が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3 秒以上押したままにしてください。

- リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。（リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます）
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色付きガラスも含む）などがありませんか。
- テレビ操作部のボタンでテレビを操作する場合、テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(➜125)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。リモコンモードを変更してください。(➜125)

表示

本体に出る表示が暗い

- 「本体表示窓の明るさ」(➜121）で明るさを変えてください。

時刻表示が出ない

- 以下の設定をすると、電源「切」時に本体表示窓に時刻が表示されます。
  - ・「クイックスタート」(➜117）を「入」に設定
  - ・「クイックスタートモード」(➜117）を「標準」に設定
  - ・「ECO スタンバイ」(➜121）を「切」に設定

  ただし、「節電待機」(➜22）で電源を切ると、時刻は表示されません。

“録画”または“LAN”が点滅している

- 以下の場合、点滅します。
  - ・予約録画の開始時刻の約3分前から開始時刻までの間
  - ・アンテナが抜けている、または電波が弱くて正常に録画できないとき
  - ・B-CAS カードが抜けて録画できないとき
  - ・HDD の残量がなくて録画できないとき
  - ・スカパー！プレミアムサービス対応チューナーやCATVから信号が受信できなくて録画できないとき

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- -R 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない
テレビに「信号がありません。」が表示される

●本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れてください。
●HDMIケーブルが認識されていない場合があります。本機の電源が「切」の状態で、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度本機の電源を入れてください。

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

●アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき（➜151）
・「アンテナ電源」を「入」にしているとき（➜110）
●「アンテナ出力」（➜110）を「入」にしてください。「切」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
●一度「アッテネーター」（➜112）の設定を切り換えてみてください。
●「節電待機」（➜22）で電源「切」時は、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。（➜142）

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

●「かんたん設置設定」（➜150）をやり直してください。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」（➜121）が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される
画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」（➜59）で調整してください。（テレビのアスペクト設定でも調整できます）
●「TV アスペクト」（➜122）で調整してください。

再生時の映像に残像が多い

●「HDオプティマイザー」（➜59）を「切」にしてください。

映像が映らない
映像が乱れる

●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。（➜138 ～ 149）
●以下の場合、故障ではありません。
・気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
・BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
・3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
・HDCP（不正コピー防止技術）非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器（パソコンのディスプレーなど）によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）
・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
 -「24p 出力」（➜122）が「入」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
・「Deep Color 出力」（➜122）もしくは「コンテンツタイプフラグ」（➜122）を「切」にしてください。
●テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビのHDMI端子を他のHDMI端子に 変更すると改善される場合があります。

音声

音声が出ない

●ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。
●Dolby Digital PlusまたはDolby TrueHDなどの音声が出力されなくなった場合は、本機の内部設定が自動的に切り換わった可能性があります。その場合は、一度、「初期設定リセット」(➜117)を行ってください。

サラウンドの音声が出ない

●接続するアンプによっては、音声が 2 チャンネルになる場合があります。「音質効果」(➜60)を「切」または「ナイトサラウンド」にしてください。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

●スピーカーの接続を確認してください。
●5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」(➜120)を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

●接続機器の設定を確認してください。
●以下の場合、音声の切り換えはできません。
・マルチ音声の番組を **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** に XP、SP、LP、EP、FR モードで予約録画する
●マルチ音声は、テレビやアンプ側で切り換えることができません。本機で切り換えてください。
●**MP4** 音声の切り換えはできません。
●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

番組表

番組表データが受信できない

●番組表で番組情報を表示させたい局を選んで **[決定]** を押すと、番組表データを受信できます。
●お住まいの地域の受信状態に問題がある場合(電波状態が弱い場合など)は、番組表データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。

番組表データが更新されない

●データ受信中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、更新されません。前回受信したデータが残ります。
データ受信時に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に内容を更新します。
(データ受信時に電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。)
●すぐに更新したい場合は、「番組データ取得」(➜33)をしてください。

1ヵ月の番組表や注目番組が受信できない

●ネットワークの接続や設定を確認してください。
●「通信による G ガイド受信」(➜110) の設定を「入」にしてください。

放送局のチャンネルが表示されなくなった

●サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

- 「受信アンテナ設定」(➜112) でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
  映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合は、以下をお試しください。
  ･「アッテネーター」(➜112) の設定を切り換える。
  ･ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
- 集合住宅の共聴システムや CATV の場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約の CATV 会社にお問い合わせください。
- 受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

BS･110 度 CS デジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった

- BS･110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナやアンテナ線、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来の BS アンテナでは受信できない場合があります。
- 「受信アンテナ設定」(➜113) でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
- BS･110 度 CS デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、画質、音質が少し悪くなる場合があります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
- 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
- アンテナへの電源供給が必要です。
  ･「アンテナ電源」(➜113) を「入」にしてください。
  ･分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

WOWOW やスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない

- 有料放送の視聴には、放送会社との受信契約が必要です。

データ放送が見れない

- 録画中の番組のデータ放送は見れません。

字幕が出ない

- 字幕のある番組の場合、「信号切換」(➜27) の「字幕」を「入」にしてください。

録画

録画できない

●以下の場合、録画できません。本体前面の“録画”ランプが点滅します。
　・アンテナが抜けている、または電波が弱い
　・B-CAS カードが抜けている
　・HDD の残量がない
●ディスクやUSB-HDDには**[ワンタッチ予約 録画 ●]**を押しても、録画できません。予約録画のみ可能です。

予約録画ができなかった

●HDD の残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。**(➜42)**

ディスクに予約録画ができない

●ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
●以下の場合、ディスクに予約録画できません。
　・**BD-RE** **BD-R** にXP、SP、LP、EP、FRモードで予約
　・**RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** に DR、XP、SP、LP、EP、FR モードで予約
　・**RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** に DR、1.5 ～ 15 倍録モードで予約
　・**-R(V)** **-RW(V)** のディスク
　・未フォーマットのディスク
　・CPRM 非対応の DVD
　・誤消去防止（プロテクト）の設定がされたディスク

BS・110度CSデジタル放送の予約録画ができない

●BS・110 度 CS デジタルアンテナに電源が供給されていない場合、予約録画は実行されません。アンテナへの電源供給が必要です。
　・個別に BS・110 度 CS デジタルアンテナを設置している場合、「アンテナ電源」**(➜113)**を「入」にしてください。
　・分配器を使って本機とテレビにアンテナを接続している場合は、テレビと本機のどちらからでも電源を供給できるように全端子電流通過型の分配器を使用してください。
●有料放送の録画には、放送会社との受信契約が必要です。

番組追従機能が働かない

●時間指定予約では働きません。
●放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。
●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
●LAN 経由（スカパー! プレミアムサービスや CATV）で録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。また、「節電待機」**(➜22)**で電源を「切」にしているときも、正しく働かない場合があります。

スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV から LAN 接続で予約録画ができない

●ネットワークの接続や設定を確認してください。
●「お部屋ジャンプリンク機能」**(➜124)**が「入」になっていますか。
●接続機器の設定が正しいか確認してください。

再生

録画した番組が見つからない

●視聴制限のある番組は録画一覧に表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

映像が乱れたり、正しく再生されない

●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。
●録画モードや、映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。

なめらかに再生されない（映像や音声が一瞬止まる）

●以下の場合、なめらかに再生されない場合があります。[「シームレス再生」(➜120) を「入」に設定しても改善されません]
・シーンの切り換わりや、字幕や音声の切り換え時
・片面 2 層の -R の層の変わり目
・2 倍速対応以下の DVD に記録した 1.5 倍録、1.6 倍録、1.8 倍録、2 倍録モードの番組
●ハイビジョン動画など転送レートの高い動画は、なめらかにスロー再生されない場合があります。

データ放送が見れない

●本機ではデータ放送は記録できません

字幕が出ない､切り換えられない

●ディスクに字幕が収録されていますか。
●「字幕設定」(➜58) で字幕表示の設定を行ってください。
●DR、1.5 ～ 15 倍録モードの番組は、「信号切換」(➜58) の「字幕」を「入」にしてください。
●XP、SP、LP、EP、FRモードの番組は、「字幕」(➜40、58) を「入」にして記録した場合に字幕が表示されます。字幕表示の入 / 切はできません。

音声言語や字幕言語が切り換えられない

●「音声情報」、「字幕設定」(➜58) ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。

ディスクが再生できない

●ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。

BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す（本体表示窓に“00 RET”が表示されます）
② 本体表示窓に“03 VL”が表示されるまで **[▶]** を押す
③ **[決定]** を押す

3D 映像が出力されない

●本機と 3D 対応テレビの接続や設定は正しいですか。
●本機と3D対応テレビの間に3D非対応のアンプを接続していませんか。本機と 3D 対応テレビを直接接続してください。

3D 映像が正しく 2D 出力されない

●3Dディスクを再生する場合､「3Dディスクの再生方法」(➜118) を「2D 再生」に設定してください。
●3D 番組を再生する場合、「3D 番組の出力方法」(➜121) を「2D」に設定してください。
●サイドバイサイド（2 画面構成）などの放送を記録した番組は、2D 再生すると 2 画面で出力されます。

ダビング

ダビングできない

- 市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。
- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- HDDから -R(V) -RW(V) へのダビング時、HDDの残量が少ないときはダビングできません。HDD の不要な番組を消去してください。
（使用するディスクによっては、HDD の残量が 5 倍録モードで最大 4 時間必要な場合があります）
- 以下の番組は、BD-RE BD-R からHDDにダビングできません。
  - ・ディスク内で番組分割した番組
  - ・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集した番組
  - ・ファイナライズしたディスクの番組
  - ・録画時間が 8 時間を超える番組
- 高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画を、2倍速対応以下の DVD に取り込むことはできません。

高速ダビングできない

- 以下の場合、画質変更ダビングになり、高速でダビングできません。
  - ・DR モードの番組や LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画した番組を DVD にダビングする
  - ・1.5 ～ 15 倍録モードの番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) -R(V) -RW(V) にダビングする
  - ・録画モードを変更してダビングする
  - ・ディスクの記録容量を超えてダビングする
  - ・1080/60p（1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録の番組を DVD にダビングする
  - ・「AVCHD 3D」の表示がある番組を DVD にダビングする
  - ・XP、SP、LP、EP、FRモードの番組を BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R(V) -RW(V) にダビングする
  - ・BD-RE BD-R から他機器で記録した XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を HDD にダビングする
  - ・DVD-V から HDD にダビングする

高速ダビングに時間がかかる

- ディスクの倍速対応によってダビング速度が変わります。
- 「高速ダビング速度」（➜118）の設定によってダビング速度が変わります。

高速ダビング時の動作音が大きい

- 高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、「高速ダビング速度」（➜118）を「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。

画質変更ダビングに時間がかかる

- DR、1.5～15倍録モードの番組をDVD画質でダビングする場合は 1 倍速になります。

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーやCATV、ビエラ、他のディーガから LAN 接続でダビングができない

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
- 「お部屋ジャンプリンク機能」（➜124）が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

編集

編集できない

- HDD 残量がないと編集できない場合があります。不要な番組を消去してください。
- 以下のディスクの場合、編集できません。
  - ・ファイナライズ済みのディスク
  - ・AVCHD のディスク
  - ・他社製機器やパソコンで記録したディスク
- 他機器で録画した番組は、本機では録画モードが表示されない場合があります。このような番組は「番組結合」ができません。
- 本機では持ち出し番組の編集はできません。

番組を消去しても残量が増えない

- BD-R -R 消去しても増えません。
- -RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません。

部分消去の開始点や終了点が設定できない

- 開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。

プレイリストが作成できない

- 本機ではプレイリストの作成はできません。

動画

撮影した動画が再生できない
映像が乱れたり、正しく再生されない

- SDカードやUSB機器のMPEG2動画またはUSB機器のハイビジョン動画（AVCHD）は直接再生できません。HDD などにダビングしてから再生してください。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、再生できない場合があります。
- 2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。

撮影した動画がSDカードからダビングできない

- 本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
- パソコンで編集した SD カードは使用できない場合があります。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。本機で使える SD カード（➔131）か確認してください。

撮影した動画が USB 接続でダビングできない

- ビデオカメラが、本機で対応している機器か確認してください。対応機器については、当社ホームページ（➔3）をご覧ください。
- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない（USB 機器画面が表示されない）場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

写真

撮影した写真が再生できない
SD カードから取り込めない

- 本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
- パソコンで編集した SD カードは使用できない場合があります。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。本機で使える SD カード（➜131）か確認してください。

撮影した写真が USB 接続で取り込めない

- デジタルカメラが、本機で対応している機器か確認してください。対応機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。
- 本機とデジタルカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない（USB 機器画面が表示されない）場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、デジタルカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- デジタルカメラ側に SD カードが正しく入っているか確認してください。

撮影した写真の取り込みに時間がかかる

- ファイルやフォルダの数が多い場合、または写真の解像度が高い場合、数時間かかることがあります。

持ち出し番組

持ち出し番組が作成できない

- 録画先が「HDD」以外の場合、作成できません。
- HDD の残量が少ない、または番組数がいっぱいの場合、作成できません。
- ダビングできない番組は作成できません。

持ち出し番組が SD カードに転送できない

- SD カードの書き込み禁止スイッチがロックされていませんか。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードの場合、専用のアダプターを正しく装着していますか。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。本機で使える SD カード（➜131）か確認してください。

持ち出し番組が USB 接続で転送できない

- 接続機器が、本機で対応している機器か確認してください。対応機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。
- 本機と接続機器の接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない（USB 機器画面が表示されない）場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、接続機器側で正しく設定されているか確認してください。
- 接続機器側にSDカードが正しく入っているか、またSD カードの書き込み禁止スイッチがロックされていないか確認してください。

持ち出し番組が再生できない

- 再生機器が、持ち出し番組の再生に対応している機器か確認してください。対応機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。
- 「持ち出し番組の VGA 画質」（➜118）を「モード 1(1.5Mbps)」で記録すると再生できない場合があります。その場合は、画質を「モード 2(1.0Mbps)」に設定して、持ち出し番組を作成し直してください。
- 本機では持ち出し番組の再生はできません。

ネットワーク

携帯電話やパソコンで本機を操作できない

●ネットワークの接続は正しいですか。
●「宅外リモート接続設定」(➜127) の画面で、「宅外ネット接続」と表示されていない場合、接続を確認してください。
●加入しているサービスの会員登録や機器登録の内容を確認してください。
●ルーターの設定（DHCP サーバー機能やセキュリティーなど）を確認してください。詳しくはルーターの説明書をご覧ください。
●回線業者や対応するプロバイダーがルーターの使用を制限している場合があります。加入している回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
●自宅のパソコンで操作する場合、IP アドレスを正しく入力してください。
●「節電待機」(➜22) で電源を「切」にしているときは、操作できません。
●オンエアーダウンロード中は、操作できません。また、お使いの環境により、ダウンロード終了後も一時的に操作できないことがあります。
●通信状況（電波の届きにくいところやネットワークの状況）などにより、操作できないときがあります。
●本機が使用中の場合、操作できないときがあります。

機器パスワードを忘れた

●加入しているサービスで機器登録を削除後、「機器パスワード初期化」(➜124) を行ってください。
そのあと、サービスへ再登録してください。

接続機器との通信ができなくなった

●通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
●ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。

お部屋ジャンプリンク (DLNA)

再生できない

●別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）場合：
・接続や設定を確認してください。
・「機器一覧」(➜124) で、再生する機器が［許可］になっていますか。
・再生する機器によっては、録画中の番組や 1.5 ～ 15 倍録モードの番組、スカパー！プレミアムサービスの番組、ハイビジョン動画は再生できません。
・「節電待機」(➜22) で電源を「切」にしているときは、再生できません。
●別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）場合：
・接続した機器側で本機が登録されていますか。
・すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

再生できない、映像が途切れる（無線接続時）

●802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。
また、暗号化方式は「AES」にしてください。
●「無線設定」(➜123) の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線LANアダプターまたは無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。

ビエラリンク（HDMI）

ビエラリンク(HDMI)が働かなくなった

- ビエラリンク（HDMI）が働かなくなった場合、以下の操作をお試しください。
  ① HDMI ケーブルを抜き差しする
  ②「ビエラリンク制御」(➜121)の設定を切/入する
  ③ テレビ側の電源を切り、電源を入れ直す
  ④ 本体の[電源⏻/I]を約3秒間押し続けて電源を切り、電源を入れ直す
- HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク（HDMI）が動作しなくなる場合があります。このときは、設定をやり直してください。
- アンプの「ワンタッチ再生」には対応していません。

「番組ぴったりサウンド」が働かない

- 「オートサウンド連携」(➜121) が「入」になっていますか。
- 接続した機器の電源を入れる順番によっては、正しく働かない場合があります。その場合、テレビ（ビエラ）の入力を HDMI 入力以外に切り換えたあと、再び本機を接続した HDMI 入力に切り換えてください。

録画や番組キープの開始に時間がかかる

- 「ビエラリンク録画待機」(➜121) が「切」になっている場合、数十秒かかります。「入」に設定してください。
- 「節電待機」(➜22) で電源を「切」にしているときは、録画の開始に時間がかかります。

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止（プロテクト）の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
- -R 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を約30回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。
- 録画/再生用レンズが汚れている場合があります。ディーガ専用のレンズクリーナー（別売）でレンズをクリーニングしてください。

記録したディスクが他機器で再生できない

- -R -RW BD-R ファイナライズしていますか。(➜109)
- 1.5～15倍録モードの番組を記録したAVCREC方式の DVD や、XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を記録した VR 方式の DVD の場合、再生する機器が、そのディスクの AVCREC 方式や VR 方式の再生に対応している必要があります。

必要なとき

表示マーク一覧

●本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組表

マーク	内容
予（赤）	録画予約している番組
予（緑）	「関連番組まとめて予約」で予約された番組
新	「新番組おまかせ録画」で予約された番組

予約の実行が「切」になっている場合、上記マークの色はグレーに変わります。

番組内容画面

マーク	内容
テレビ	テレビ放送(映像＋音声)の番組
データ	データ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
＋d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
コピー制限	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
●●● 信号	複数の映像または音声(マルチ音声)を含んだ番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
主＋副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
字幕	字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組
有料	有料放送の番組 （放送会社との契約が必要です）
20才～	視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4～20才まであります)
3D	3D 映像の番組 (番組によっては、表示されない場合もあります)
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式 (デジタルハイビジョン放送－1080i、720p) (デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i)

録画一覧画面

アイコン	内容
未	録画してまだ見ていない番組
新	「新番組おまかせ録画」で録画された番組
自	宅外リモート接続機能を使って自動で録画された番組
	書き込み禁止(プロテクト)の設定をした番組
	録画禁止信号により録画できなかった番組
×	HDDにダビング中の番組や、データが壊れているなど再生できない番組
3D	3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります)
1080 60p	1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組
●	録画中の番組
録画中	HDD に録画中の番組
ダビング中	HDD にダビング中の番組
録画済	HDD に録画･ダビングが終了した番組 (番組の画像は電源「切」時に作成されます)

ダビング画面

アイコン	内容
HD	DR、1.5～15倍録モードで録画した番組 LAN 経由(スカパー! プレミアムサービスや CATV)で録画した番組 ハイビジョン動画
10 (数字は10～2)	録画したコピー制限のある番組 数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。
1 (赤)	録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます。
×	ダビングできない番組
	書き込み禁止(プロテクト)の設定をした番組
	ダビングすると移動する番組 (詳細ダビング時)
!	静止画を含むもの (HDDに静止画部分はダビングされません)
3D	3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります)
1080 60p	1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組
1 (数字は1～99)	ダビング登録した番組(かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。

表示マーク一覧（続き）

予約一覧画面

マーク	説明
録画可能	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
番組予約	番組表を使って予約した番組
検索中	時間変更追従を実行中（時間確認中）
時間指定	時間指定予約で予約した番組
曜日指定	曜日指定した毎日･毎週予約のときに表示
毎日 毎週 月~金 月~土	毎日･毎週予約の番組
毎日更新 毎週更新 月~金更新 月~土更新	毎日･毎週予約で自動更新をする番組（前回録画した内容に上書きして録画します）

マーク	説明
録画済	1.5～15倍録モードで録画中にDRモードに切り換えて録画した番組（電源「切」時に予約時の録画モードに自動変換します） 番組表を使って毎日･毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに、予約を実行した場合にも表示されます。
!	HDDの残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。**[決定]**を押して、予約内容を確認してください。
重複	予約時間が重なっている番組
シリーズ終了	毎日･毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
関連番組	「関連番組まとめて予約」で自動的に予約された番組
注目番組	注目番組一覧から予約した番組
まとめ予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
自動予約	宅外リモート接続機能を使って自動予約された番組
LAN予約	LAN 接続したスカパー! プレミアムサービス対応チューナーやCATVから録画予約した番組
DR切換	1.5～15倍録モードで録画中にDRモードに切り換えて録画している番組

探して 毎回★	テレビ(ビエラ)側から「探して毎回予約」で予約した番組
番組数 FULL	HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組
予約 実行切	予約の実行が「切」になっている番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
一部 未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
FULL 中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組

残量 不足	HDD の残量不足で録画できない番組
COPY X 中断	録画禁止信号により録画が中断された番組
代替	ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
お知 らせ	1 か月より先の番組予約です。 1か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。
●	録画中の番組

持ち出し番組一覧画面

マーク	内容
かんたん	かんたん転送するように登録されている番組
ワンセグ画質	SD/USB 経由で持ち出せるワンセグ画質 (QVGA) の番組
高画質	SD/USB経由で持ち出せる高画質(VGA)の番組
ネット高画質	ネットワーク経由で持ち出せる高画質(VGA) の番組
ネットHD画質	ネットワーク経由で持ち出せるハイビジョン画質 (HD) の番組
1（赤）	録画したコピー制限のある番組 転送すると HDD の番組は消去されます。

写真一覧画面

マーク	内容
NEW	新しく取り込んだ写真
（鍵マーク）	書き込み禁止（プロテクト）の設定をした写真
3D	3D の写真

用語解説

Ⓐ

エーエーシー
AAC
アドバンスド オーディオ コーディング
（Advanced Audio Coding）

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式で、CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

エーブイシーエイチディー
AVCHD

高精細なハイビジョン映像を記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。AVCHD の動画は、AVCHD に対応した機器でのみ再生できます。

エーブイシーエイチディー プログレッシブ
AVCHD Progressive

高精細なハイビジョン映像を、1080/60p（1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。AVCHD Progressive の動画は、AVCHD Progressive に対応した機器でのみ再生できます。

エーブイシーエイチディー スリーディー
AVCHD 3D

高精細なハイビジョン映像を、3D 映像で記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。AVCHD 3D の動画は、AVCHD 3D に対応した機器でのみ再生できます。

Ⓑ

ビーディー ジェイ
BD - J

BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

ビットストリーム
Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

Ⓒ

シーピーアールエム
CPRM
コンテント プロテクション フォー レコーダブル メディア
（Content Protection for Recordable Media）

デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRM に対応した機器とディスクに記録できます。

Ⓓ

ディープ カラー
Deep Color

８bit以上の色情報を扱える高色域規格の１つです。Deep Color 対応のテレビに接続することで、映像を 8bit 以上の高階調表示に変換して表示します。

ディーエルエヌエー
DLNA
デジタル リビング ネットワーク アライアンス
（Digital Living Network Alliance）

ホームネットワーク環境に接続したデジタル機器同士などを連携させて、簡単に、便利に使用するための技術です。

ドルビー デジタル
Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2 ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よく収めることができます。

ドルビー デジタル プラス
Dolby Digital Plus

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大 7.1ch まで対応しています。

ドルビー トゥルーエイチディー
Dolby TrueHD

DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

ディーティーエス / デジタル シアター システムズ
DTS（Digital Theater Systems）

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

ディーティーエス エイチディー
DTS - HD

映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

エイチディーディー
HDD （ハードディスクドライブ）

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の 1 つです。表面に磁性体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

エイチディーエムアイ / ハイ デフィニション マルチメディア インターフェイス
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

ジェイペグ / ジョイント フォトグラフィック エキスパーツ グループ
JPEG（Joint Photographic Experts Group）

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと､元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

エルピーシーエム ピーシーエム
LPCM（リニア PCM ）

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

マック
MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

エムペグツー エムペグフォー エーブイシー エイチ
MPEG-2、MPEG-4 AVC / H. 264

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MPEG-2はデジタル放送や DVD などに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264 はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

エムピーフォー
MP4

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の 1 つです。MP4 は、パソコンでの編集や WEB アップロードに適した圧縮方式です。

ピーシーエム / パルス コード モジュレーション
PCM（Pulse Code Modulation）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の 1 つで、手軽にデジタル音声が楽しめます。

キューブイジーエー / クォーター ビデオ グラフィックス アレイ
QVGA（Quarter Video Graphics Array）

画面の解像度（本機では 320 × 180）を示す表記の 1 つです。

ユーエスビー / ユニバーサル シリアル バス
USB（Universal Serial Bus）

周辺機器を接続するための規格の 1 つです。

Ⓥ VBR（ブイビーアール）
（Variable Bit Rate）（ヴァリアブル ビット レート）

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

VGA（ブイジーエー）
（Video Graphics Array）（ビデオ グラフィックス アレイ）

画面の解像度（本機では 640 × 360）を示す表記の 1 つです。

❶ 1080i、720p、480p、480i

映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i= 飛び越し走査）は、1 行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p= 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数にあたる 1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

❷ 24p

毎秒 24 フレーム（映画フィルムと同じ）で記録したプログレッシブ映像です。

タ ダウンミックス

サラウンドの音声を 2 チャンネルなどに混合することです。

ハ ファイナライズ

番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フォーマット

記録前のDVD-R などを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

プログレッシブ (p) / インターレース (i)

インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

プロテクト

記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

マ ムーブバック

コピー制限のあるデジタル放送の番組をBD-REやBD-R から HDD に移動させることができる機能です。DVD からはムーブバックできません。

ワ ワンセグ

ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス）とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声を楽しむことができます。

同時操作について

録画 / 予約録画中の同時操作

（○：できる　　×：できない）

録画状態			再生				HDD の編集※1	ダビング
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDD の番組	録画ディスク	BD ビデオ・AVCHD	DVD ビデオ		
地上 D BS CS	HDD	DR 1.5 ～ 15 倍録	○	○	○※2	○	○	×
	BD	DR	○	×	×※3	×	○	×
		1.5 ～ 15 倍録	○※4	×	×	×	○	×
	DVD	1.5 ～ 15 倍録	○※4	×	×	×	○	×
		XP、SP、LP、EP、FR	○※4	×	×	×	○	×
	USB-HDD	DR 1.5 ～ 15 倍録	○	○	○※2	○	○	×
スカパー！プレミアムサービス CATV （LAN 録画）	HDD	—	○	○	×	○	○	×

●HDD の残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※ 1　実行できる編集（➜62 ～ 66）
（ただし、録画モード変換はできません）
※ 2　3D 再生はできません。
※ 3　SD カードの AVCHD は再生できます。
※ 4　「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

ダビング中の同時操作

（○：できる　×：できない）

ダビングの種類	視聴 放送中の番組	予約録画の実行	再生 HDD の番組	再生 録画ディスク	再生 BD ビデオ・AVCHD	再生 DVD ビデオ	再生 USB-HDD	HDD の編集※5
高速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○	○	×※6	×※6	×※6	×※6	○
画質変更ダビング中（ファイナライズ切）	×	×	×	×	×	×	×	×
ファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○

※５　実行できる編集（➔62 ～ 66）（ただし、録画モード変換はできません）

※６　HDD 番組を複製中は、再生できます。（SD カードは除く）

本機を操作中のお部屋ジャンプリンク（DLNA）の同時操作

（○：できる　×：できない）

本機の操作 ＼ クライアント側の操作	ビデオを見る	放送を見る※7	写真を見る
HDD・録画ディスク再生中	○	×	○
DVD ビデオ再生中	○	×	○
BD ビデオ・AVCHD 再生中	×	×	×
HDD へ放送番組を録画中	○	×	○
LAN 経由（スカパー! プレミアムサービス・CATV）で録画中	×	×	×
ディスクに高速ダビング中	○	×	×
ディスクに画質変更ダビング中	×	×	×

●本機の状態によってはお部屋ジャンプリンク（DLNA）ができない場合があります。

※７　「放送を見る」は本機の電源「切」時に見ることができます。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：
動作時：約 16 W
待機時（クイックスタート「切」／節電待機「モード 2」）：
時刻表示消灯時・約 0.01 W※1※2
待機時（クイックスタート「入」省エネ）：
時刻表示消灯時・約 2.6 W※1
待機時（クイックスタート「入」標準）：
時刻表示点灯時・約 4.4 W※1※3

※ 1・地上デジタルアッテネーター：「入」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「切」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「切」
・外部接続端子（LAN、USB）：未接続
※ 2・節電待機「モード 1」の数値は、お客様の設定により変わります。
※ 3・HDMI 出力解像度：1080i
待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力	
区分名※4	—
年間消費電力量※5	16.9 kWh/ 年
省エネ基準達成率※4	—

※４　ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。
※５　表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です。

■本体
寸法：
幅 430 mm×高さ 41.5 mm×奥行 189 mm（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 41.5 mm×奥行 199 mm（突起部含む）
質量：約 1.8 kg
許容周囲温度：5 ℃～40 ℃
許容相対湿度：10%～80%RH （結露なきこと）

■テレビジョン方式
アンテナ受信入力：
地上デジタル入力：
90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω（VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）
BS・110度CSデジタル -IF 入力：
1032 MHz～2071 MHz （IF入力周波数）75 Ω
電源供給：DC 15 V、最大4 W

■入出力端子（映像・音声を除く）
SDメモリーカードスロット：1系統
LAN端子：1系統（10BASE-T/100BASE-TX）
USB 端子：背面 1 系統（DC 5 V　最大 500 mA）

■映像
記録圧縮方式：
MPEG-2（Hybrid VBR）、MPEG-4 AVC/H.264
HDMI映像・音声出力：
出力端子：1 系統（19 ピン　typeA 端子）
（480p/1080i/720p）

■音声
記録・再生圧縮方式：
MPEG-2 AAC：最大 5.1ch 記録
Dolby Digital：2ch記録
デジタル出力：
HDMI 映像・音声出力端子：1 系統

■SD 部

対応カード：

SD カード：FAT12/FAT16

SDHC カード：FAT32

SDXC カード：exFAT

■USB 部

バージョン：ハイスピード USB（USB2.0 準拠）

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD 対応：USB-HDD（160 GB 以上 3 TB 以下）

最大 8 台まで登録可能

■写真

画素数：

34 × 34 ～ 8192 × 8192

サブサンプリング：4：2：2、4：2：0

解凍時間※6**：**約2秒（1010万画素）

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、SD カード

再生のみ可能メディア：

DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB

ファイル方式：

- JPEG：ベースライン方式（DCF 準拠）
  - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
  - ・MOTION JPEG 非対応
- MPO：マルチピクチャーフォーマット（MPF 準拠）
  - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

フォルダ数：

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 500※7

ファイル数：

- HDD：最大 20000
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 10000※8

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応

■MPEG-2 動画

ファイル形式：SD VIDEO規格準拠

圧縮方式：MPEG-2

■AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

ビデオ圧縮方式：

- MPEG-4 AVC/H.264：High profile 4.2 以下
- 解像度：1920 × 1080 まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

（音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります）

■持ち出し動画

ファイル形式 / 画質：

SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 / 320 × 180　15 fps（412 kbps）

SD VIDEO 規格（H.264 Mobile Video Profile）準拠 / 640 × 360　30 fps（1.5 Mbps、1.0 Mbps）

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。

DCF ：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格]

※6　解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

※7　最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数
（ルートもフォルダとして数える）

※8　最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数
（JPEG と MPO のファイル合計）

■録画モードと記録時間の目安

録画モード ＼ ディスク				内蔵HDD (500 GB)	BD-RE、BD-R 128 GB (片面４層) ※９	100 GB (片面３層)	50 GB (片面２層)	25 GB (片面１層)
放送画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 45 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
			SD放送 (≦12 Mbps)	約90時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
		地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 63時間	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間
ハイビジョン画質	1.5 倍録			約 67 時間 30 分	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
	1.6 倍録			約 72 時間	約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分
	1.8 倍録			約 81 時間	約 22 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間
	2 倍録（HG）			約 90 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
	2.3 倍録			約 103 時間 30 分	約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間
	2.5 倍録			約 112 時間 30 分	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
	2.7 倍録			約 121 時間 30 分	約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間
	3 倍録（HX）			約 135 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
	3.5 倍録			約 157 時間 30 分	約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分
	4 倍録（HE）			約 180 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	4.5 倍録			約 202 時間 30 分	約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分
	5 倍録（HL）			約 225 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
	5.5 倍録			約 247 時間 30 分	約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間
	6 倍録			約 270 時間	約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間
	7 倍録			約 315 時間	約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分
	8 倍録（HM）			約 360 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分
	9 倍録			約 405 時間	約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分
	10 倍録			約 450 時間	約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分
	11 倍録			約 495 時間	約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分
	12 倍録			約 540 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間
	15 倍録（HZ）			約 675 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分
DVD画質	XP			本機では録画できません				
	SP							
	LP							
	EP（8 時間）							

※９　片面４層は BD-R のみ。2013 年 2 月現在、BD-R（128 GB: 片面４層）は発売されていません。

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM DVD-R （4.7 GB）	DVD-R DL （8.5 GB） （片面２層）	DVD-RW （4.7 GB）
ハイビジョン画質	1.5 倍録	約 36 分	約１時間７分	本機では 録画できません
	1.6 倍録	約 39 分	約１時間 12 分	
	1.8 倍録	約 44 分	約１時間 21 分	
	２倍録（HG）	約 48 分	約１時間 30 分	
	2.3 倍録	約 56 分	約１時間 43 分	
	2.5 倍録	約１時間	約１時間 52 分	
	2.7 倍録	約１時間５分	約２時間１分	
	３倍録（HX）	約１時間 12 分	約２時間 15 分	
	3.5 倍録	約１時間 24 分	約２時間 37 分	
	４倍録（HE）	約１時間 36 分	約３時間	
	4.5 倍録	約１時間 48 分	約３時間 22 分	
	５倍録（HL）	約２時間	約３時間 45 分	
	5.5 倍録	約２時間 12 分	約４時間７分	
	６倍録	約２時間 24 分	約４時間 30 分	
	７倍録	約２時間 48 分	約５時間 15 分	
	８倍録（HM）	約３時間 12 分	約６時間	
	９倍録	約３時間 36 分	約６時間 45 分	
	10 倍録	約４時間	約７時間 30 分	
	11 倍録	約４時間 24 分	約８時間 15 分	
	12 倍録	約４時間 48 分	約９時間	
	15 倍録（HZ）	約６時間	約 11時間 15分	
DVD画質	XP	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP（８時間）	約8時間	約14時間20分	約8時間

お知らせ

- 15 倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) では、特にその差が著しくなります）
- DR モードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

仕様（続き）

■**記録できる最大番組数**（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）
- HDD：1000（持ち出し番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)：200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)：99
- USB-HDD：1000（撮影ビデオ、写真は記録できません）

■**予約可能番組数**

128（予約可能期間：1 年間）

■**スカパー！プレミアムサービスの番組記録時間の目安**

内蔵HDD ＼ 番組	500 GB
スカパー！プレミアムサービスの ハイビジョン画質の番組	約 116 時間（約 63 ～ 146 時間）
スカパー！プレミアムサービスの 標準画質の番組	約 199 時間（約 126 ～ 383 時間）

- 録画する番組によって記録できる時間は変動します。( ) は変動する記録時間の目安です。

■**最大チャプターマーク数**（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）
- HDD USB-HDD：1番組当たり約 999 個
- BD-RE※10 BD-R※10 RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)：ディスク当たり約 999 個

※ 10　BDXL は約 20000 個
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)：1 番組当たり約 100 個

■**持ち出し番組の記録可能時間の目安**

画質 ＼ SD カード	ワンセグ（412 kbps）	VGA（1.0 Mbps）	VGA（1.5 Mbps）
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分
128 GB	約 690 時間 23 分	約 252 時間 1 分	約 174 時間 39 分

SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

- **最大番組数　：99** [ハイビジョン動画（AVCHD）以外の動画を含む]

■デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 端子</th></tr>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream ※11</th><th colspan="2">PCM</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・
操作音」の設定</th><th>入 ※12</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="5">オリジナルの
音声で出力</td><td colspan="2" rowspan="5">ダウンミックス 2ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES</td><td rowspan="3">DTS Digital
Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High
Resolution Audio</td></tr>
<tr><td>DTS-HD
Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM ※13</td></tr>
</table>

※ 11　接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※ 12　BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(➜120) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 13　BD-V 副音声や操作音を含む場合、「BD ビデオ副音声・操作音」の設定が「入」のとき、5.1ch で出力します。

著作権など

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

●ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。

●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●米国特許番号：5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。
DTS、シンボルマークおよび DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS 2.0+Digital Out は DTS, Inc. の商標です。製品はソフトウェアを含みます。
© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

●SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。

●DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

●Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

●Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

●HDAVI Control™ は商標です。

●“Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。

●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved

●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2013

●“AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD 3D/Progressive”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

●“DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。

●本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
（http://www.mpegla.com）をご参照ください。

●Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。

●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、［機能一覧 / 予約確認］ボタンを押し、“全機能から選ぶ”→“設定する・その他の機能”→“メール／情報・診断コード”→“メール／情報”→“ID表示”→“ソフト情報”をご参照ください。

●メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

●本機は2013年2月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン / 見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン / 見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン / 見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因しまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン / 見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン / 見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 宅外リモート接続機能
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア

(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア

(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア

(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア

(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品の初期設定画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://panasonic.net/avc/oss/diga/JPRCP13A.html

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

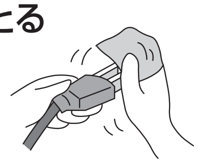
異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

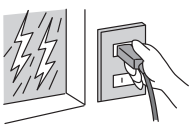


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

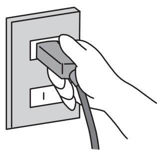
雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

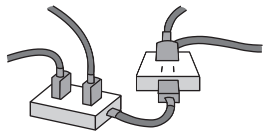
分解禁止

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

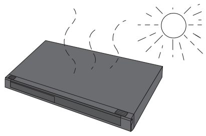
使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

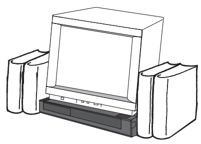
異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

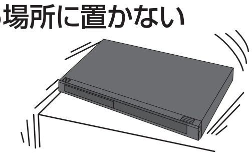


内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

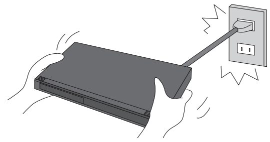
不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災･感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災･故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災･感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置･工事は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ·発熱·発火·破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　　）　　－
お買い上げ日	年　　月　　日
B-CASカード番号	

※ B-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは
「故障かな!?」（➜165 ～177）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- ● 製品名　ブルーレイディスクレコーダー
- ● 品　番　DMR-BRT250
- ● 故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体１年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - -

パナソニック DIGA（ディーガ）ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-982**（パナは キュウハチニ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**（パナは イイヨ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。（➜165）
事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青　森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　1112

さくいん

英数字　ページ

あ 行

ページ

か 行

ページ

必要なとき

さ 行

た 行　ページ

な 行　ページ

は　行

ページ

必要なとき

ホームページ

diga.jp

操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - -

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-982（パナは キュウハチニ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-554（パナは イイヨ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

● 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　**長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT4M04
F0313NA0